夕刊
滿洲日報
八月一日

長沙共匪事件の勃發は列國の對支政策に影響
治外法權撤廢要求に對しても態度は重大變化せん

【東京特電一日發】長沙における共産軍の言語に絶せる變態は早くも列國間の重大問題と化し被害を受けた各國領事館及び一般に對する放火、掠奪、殺人、暴行などにつき詳細調査し國民政府に厳重抗議を提出する筈であるが國民政府當局が絶えず口に治外法權撤廢を叫びながらその實情今日の如くであり、特に今回の長沙事件を勃發した結果として列國の對支觀念は重大なる變化を來した模樣で、それが今後の對支政策の上に非常な影響を及ぼすだらうと觀られてゐる

午後三時半某所着電によれば長沙の共産軍はなほ暴戻の手を緩めず日清汽船社宅、領事館は外觀をそのまゝ殘してゐるが、ジャーデン、マジソン商會は今朝完全に燒打された、共匪は三々伍々隊をなして豺狼の如く徘徊し河岸一帶には依然赤旗が翻へつてゐると

共産土匪と蔣は全國民共同の敵
兩者を撲滅し國家の禍を除く
北平擴大會議の宣言

【北平三十一日發電通】本日の擴大會議談話會の結果汪精衞、閻錫山、馮玉祥三氏を始め委員全部連名で共産軍の暴擧に對し左の如き宣言を内外に發した

蔣介石が湖南・湖北、江西の地方警備軍を津浦線に移した爲め共産黨軍はその隙に乘じ長沙その他を陷いれ同胞と外人を水火の苦難に陷いる責任の歸趨は明かである、蔣介石が同胞に對し慘虐を極めながら何ぞ共産土匪に寛大なる、蔣介石は共産土匪と共に支那全國民共同の敵なり

吾人は一致兩者の撲滅を期し國家の禍を除き友邦との信義を全うせん

上海郵政局不穩
共産黨が罷業を指令

【上海三十一日發電通】上海郵政局從業員八百餘名は共産黨の指令を受け過般來天津、北平の從業員と連絡してゐたが、今早朝月給手當の增加その他十數ヶ條の要求を提出し廿四時間内に滿足な回答を得られぬ時は總罷業を決行する旨通告してゐたが、明日は恰も共産黨八、一記念日に當り總罷業は免れぬ形勢である

長沙共匪依然市中を徘徊

【漢口三十一日發電通】三十一日

發出の表代人婦洋平太汎

汎太平洋婦人代表の出發　市に於て開催される汎太平洋婦人會議に出席するため一日より九日まで向ふ我が代表一行は二十九日午後零時四十分東京驛發横濱出帆の太洋丸で出發した【寫眞は東京驛出發の一行右より田中芳子・市川タマ子・ガントレット恒子・花木チサ子・オ…・よみ・山ノ原ひろ・藤…代・みどりの諸女史】

中央軍約五千名けさ青島に上陸す

【青島特電一日發】南方中央軍は今朝兵約五千名軍馬並びに多量の兵器彈藥を汽船五隻に搭載し青島に廻航兵員武器を直ちに上陸せしめた

濟南青州間けふ開通

【濟南三十一日發電通】淄河の鐵橋修理完成し一日より濟南青州間の客車直通運轉を行ふ事となつた

米支航空契約全文

【南京三十一日發電通】米支航空契約全文は左の如く本日發表された

一、資本金一千萬元、一萬株支那側五千五百株、米側四千五百株

一、航空路

第一線 上海、南京、九江、漢口、宜昌、萬縣、重慶、成都

第二線 南京、徐州、濟南、北平

第三線 上海、寧波、溫州、福州、廈門、汕頭、廣東

一、第一線は直に實行に着手しその成績により第二、三線を實行し三年以内に第二、三線を實施し得ざる時はその營業權を喪失す

一、會社は中國郵政局との契約に依り航空郵便の輸送權を有す、又飛行機に無線電信電話を架設する權利を有す

一、本契約有效期間十ヶ年、滿期後同意に依り五ヶ年存續を延期し得

英皇帝陛下批准書御署名

【ロンドン三十一日發電通】イギリス藏相スノーデン氏は本日下院で英皇帝陛下はロンドン條約批准書に御署名あらせられたと發表した

瀋法鐵道敷設
工費三百萬元

東北交通委員會では豫て計畫中であつた瀋法鐵道の敷設を具體化すべくこれが經費として現大洋三百萬元の支出方を決定し遼寧省庫より百萬元、北寧、四洮、洮昂、呼海、瀋海、吉長、吉敦の各鐵路局より二百萬元を各分擔支出せしむべく今回政府よりそれぞれ通告するところあつた

明年豫算節約二億
軍事費の大削減斷行が必要
大藏當局編成に苦心

【東京一日發電通】未曾有の難關を豫期される明年度豫算編成は最近の驚くべき歳入減の趨勢に依り政府をして財政上窮地に陷らしめんとしてゐる、即ち豫算概計表に依る明年度豫算額は(單位千圓)

歳入 一、五七二、六五四

歳出 一、五七二、一〇三

であるが實際の歳入は租税收入一億一千萬圓その他官業官有財産收入二千萬圓計一億三千萬圓の自然減は免れざるべしと豫想されるに對し剩餘金に依る新規財源は一厘も期待し難く寧ろ追加豫算財源一二千萬圓を保留して置かねばならず、若しそれ一千萬圓の減税を行はんとせば總豫算歳入は一億五、六千萬圓の減少を覺悟せねばならない、然るに歳出の側においては一切の新規事業を拒否するとしても緊急已むを得ざる失業救濟費、既定年割額、法律に伴ふ支出その他當然增四、五千萬圓を要し結局約二億圓の經費節約をなさゞれば明年度豫算は到底編成不可能なる事情になつてゐる、然るに現内閣成立以來四年度實行豫算において九千百萬圓、五年度實行豫算において一億二千五百萬圓、行政經濟化に依る六千萬圓計二億七千六百萬圓の大節約を實行して居り更に節約の餘地も尠くこの上二億の節約をなすには如何にしても軍事費に大削減を加へる外なく而も實行豫算節約に際して經驗した軍部の反對を顧念し大藏當局は今や頗る當惑してゐる

商工省明年豫算
貿易局の新規要求のみで二百萬圓を突破す

【東京一日發電通】商工省豫算は毎年百數十萬圓に過ぎぬが產業官廳たる機能發揮のためには相當多額の經費を要するので俵商相は閣議の新規事業不承認決議は例外として要求する方針で六年度豫算編成を急がせて居るが貿易局の新規要求は大體左の如くである

一、輸出補償法實施自然增百萬圓

一、輸出組合販賣統制助成費十七萬圓

一、海外市場觀察費十五萬圓

一、海外商品陳列館擴張增設十八萬圓

一、巡回博覽會船二十五萬圓 海運界不況のため繫船中の優秀客船を傭船し船内に海外向き商品を滿載陳列し移動博覽會を開く

その他海外競爭見本品蒐集、海外移住局の新設、貿易通信の充實等も擧げられ貿易局豫算のみでも二百萬圓の新規要求に達しその他工

各國憲法を參照統帥權問題研究
熱心な樞府顧問官連

【東京特電一日發】樞府における ロンドン條約の下審査は後二回程度で終る見込であり、精査委員も七日頃には初精査委員會を開く運びとならうと觀られるが樞密顧問官の中でも熱心な向は自分が精査委員に當てられると否とに拘らず今日まで問題となつて來た統帥權問題、國防缺陷問題及びその補充問題などに關し種々各方面の參考資料を蒐め殊に軍令部無視問題ち統帥權問題については單に國内學者の著書や意見のみならず世界各國の憲法に關する書籍を集めて研究に沒頭してゐる程でその結論としては政府の執つてゐる美濃部博士の所論とは可なり隔たりのある意見をもつてゐる者も多いからこの點は相當議論を醸すに至るであらうと觀られる、たゞ政府側の意を強くするに足るものは統帥權問題は條約締結に至る過程に過ぎず、條約そのものゝ内容ではないから議論が多少枝葉に亘りてもこれによつて條約の運命が窮地に追ひ込まれることは無からうといふにある

走馬燈
荻川

滿鐵（其十八）

今では東支を、露國の侵略鐵道と云はれない、露國は其革命の勝頭に於て、外國に對し、侵略と名が附くほどのすべてを放棄した、東支鐵道も其一である、そうして當時聯合與國の對露國シベリア出兵に會し、支那も聯合與國側たり、此機會に於て露國と後交渉に、東支鐵道を露國の聲明通り、事業のうへに之を自己へ回收した、それ以來東支は、露國侵略鐵道たる意義を失ふたと思ふ。

◇

爾後露支の間に國交恢復ことあり、東支鐵道も其議題の内に加へられ、終にそれが露支合辦となつて、所謂侵略から經濟の分野に移つた、併し斯る經濟鐵道も、尙兵力で爭はねばならぬ問題を、露支間に惹すが、それも當今モスクワで開催中の、兩國平和會議なぞで、漸次に解決すべきを疑はぬ、東支鐵道が經濟的なら、經濟的の南滿鐵道と、融和の出來ぬ道理はない、過去それの出來なかつた點あたりは東支鐵道から尙侵略の臭味が脱けざりしによる。

◇

それがおひ〳〵と脱けるゝせば滿鐵は愈々以て經濟的に東支との融合を圖らねばならぬ、之を圖ることは、滿洲の富源たる生産、貿易を增大するのみか和潤を支那の他地方及び露國のシベリアに與へ、日本とて得益を受くること勿論なり、滿鐵の使命として日露支三國の間に立つて之を努むることは蓋し其重要たるもの一に數ふべきにあらずや、そうして之を爲す、權道に由らずして、正道を歩め、正道の途は遠きことあり、されど急げば廻れじや。

◇

書いてこゝに至り、さて改まつて露支兩國を顧る、露國は比較的我國に對して大人數きも、尙例を擧ぐれば、北洋漁業如きに於て絶えず確執あり、支那に至つては、我國に對し求むるところこそあれ、毫も讓るところなく、今や危急存亡の秋にある南京政府すら、我に電權回收等色んな提議をなす、啻に南京政府と云はんや、之が現在の支那流儀なり、此間に立つて滿鐵に仕事をなせと云ふ、甚だ困難なる注文なるを知る。

◇

最後に云ひたい、而も之を爲さしめんとならば、行詰つたら、豈滿鐵のことのみならんや、すべてに國家が、總決算をすべきとの覺悟あるを要し、支那の現狀如きでは、愈々之を思はしむるに切なるものがある。

傍系會社の整理極く小範圍
還元說濃厚なるは旅館會社
その他は尙調査中

滿鐵の諸給與規程改正及び傍系會社の整理融合は仙石總裁の歸任によつて愈々決定を見ることゝなるが傍系會社中滿鐵に還元の最も濃厚なるものは旅館會社で大連汽船、滿洲ドック兩社の還元は尙研究されるものと觀測されてゐる、大連醫院は財團法人組織となつて既に滿鐵の傍系會社といふ譯でないため同院の還元は勿論困難であらう尙傍系及び關係會社の人事異動は未だ何等の決定的案もない模樣だが行ふとしても極めて小範圍らしく見られてゐる富次瓦斯會社專務の辭職勇退など傳へる向もあるが滿鐵でも、瓦斯會社でもそんなことは絶對にないと言明してゐる

務局の自動車工業確立、鑛山局の製鐵業確立策等具體化せば明年度商工省豫算は一躍して例年に數倍する巨額に達する見込みである

陸軍の定期異動
（一日午前十時發表）

【東京一日發電通】陸軍定期異動は一日午前十時左の如く發表された

進級

陸軍少將勝野正魚、片本綾夫、若山善太郎、森連、小濱寅吉、荒蒔義勝、西田恒夫、松井七夫、原田貞吉、林彦一、久木村十郎次、坂本政右衛門、藤田鴻輔、佐藤子之助、二宮治重、杉山元

任陸軍中將(各通)

步兵大佐磯江多藏、長岡正雄、服部保、櫻井忠温、鏡山嚴、稱山格次、堀之內直、今井清、梅津美治郎、名越時中、下元熊彌、嘉村達次郎、田代院一郎、松浦淳六郎、今井信夫、三宅一夫、谷壽夫、福田袈裟雄、山崎富義、前原宏行、村田凱一、石井孝慈、藤野嘉市、一色留次郎、砲兵大佐和田秀衛、鄉竹三、萩原勝千代、伊東政喜、山田卯三男、中根正常、鈴木松之助、西郷豐彥、森川宣、高橋佐太郎、長谷川鐵次郎、高橋貞夫、中島三郎、黒須辰之助、青木政喜、大屋敷正平、和田忠、森下正、秋田米吉、渡辺友次郎、憲兵大佐出口永吉、騎兵大佐飯島昌藏、山田乙三、航空大佐堀池末雄、大江亮一、工兵大佐高木尙右、中村古、別枝嘉明、輜重兵大佐大村幹太郎

任陸軍少將(各通)

主計監藤田順

任主計總監

一等主計正白井八百藏、平手勘次郎、横田章、松野一襄

任主計監(各通)

軍醫監合田平、石川清人

任軍醫總監(各通)

一等軍醫正大野久次郎、指宿春宮、岡本晴一、山本幹雄、朝倉龍彼、齋藤龍雄

任軍醫監(各通)

一等獸醫正伊地知長生

任獸醫監

陸軍次官任命

任陸軍次官(一等) 陸軍中將 杉山元

伊の情熱獨の不屈を日本も學べ
歐洲視察の前川三等主計正談

歐洲各國を視察中であつた三等主計正前川敬悦氏は一日出帆はるぴん丸で歸任の途についたが船中語る

陸軍省の御用で約半歳に亘り歐洲各國を視察したが歸任後でなくては用件その他のお話は出來ぬがあちらを歩いて得た感想をお話しすれば、先づイタリーは全く

國民一致 ファシストとしての敎育を受け全くムッソリーニになづみ黒シャツ隊の威力は素晴しいもので感心した事は同國北部においては米が出來るので今や米食が流行、政府も又奬勵して驛辨當にすら燒飯があつたのには驚いた、又ドイツも大戰後頗る緊張、敗戰國のおもかげは片鱗だに窺へなかつた全くドイツ魂の偉大なのには驚いたあれでなくてはならないと思ふ思想的に物質的に着々と平和戰勝者の地位にのぼらうとしてゐる、年々十四億の賠償金を背負はされてゐる國民とは見えず何れも生き〳〵として働いてゐた、次にロシヤだがこれはこちらに來る途中モスクワに約五時間とまつただけで何等

ロシヤを 語る材料を持たぬが驛で感じた事はまづ驚炎後の東京を想像したらそれで好いと思ふ全く混亂を極めてゐた、通行人のはだしは勿論の事食物さへ滿足に得られないものが多數あるとの事だつた、聞く所によると日本も不景氣々々で人氣が荒れてゐるそうだがこの際國民一同イタリー人の如き情熱とドイツ人のあの不屈な魂が欲しいものだ

特別會計負擔の總額十萬圓
關東廳財源を考慮

關東廳では今般松田拓相より公文を以つて明六年度における同廳特別會計國費歳入歳出豫算に關する政府の方針を指示されたので、同廳では右指示に基き本年八月末日までを以て同豫算を編成拓務省を經て大藏省に豫算案の提案をなす筈である而して指示案の內容は

一、既定經費は極力節減すること

二、新規事業は一切要求せざること

三、昭和六年度以降恩給は各特別會計において夫々負擔すること

四、既定經費の節減に就ては別に大藏省にて案を作製すること

等にて政府は明六年度の豫算編成については歳入減少繰越金減其他の關係上一層徹底的緊縮方針を採る筈であるので、關東廳明年度豫算もこれに倣ひ當然一層徹底的なる緊縮、節約豫算となる譯であるがさきだに各種歳入減にて豫算編成難をかこつ折柄右の如く今回新に課せられたる恩給支出の財源を何處に求むるか、政府の主旨としては現在各植民地における恩給支給額を基準としてこれを特別會計に割當てるといふのでも少くとも の歳出總額十萬圓を下らぬものと見られてゐるが、同廳財務當局では目下の處一般會計よりこれを求むるか、さもなければ同廳繰越金より支出するより外ないといつてゐる

精査委員長
樞相の選任方針

【東京一日發電通】ロンドン條約樞府精査委員はいよ〳〵一兩日中に決定する運びとなり倉富樞相は人選中であるが、目下のところ左の三案の外に出ぬ模樣である

一、平沼副議長を推す

二、伊東伯の壯如何では伯を推す

三、平沼副議長が第二案を欲せぬ時は倉富樞相自から委員長となる

樞重きかこれもいへぬとて多くを語るを避けた

海務局支局
甘井子に設置

海務局においては今八月一日より甘井子に支局を開設技手山口國兵衛氏を支局長に任命し事務方面に常駐する事になつたと、隨つて從來の旅順にある支局の名稱を旅順支局と改名した

人事

▲吉富金一氏（埠頭事務所營業長）一日出帆はるびん丸にて內地へ

▲茂木定二氏（神丸船長）同上春丸受取りの爲出張

▲山岸軍太氏（神丸機關長）同上

▲前川敬悦氏（陸軍省三等主計正）歐洲出張中のところ同上

▲櫻井勸四郎氏（朝日小學校長）同上

▲淺沼謙三氏（實業家）一日入港奉天丸にて歸連

大觀小觀

南も北も共匪を自家宣傳に利用せんとするの傾きあるは面白くもない。

◇

北は蔣介石の責任だと宣言を發し、南は汪精衞の使嗾などといふ

◇

責は四夫にもあり、いはんや汪や蔣やの要人においておやである南北共同の責任だ。

◇

秩父宮殿下、太刀洗飛行隊に御入隊、飛行機の性能等を御研究あそばさる。

◇

國母陛下御懷姙の御兆候を拜すといふ。八千萬臣子の同慶するところ。

安保大將
けさ下關到着

【下關一日發電通】歸朝後の態度を注目されてゐる軍縮顧問安保大將は今朝入港の連絡船で歸着東上したが、ホテルで語る

對米七割主張の破れたことは遺憾なるもあの場合已むを得ぬ、會議の成功か否や國民の判斷に俟つべきものだが局に當つた我々としては甘く行つたとは思つてゐない、この點は大いに責任を感じてゐる、參議官を辭めるかどうかは今いへぬ、軍人は出處進退を輕々に口にすべきでない、財部との間のいざこざの噂も語る譯に行かぬ、調印に對し條約大權重きか、兵力量の大

天氣豫報

二日（南東の風）晴一時曇り

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二九・二	三〇・五
旅順	二九・二	三一・〇
營口	三二・六	三二・九
奉天	三一・八	三四・三
長春	三二・一	三三・二

滿潮 午前三時三十分 午後三時三十五分

干潮 午前九時五十五分 午後十時十五分

わが滿洲を代表し晴れの甲子園へ
けふ盛んな應援歌に送られて大連商業軍の出發

本社主催の全滿豫選會に優勝し榮ある滿洲代表權を獲得したる大連商業野球部梅本主將以下十三名は來る十日より甲子園原頭で全國野球ファンの熱狂裡に華々しく擧行される大朝主催の全國中等學校優勝野球大會に馳せ參ずるべく進藤同校教諭櫻井明大選手引率のもとに一日出帆の定期船はるびん丸で遠征の途に就いた、ブリツヂには大朝香取支局長、岩瀬實業主將を初め各選手及び野球關係者多數の見送りを受け又同校應援團の數度の應援歌に選手連もエールを換はし一同元氣よく萬歳の聲に送られて出發した

滿洲健兒の意氣を發揮する
引率の進藤教諭語る

皆樣の御後援で愈々出發します、力の限り戰つて參ります、勝敗は別として滿洲健兒の意氣を充分示して參りませう、選手中二、三名腹をいためて居るものがありますが船の二日間の休養で充分癒もとれるでせう、西宮到着と同時に充分練習しませう、櫻井君がついて行つて吳れますし又都市對抗の歸途芥田滿倶選手がベンチ、コーチとして來て吳れますので心丈夫です、うんと戰つて來ます、尚一行の宿舍は兵庫縣西ノ宮市波屋丸長旅館である、又同船で實業團中川武行選手及び同實業團田邊四郎選手は御目出度の話で內地に出發した

支那貨物船坐礁
營城子灣で

一日午前十時頃當地海務局への情報によれば旅順管內營城子灣に約一千噸級支那貨物船が坐礁、しきりに檢査官保險會社員潛水夫の來船を求めてゐるので尚調査の結果同船は支那汽船大中號と判明した

母國訪問機英國出發
巴里へ向ふ

【クロイドン三十一日發電通】母國訪問飛行の東善作氏は三十一日午後五時三分クロイドン飛行場を出發し先づパリー郊外のルブルジエ飛行場に向つた

ル飛行場到着

【パリー三十一日發電通】東善作氏は三十一日午後七時二十分ルブルジエ飛行場に到着した一日出發飛行を繼續する筈である

R百號の故障
空で應急修理

【ケベツク三十一日發電通】アール百號は三十一日朝來セント、ローレンス河を遡つて航行して來たがケベツクの下流十二哩の地點で船體に故障起り三十一哩を吹き流されてクレーン島まで後戻りをしたが漸く應急修理を終えて再びケベツクに向つたが一時間十哩の速力しか出ず當地着は遲れて一日となる模樣である

秩父宮殿下
太刀洗御入隊

【福岡三十一日發電通】昨夕久留米御着宿泊所に入らせられた秩父大尉宮は今朝陸軍大學生の資格にて太刀洗飛行第四聯隊に御入隊のこととなり入時三十三分第十二師團司令部着師團長室にて金山師團長に入隊を御申告あり九時四十三分太刀洗飛行隊着貴賓室に小憩後橫山聯隊長に入隊の御申告あり茲に愈々御入隊の手續を終らせられ十一時久留米へ御歸還になつたが、今後三週間烈日の下に連日久留米より御通勤になり飛行機の性能、飛行機と用兵等の研究、各種勤務の體驗を得らるゝことゝなつた

不良カフエーに營業停止のお灸
保護願の出た女給は無許可　カフエータウヌス

大連署保安係は最近市內カフエー業者が取締規則に抵觸するが如き亂脈極まる營業を行つてゐるので各派出所に命じ鋭意內偵中のところ市內加賀町三一番地タウヌスカフエー事中村利喜男が先づ槍玉に揚げられ一日附十日間の營業停止を命ぜられた

理由は中村は昨年末長崎から女給三名を月給二十圓の契約で雇つて來て以來、今日まで契約を履行せず、なほ無許可で女給を雇傭してゐたことが發覺したものである

なほこの種の規則違反を犯してゐるものは他にも多數あるので發見次第營業停止を命ず方針であると

葉山に御避暑中の皇后陛下御慶兆
御懷姙御三月と拜診

【東京一日發電通】葉山御用邸御避暑中の皇后陛下は兩三日前供奉の佐藤侍醫頭及び塚原博士拜診の結果御懷姙御三月頃と拜察し奉つた從つて來る四日皇后陛下は聖上陛下と御一緒で直接那須御用邸に御避暑の御豫定の處御大事を取らせられ一旦宮城に御歸還の上翌五日那須に向はせらるゝ事に御內定あらせられた

北滿各地に共匪
けふ哈爾賓と吉林は戒嚴令を布き警戒
國際赤色デーに備へる

八月一日は國際赤色記念日につき中國共產黨滿洲省委員會は本部と連絡し且不逞鮮人を味方に入れ何事か畫策しつゝありとの情報頻々として集るので支那官憲は極度に神經を惱まし嚴重な警戒を續けてゐたがこれより先き東鐵沿線在住のロシア共產黨幹部は密かに南部線第二松花江鐵橋附近に會合し八月一日中國共產黨の運動を援助し滿洲赤化に着手すべく打合せたこと判明したので支那當局は一層躍起となつて嚴重警戒を實行することゝなり一日には哈爾賓、吉林に戒嚴令を布き日本領事館警察も萬一に備へてゐる、又間島方面の支那外事警察は之亦全力を鮮人黨員の策動に備へてゐると

バルチザンがブハト襲擊
露人を混へた一千三百名　護路軍が嚴重警戒

【ハルビン特電一日發】東鐵西部線ブハト附近に約一千三百名のロシヤ人を含むバルチザン現はれブハト襲擊の報に護路軍は夜間十一時以後護照無き者の通行を禁止し、鐵道從業員は全部護照を發給された、バルチザンは赤白何れか判明せず支那官憲の壓迫に反抗するオロチョン賊と氣脈を通じてゐると

敦化附近と蛟河へ不逞鮮人
吉敦沿線の木橋破壞　電線も切斷され詳細不明

【長春特電一日發】卅一日、吉敦線敦化附近へ百八十名および蛟河へ不逞鮮人(一説には共產黨の鮮支人ともいふ)が突如として襲來し吉敦鐵道沿線の木橋二ケ所(吉林より七十キロおよび百九キロの地點)を破壞し電線數ケ所を切斷した、その後の狀況は電信線不通のため詳細不明

力行會の夜店
評判がよい

大連市社會館力行會では既報の通り廿九日から連鎖商店街銀座通りに夜店を開設の筈であつたが、天候不良の爲め三十日夜から二十二名の會員が十一店舖を出し賑々しく開店した、各方面の多大な同情と他の夜店より品物が上等で廉いと云ふ評判が客足を引き豫想外に繁昌し夜の十時ごろまで金三十圓の賣揚げあり翌三十一日夜は同樣四十圓近くの賣揚げを見たので力行會を入れてゐる社會館當局および連鎖商店側でも喜んでゐる、純益は會員等の共同收入となるもので主として賣れ行きの好かつたのはゴム製品、雜貨、化粧品、石鹸等であつたと

激增する失業者群にラヂオで求人放送
大連職業紹介所が新しい試み

不景氣の反映として最近失職者の數激增し從つて職を求むる者も日々に增加の傾向にあるが求人申込みはこれに反比例して勘く徒食者の數ますます過剩となり思想的に惡化せんとする趨勢あるに鑑み大連放送局では大連市役所の依囑に依り今後職業紹介の時間を設け毎日市役所社會館職業紹介所の調査にかゝる職業紹介事項を放送する事になつた、職業紹介の放送は內地放送局でも行ひ相當の成績を擧げてゐるに鑑み市役所では職業紹介所に於ける成績あまりに芳しからぬに依り放送局へ賴つた譯で當地に於ては始めての試みであり前記の如く不況の折柄なれば豫期の成績を擧げ得る事は困難としても一般求職求人者は大いに利用して貰ひたいと

水先人試驗

大連港水先人試驗は愈々一日より來る八日迄海務局海事審判室において開催、第一日目は木村檢疫官より身體檢査を施行さるゝところであつた

貰子殺しか怪しい嬰兒の死
鍼術師と密通した人妻の不義の子に絡り捜査

大連地方法院檢察官は數日前より極秘裡に司法刑事を指揮し貰ひ子殺しの嫌疑で各方面に活動を開始してゐるが、事件の內容を探聞するに市內西公園町某看護婦會寄宿野崎菊子(二七)——假名——は昨年十月頃夫某が內地へ省中神經痛に罹り沙河口某鍼術師方へ住込み治療を受けてゐるうち遂に鍼術師と情を通じ姙娠するに至つた、不義の胤を宿した菊子は惱みあぐんだ揚句同女の叔父某と相談のうへ本年五月頃女兒を分娩したが內地へ省中の夫に知られるを[illegible]れ、生れると間もなく人を介し僅かの養育費を添へ市內美濃町本間(假名)——へ密かにやつた、然るに本間方に貰はれた嬰兒は日に日に衰弱し一ケ月餘りで榮養不良となり遂に死亡して終つたが嬰兒死亡の裏面には養育費詐取の犯罪が潛んでゐるのではないかとの嫌疑を以つて見られ引續き嚴重取調の步を進めてゐるが最近この種犯罪が內地で頻々として起つてゐる折柄とて一般の注目を惹いてゐる

海中目蒐け飛び込む
昨夜星ヶ浦で

卅一日午後七時ごろ星ヶ浦國澤半島西南突端より海中目がけて飛び込み投身自殺を圖つた支那人あるのを附近に居合せた苦力王月明(二七)外三名が發見し直ちに海中に飛び込んで救ひ上げ星ヶ浦派出所に屆出でたので同所の後藤巡査が取調べたところこの支那人は約一時間前國澤半島附近の路上に市內愛宕町五二益興德主人宛の遺書を遺棄してあつたのでかねて搜査中であつた大連管內周水會南山八番地居住の邱紀先(三〇)と判明したので保護を加へた上益興德方へ身柄は引渡したが原因は就職難に悲觀してゞあると

娘を奪取し暴行する
支那人の告訴

市內北崗子十四番地劉曹氏(五九)は一日朝市內尾上町六四宋洪其(二〇)外三十名を相手取つて傷害の告訴を提起した、右は曹氏の娘が嫁いで居る前記被告訴人宋洪其が怠け者の上に最近娘劉氏(二〇)に賣淫を強要するため卅一日午前十時ごろ劉氏は母親曹氏の許に逃げ歸つた宋洪其は憤慨し附近に住の不良漢三十名を引連れて妻を取りもどすべく正午ごろ曹氏方に押しかけ妻劉氏を縛した上それを阻止した母親曹氏を散々殴打きとし全治二週間を要する打撲傷を負はしたものであると

緊急水路事項をラヂオ放送

海軍省水路部より關東廳內務局を經て當地海務局への通牒によると一時艦船航海保安に關係のあるもので緊急を要する水路事項に關しては東京無線電信局より無線電信にてこれを一般に放送告示してゐたが今回更に一步を進め右緊急事項中必要あるものは海軍省公示事項としてこれを中央放送局よりラヂオを以つて放送全國的に中繼で知らしむる事となり今後必要事項發生の都度實施する事となつた

社員會で養蜂講習
養兎は好成績

滿鐵社員會の副業獎勵事業として始めた家兎の配布は頗る希望者が多く數百頭の兎が忽ち配布濟みになつてしまつたが難ゝ近日配布を開始すると又養蜂は希望者は相當あるらしいが勝手が解らぬので躊躇してゐるものが多いので八月上旬を東、奉天其他各地に於て高海養蜂園主の養蜂講習を行ふと

警官水泳講習

海水浴のシーズンに入つて水難者や溺死者の數が滅切り增へて來た大連署では右事件の增加に鑑みて萬一の場合に於ける救助方法訓練のため來る六日午後二時から十五日まで向ふ六日間老虎灘靜ケ浦海水浴場に於て非番警官の水泳講習を開くことになつたと

學生團の歸國

一日出帆のはるびん丸、明星中學廿名、高岡高商九名、關西商業九名、鹿兒島高農十七名、京都第一商業三十名、小樽高商十三名の學生視察旅行團が歸國した

六日目取組

大相撲六日目取組左の如し

(高浪(朝ケ濱　光(晴ノ海
(東潟(沖ツ海　(池田川(若瀬川
(寶川(吉野山　(劔岳(朝潮
(太郎山(雷ノ峰　(錦洋(幡瀨川
(眞鶴(豐國　(大蛇山
(葉山(玉錦　(宮城山

小野少佐死體不明

【橫須賀一日發電通】須之崎沖海軍飛行機慘事犧牲者津久井中尉肥後二等兵曹の死體は三十一日午後二時五分能登呂に收容され同艦は同夜通夜を行つたが尙小野少佐の死體は尙行衛不明である

酌婦の逃亡

市內得勝街二番地料理店新月抱へ酌婦千鳥こと坂田チズエ(二二)は三十一日午後八時ごろ無斷家出したまゝ行方不明となつたので樓主より一日朝小崗子署へ捜査願ひを出したが坂田チズエは去る五月十三日にも逃走內地方面に赴いて居つたのを最近發見漸く連れ歸つたばかりである

市民納涼大會賑ふ

電氣遊園下の法律時報主催の市民納涼大會は大連市役所の後援の下に場內の設備を整へて開場して以來連夜、散歩客の入場で賑ひ演藝場の餘興ダンスは人氣を集めその他遊戲場賣店飛瀑等により常盤森畔に夜の快樂場を出現してゐる

自動車業組合總會

過般創立した大連自動車業組合は一日大連與講堂に於て第一回總會を開催し組合豫算及び一部改正規約の承認監事一名補缺選擧其他事項を附議協議する筈

長女信子儀急病にて一日午前二時死去致候付御通知に代へ此段謹告仕候
追而明二日午後三時自宅出棺西本願寺に於て告別式相營申候
大連市浪速町八五
父 安部繁雄
祖父 安部仁六
親戚一同
友人一同

侠艶一代男 (12)

米田華紅 作
伊藤幾久造 畫

神田祭の夜（十二）

加賀藩の鐵太郎は、明神下の忍亭を出ると、そのまゝ眞直ぐに本郷の加州邸へと向はないで、裏坂から湯島横丁へとそれ、神田河岸について、お茶の水聖堂前へとぶらり〳〵と歩いて行つた。

ほんのりと醉が出た頬へ、河を渡る夜風が涼しく、さすがにこの邊、江戸一の神田祭の晩とは云へ人通りも稀で、たゞ湊音に囃子を風が運んできた。

土堤の柳、河面を越した向ふの空ぼうと明るく街の灯が滲んで、西神田と覺える一圓からあちこちに矢鱈陽氣な馬鹿囃子の音が聞えてゐる。

聖堂の森がこんもりと暗く、行手は櫻の馬場を越して、一面の邸町であつたが、遙か向ふからポッカリと狐火のやうな提灯が一つ、

には數年前、故郷金澤の御城下町夏の夜の納涼地である淺野川原から大橋、東の新地の賑やかな、可懷しい思ひ出が蘇生つてゐた。

「早えもんだ。故郷を飛出してから、もう彼此六年になる。藩邸の水泳世話役であつた依田八左衛門どのも、浪々して未だにお行方が判らぬと云ふが、あの折十六……さうだ。十七、八……」と、彼は指を折つて數へながら「娘のお千賀どのも今年は廿一。嫁入り時は過ぎてゐる。どこぞへ片づいて、丸髷姿に世話女房振か？それとも武家の奧方に納まつて居ることであらう！」

初々しい娘千賀の美しい姿が、眼先をちらちらした。

鐵太郎は、夏になつて、河の流れを見る度に屹度思ひ出すのは、その昔、淺野川で泳ぎの手解きを

その時、湯島横丁の方から此方へと肩を並べて歩いてくる二人連れ。姿は判らないが、どうやら聲に聽き覺えがあるらしいのに、ハッとして耳を立てた。

ふわ〳〵とこちらへと歩いてくるらしかつたが、それも馬場から右へ曲つたと見え、影を消してしまつた。

鐵太郎は急に何を思ひ出したか—つかつかと路をそれて、神田川を見下す土堤へと上り、古い柳の根株へと腰をおろした。

底深い淵のやうに、流れは音もなく、一層に暗い闇を湛えて、微かに光る星の影をまばらに映してゐる。

腰から拔いた黒さんとめの煙管筒、細割り籐で組んだ一樂の煙管筒からすつぽりと延煙横筋の煙管を拔いてかち〳〵と燧石を切つた。

いなせを誇る加賀藩の持物としては、鳥渡似つかわしくない野暮臭い所もあつた。

暗い河面をジッと見詰めながらすぱりすぱりと白い煙を吐いて居つた。

二三服、立て續けに吸ふと、ぽんと煙わきの根株で、火玉をはたいた。

ずつと河下から向ふ岸の明るい街の灯を見てゐるうちに、彼の胸に

受けた依田八左衛門のことで、それと一緒に藩中で評判なその娘、千賀のあどけない姿である。

明らかに、お互の胸のうちを語り合つた仲ではないが、眼が、素振が、心の思ひを結びつけてゐた

「お千賀どのも……」

深い息、暗に吐きながら、味氣ない想ひに胸を締めつけられるやうに感じたが

「えいッ！いつ迄も若侍の浮いた氣持でゐられる年か？」と、おのれで意氣地ない考へを拂ひのけるか？、頭を横に振りながら「加州の火消仲間の思ふこつちやねえ」獨りで、淋しい薄笑ひを洩らした。

行手に繋がる暗い鶴町の丘の方を眺めてゐると、またしても想ひは故郷の卯辰山に似てゐるやうに思ひなされ、遠く近く聞える山車や屋臺の囃子さへ、金澤石浦神社の祭禮、五色の幟をかけた纏彦姿の山伏の練物がまざ〳〵と浮んでくる。

「どれ—」と、鐵太郎は今この想ひを拂ひ退け、思ひ切つて、そこから腰を上げやうとした。

第二回レコード演奏會曲目

八月二日（土曜日）の電氣遊園音樂堂に於ける第二回レコード演奏曲目は左の如くである

▲童謠の部 一、すずめ、澤田信夫、二、ザクザク兵隊さん、北爪玲子、汽車、諏訪富子、三、かくれんぼ、雨、ラクダ、お馬、原田みち子、四、線様人形、晩げになつても、名古屋御人形園生徒、伴奏松阪屋トリオ、五、時計さん、月に浮かれて、とんぼ、村祭り、原田みち子、六、スマイル行進曲、本居みどり、花と子供、本居若葉、七、帆かけ船、ノミとり、本居若葉、八、夕やけ小やけ、佐藤怡子、九、犬のお芝居、名古屋のお城、草野ワカ子、十、水邊のほたる、虫の樂隊、浮田信夫、十一、はよはよかへろ、たんぼ田の道、清水三七子、十二、いくさごつこ、動物園、清水三七子

▲洋樂の部 一、吹奏樂、ワシントングレの行進曲、ロイアルカール吹奏樂團、二、同、陽氣な農夫、懷しのオーグスチン（ワルツ）コロンビア獨逸吹奏樂團、三、同、お巡さんの休日、英國航空隊附吹奏樂團、四、同、ロシヤの村落より（描寫的間奏曲）同、同、五、フォックストロットピューグル、ユール、ラッグ、テッド、ルイス、バンド、六、管絃樂、夜明の三時、インターナショナル、コンサート管絃樂團、七、同、輕騎兵、コロンビア、コンサート管絃樂團、八、交響管絃樂、ジプシイ、バロシ、ウォルター指揮交響、絃樂、九、同、アイダ大行進曲、スカラ座合唱團、ミラン交響管絃樂團、十、同、第五交響曲（新世界より）其七、其八、ハルレ管絃樂團、以上

大河内傳次郎の北海道行を大日活から撮影所に聞き合したところ▲九月の間違ひだと返電があつたからファンは御安心あれとのこと▲それに女優には本紙に連載した「この母を見よ」の主演者龍花久子も來連するとに確定した模様である▲常盤座の土生青兒が「歸郷」を持つて沿線に行き漫談をやると力み返り映畫街の度膽を拔いてゐる▲内地から相當な解說者が二人來て就職口を求めて歩いてゐるとか大日活の室町司郎はけふから「沓掛時次郎」をシャベル▲電氣遊園下の市民納涼場のフラ〳〵ダンスのエロが納涼客の人氣を集めてゐる▲見て來た人に言はすとダンスは與太だがいゝ身體をしてゐるネとは宣傳屋の思ふ壺にはまる

大連 JQAK

八月二日午後七時半

自午後五時三十分日本大相撲（連絡放送）

▲獨逸語講座「第五課」大連語學校講師荻榮

▲ピアノ、ヴァイオリン合奏「花咲く牧場」大連高等音樂學院ピアノ照井くみ子、ヴァイオリン村岡樂童

▲劇喜劇「命の安賣」二幕（第一酒屋丹羽屋九兵衛の店先）（第二米屋泉屋九助の店先）酒屋丹羽屋九兵衛（龍蝶）女房お光（國男）番頭九助（好蝶）丁稚德造（三郎）坊主信念（五俵）米屋泉屋久助（室正）若者重吉（五ン平）岩屋加賀屋佐吉（山地）稽古屋おさん（君子）浪人大野平馬（五郎蝶）

▲尺八「青海波」都山流辻恭正、宮地恭風

◇◇珍婚世界漫遊記◇◇

ジョニー・ハインス主演のナンセンスな旅行記で上山草人が特別出演してゐる【常盤座上映】

第九回滿日勝繼碁戰（井上氏三回勝四回目）

先二子番　高本吉郎氏　井上太市氏

○一レの四　●二への十六　○三ホの十七　●四ヨの三
○五ヲの三　●六レの七　○七タの六　●八タの七
○九レの六　●十レの三　○十一ソの三　●十二タの四
○十三レの二　●十四レの五　○十五タの三　●十六ソの四
○十七タの五　●十八（十の處に劫提る）　○十九ソの五
●二〇（一の處に粘ぐ）

▲都筑四段伊藤三段合評　黒八は十に頂け白九のとき十二に勝れ白十九黒十六白（い）黒十四白（ろ）と打つ定石に從ふべし、白十三單に十九に掛粘くべし白十七の截悪し十の處に粘くべし其時黒十七白（は）黒十九白（に）となりて黒が惡くなります

—【1】—

満鐵の石炭液化事業は學術的研究完成す
愈よ工業化の實驗時代に入る 來月頃第一回實驗

【東京特電一日發】満鐵重要事業の一つとして若しそれが成功し工業化する事が出來れば將來頗る有望と謂はれて居る石炭液化に就いては目下海軍に依囑し滔々研究中である事は既報の如くだが右は既に學術的研究完成し愈々其工業化の實驗的域に達したので來る九月ごろから第一回の

實驗に

移る筈で今や其の準備中である、元來この石炭液化事業はドイツ、I・G會社の發明に係るもので米國ではスタンダード石油會社が右アイ、ヂイ會社と提携して石炭液化事業の合同をなし最近スタンダード、アイヂイ會社を作りその實際の仕事は一種のパテントホルデンコムパニーに依る事とし株主が特許料を拂つてこの事業を經營する仕組みになつて居るが、その三工場の内一ヶ所は既に工事竣工の域に達して居る

事業の

内容は大體

一、タールに水素を添加しガソリン化すること

二、石炭に水素を添加して液化し且つこれをガソリン化すること

の二種に岐れて居るがその內タールのガソリン化は既に實驗的域を脫して工業的代に入つて居るので目下の該會社の實際的事業はそれが主となつて居る、また

石炭の

ガソリン化は液化そのものが尙實驗的時代の域を脫しきらずにゐるから工業としては未だ十分でないが何れにしても斯るガソリン化が追々に行はれるに至れば安價な重油から高價なガソリンを得るのだから經濟的にも事業としては十分立ち行くことになるであらう、次に英國においても同樣に前記獨逸アイ・ヂイ會社とクリテッシユケミカリイ、インダストリーやローヤルダッチ會社などが提携し石炭液化の工業化實現に努めて居る、斯くの如き世界の實情であるから

我國に

おける満鐵の石炭液化事業も其將來を頗る注目すべく殊に我國獨特の研究も加へられて居ることであるから、それが實驗に成功し立派に工業化する事は恐らく近い將來と云ふべく滿蒙を初め原料たる石炭に事缺かぬ支那各地を背景として居るだけに該事業の前途は必らずや有望なものがあらうと言はれて居る

怨せにし難き現卸市場の缺陷
羅記帳中の誤魔化し不當なる利得を取得

大連市營中央卸市場改善問題は田中市長が全然白紙に還り愼重に調査研究を進むることになつたので改善實現までには相當の日子を要するものと觀られる、そこで現在の制度は已むを得ず、當分その儘とするも、運用上における缺陷の

改善に

至つては一日も忽にすべからずとされてる、元來現市場の根本的缺陷は卸賣人が仲買及小賣を兼營する點と、卸賣人組合の經算事務が極めて不公正な點にありと斷ぜられてゐる、卽ち後者について云へば市では驚く行爲のみを行ひ、荷主名、品名、數量、臘價、價格、買主名を記帳するも卸賣人においてはこの記帳中、荷主名と買主名を削除したる仕切書を荷主に送附してゐる、然るにその仕切書なるものが臘價を誤魔化して不當利得を

搾取し

てゐるもの少くないとは既に世間周知のことに屬しこの間藥を寄貨として例へば受荷五圓程度のものを自ら十圓にて驟落し、荷主には五圓以下を送金し、小賣人には十圓以上で賣捌くが如きことも相當行はれてゐるのも殆ど公然の秘密とされてゐる、されば市當局においては從來幾度かこの惡弊を矯正せんと試みたが徹底せず、市當局の責任重大なるはいふまでもないが、一面において大連警察署、大連民政署、關東廳等がこの

奇怪事

を怪しまず、傍觀してゐるのは怠慢の甚だしきものとされてゐる、そこで識者間にはこの害惡を防止するためには市がその驚記帳の寫し一通を捺印證明して卸し賣人はこれを荷主に必ず送附すべき義務ありとし、强制すれば略目的を達し得べしと主張してゐる、かくて市の驚行爲も初めて意義を生ずることであるから市當局の決斷を期待せざるを得ずとしてゐる

右につき卸賣人組合の一由事務長は當惑顏に「惡いことをすれば荷主の方で送り付けなくなる」と答へるのみで多く語るのを避けた

大連における綿糸布の取引
綿糸定期取引きも何が發達させたか (四)

綿糸の定期取引が僅に一年有半を出でざるに異數の發達を示したことから一陽來復の春が芽生えて商品市場更生の素因を形成するのではあるまいかとの期待を抱かしめるに至り、取引所理事者も綿糸布取引の助長を以て市場振興の第一歩として之に多大の期待を繋いで居るのは强ち綿糸の手數料收入が一個月三千三百餘圓を算せる一事のみによるものでなく大連に於ける綿糸布取引が今後發展すべき可能性を多分に持つて居る點に着目したからである。◇

何が大連の綿糸定期取引をさう發達させたか。定期上場の時期が州內綿糸の特惠關稅が實施され內地市場との關係が緊密の度を加へて來た際で然も金解禁と世界的不況に基く劃期的物價革新時代に際會して緊ぎ商內が繁昌したことが其の素因を爲して居ることは勿論であるが一般に大阪三品市場とかけ緊ぎをする機關を必要とし、綿人業者及び雜商等が手持綿糸布

又は綿糸布の買付賣捌上の保險繋ぎを行ふ適當な機關を必要として斯く居たことが綿糸定期取引をして斯く長足の發展せしめたものと云ふことが出來るであらう。從來洋行筋問屋筋等は適當な繋ぎ機關がないため主に鐘鈔市場に保險繋ぎを試みてゐた。綿糸布の最大需要地たる支那及び印度が銀貨國である關係上銀市場に繋ぎ商內をして置くことも一法であるが綿糸市價變動の材料は單に銀價の高低のみに止まらず米棉及印度棉相場並に世界棉産地の諸事情、對外爲替及對外貿易狀況、紡績生産狀態及在荷の如何、輸出狀況等の如き需給關係並に其他政治經濟上の諸情勢等々、幾多の材料によつて動くものであつて銀價は綿糸價變動材料の一部分たるに過ぎない、而して場合によ

つては其以外の材料が主となつて動くことが尠くないのである、隨つて市場にかけただけでは充分保險繋ぎの目的を達することが出來ず所謂隔靴搔痒の憾があつたが大阪三品市場に直接かけ繋ぎをすることは極一部の大手筋以外のものには容易に出來ず尠からざる不便不利があつた。そこへ綿糸定期取引が上場されて大阪三品市場とのかけ繋ぎが自由自在に出來、手持綿糸布や綿糸布買付賣捌上の保險繋ぎが完全に行はれるやうになつたので市場は頓に利用者が殖えて繁昌し出したのである。◇

綿糸の定期取引は獨り綿糸布當業者ばかりでなく株式方面や鐘鈔業者にも利用される。即ち株式も銀も共に綿糸相場とは一脈相通ずるものがあるから保險繋ぎに利用が出來る、本邦株式界の主要株は云へば先づ東新株、大新株、鐘紡株の三者に指を屈するが其内鐘紡株は綿糸相場の高低に密接な關係を有して居る、紡績が我國重要工業の首位を占め綿糸布が輸出品の大宗である關係上綿糸布界の變動が株式界に及ぼす影響は相當大きなものがある殊に近來綿糸相場は物價體系の尖端を行つて居るので株式相場もこれに追隨して動く傾向がある。銀價も綿糸相場と密接な關係を有することは既に述べた通りであるから株式、鐘鈔方面の人々が保險繋ぎに綿糸定期市場を利用することは必要であつて現に往年商品市場の黃金時代には綿糸市場が鈔票賣買の保險繋ぎに利用されたものである。

共同調査機關の大綱
東京銀行側の決定

【東京一日發電通】銀行業者の共同調査機關設立につき東京側小委員會は三十一日協議の結果大綱を決し近くシンヂゲート銀行團の決定を待ち大阪側と協定の筈であるが東京側案の大綱左の如し

一、組織を協會とし、會長一名を置き、職員の任命を一任す

二、國際シンヂゲート銀行及び相當資格の保險、信託會社を會員とす

三、協會經費は會員の醵金及び調査手數料等に依り醵金は年二十萬圓內外とす

東支鐵道の船車連絡
豫約扱を開始

【ハルビン特電三十日發】東鐵汽車課では九月一日から船車連絡の便を一層積極的に荷主に利益をするため、豫約取扱を開始するとあり、各課にその計畫案を配付し、輸出入商にも案內狀を出し通告したが、事務は八月十五日から開始する筈である、東鐵としては本年特産出廻り期に東行に積極的の力を加へる方針である

東鐵貨物輸送

【ハルビン特電三十日發】東鐵經濟局の本月一日から二十日に至る東鐵輸送報告によると十四萬八千噸で其のうち特産物は九萬三千噸で九萬一千噸は輸出した昨年同期は三十三萬一千噸であつた、尙本月の出廻り狀況は西部線一萬九千噸、ハルビンが七萬二千噸、東部線一萬噸、南部線一萬噸であつた現在二區の滯貨は全部で二十二萬九千噸あると

海運業組合長
三村氏を推薦

大連海運業同業組合では曩に吉村英吉氏が國際運輸重役辭任と共に同組合長をも辭したので七月卅一日理事總會を開き後任組合長の選擧を行ふ所あつたが大三商會主三村元介氏が滿場一致を以て組合長に推された

白國銀行利下

【ブラッセル三十一日發電通】ベルギー國立銀行は卅一日公定歩合を五厘引下げ二分五厘とした

手數料割戻しに華商側も同意見
近く日華兩商の委員會を開き信託へ交涉方を協議

錢鈔手數料値下に關する華商側の協議會は既報の如く昨三十一日午後二時半より組合樓上會議室に於て開催されたが、華商側の意見である何等かの形式に於て手數料の割戻しをなすといふことにほゞ意見の一致を見た模樣である、これで日支兩取引人の意見は一致したので最早日支合同の協議會は開催する必要がなくなつたから和盛泰、三井、三菱、日清の邦商委員及び華商側の委員は近日合同委員會を開き信託へ交涉する方法につき協議をなす筈である

上海在銀高
先月末現在

七月三十一日現在上海在銀高は左の如し

▲一億千二百十八萬三千兩 前週より百七十一萬四千兩增加

▲一億五千百五十九萬弗 前週より六十二萬弗減少

正隆銀行配當復活
年三分內定

正隆銀行では一日重役會を開き本年度上半期決算の查定を了したが、當期は利益金を以て金十七萬三千餘圓の滯貨金銷却を行ふた上純益金として十三萬一千餘圓を計上し、從て株主と公約に基き株主配當を復活し、年三分に內定し、來る二十二三日頃株主總會を開きこれが承認を求むると共に、任期滿了となる頭取安田善四郎、取締役李序園、同佐藤至誠三氏の改選を行ふ筈なるが當期利益金處分案を示せば左の如し(單位圓)

當期純益金	一三一、八五三
前期繰越金	二七八、四八六
合計	四一〇、三四〇
右處分	
法定積立金	三〇、〇〇〇
配當金(年三分)	八四、三六五
後期繰越金	二九五、九七四

四平街在荷高

七月末現在四平街在荷左の如し

品名	專用線	院內	合計
大豆	三	八五	八八
高粱	六六	二九	三五
小米	四五七	三五	三三五
元米	一六	三五	四九二
生子	九	五	二一
谷子	二七	七	二一
迷子	二四	一	一六
包米	一〇	九	二八
蕎麥	二〇	一〇七	二三
吉豆	三六	一	二七
小豆	一〇	一	一七
小麻子	二〇	一	一〇
芝麻	四七	四	三〇
大米	四	三	一三
粳米	八	一	七一
稻子	二	二	八
蘇子	三	八	四
稗子	〇	四	一
莫豆	〇	一	四
碎小米	一	五	一〇
合計	七四四	五四八	一二九二

朝鮮商品擔保貸出減少

朝鮮總督府調查＝六月中に於ける鮮內各種銀行の商品擔保貸出狀況は現物保管の分六百七十二萬五千圓貨物保證の分一千二百八十二萬圓計一千九百五十四萬五千圓にして前月に比し二百八十萬六千圓を減少した

標金上下材料

上海よりの情報によれば標金の上材料及び下げ材料は左の如し

▲標金上げ材料

銀は印度支那共買氣無く米棉物價下落見込み、華商爲替賣り過ぎ居り日米爲替は出超期に向ひ騰り見込み

▲標金下げ材料

時局懸念仕手賣持ち下げ賛成、支那輸出期に入る

正金銀行は銀弱意見にて其他の日本側銀行は標金五百七十兩見當一服保合と觀測されてゐる、以上の兩材料より觀て標金は時局懸念に一段下押しあらんも押目買ひと思はれる

大連橫濱間の豆粕運賃漸落
二年六月の半額

大連橫濱間豆粕運賃は漸次低率となり現在八錢見當となつてゐるが昭和二年六月の十六錢に比較すると半額となつた譯であ、昭和二年六月より五年六月まで四年間の運賃を示すと左の如し

昭和二年六月末	十六錢
昭和三年六月末	十三錢
昭和四年六月末	十二錢
昭和五年六月末	八錢

貨車が立往生
米の出廻無し

水害後の米價は一石に付五十錢高を現はしてゐるに拘らず出廻りは反つて減じてゐる、從つて在庫品薄となり尙先高を見越されてゐる從來一石に付五十錢高と云ふ强調を示した場合、市場の出廻り量は必ず三割以上增加したので鐵道局は米價の硬軟により配車準備を續けて來たが、昨今は前記の狀態で一向出廻り不活潑のため貨車は到る處に立往生してゐる(京城發)

吉林政費節減通令

【吉林特電一日發】吉林省政府主席張作相氏は近頃吉林省の財政は極度に支出が多くなつたので既に財政行詰りを來したので支出を戒め以て豫算の運用を全からしめんと管下各廳長に通令し十九年度より豫算上に定めたる豫備費は一齊に整理し若し臨時に豫算外の支出あらば均しく既定經費より支出し豫備費を運用すべからず但し警務處は既に既定の豫算僅少なるを以てこれは撤廢せずと而して財政廳は各廳處に既に送つてある豫算書を返還せしめ豫備費の一項を削除したと

黃塵

◇…本年度上半期決算に當り、內地一流銀行と雖も時節柄に鑑み內容の充實を期するため減配するもの多きに地場銀行は兩行とも配當を復活す。

◇…株主の切なる希望でもあり更に豫ての公約もあれば致し方なしとするも些か時代錯誤の感なきに非ず。

◇…しかし蚊の淚ほどの配當も株主の不滿を緩和し銀行の人氣を良くする所以とならば泣く兒に飴を嘗させるへ必要もあらう。

◇…銀行の信用上デリケートな關係を及ぼすものとして此際配當復活もジヤステイフアイし解かが首腦者として据はつてゐる以上經營に違算もあるまいが折角復活した配當を將來再び無配に還元するやうなことのないやうに勞慮を願つて置く。

◇…只正隆の如き保善社のお膝元

市況

特産 作柄良好豫想で大豆低落

大豆、高粱は依然作柄良好豫想で低落、豆粕は不申、豆油は添ひ軟調大引

◇定期前場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	六六五〇	六七〇〇	六八三〇	六八三〇
九月末	六九五〇	六九八〇	六九〇〇	六九一〇
十月末	七二六〇	七二六〇	七二五〇	七二五〇
十一月末	七二九〇	七二九〇	七二四〇	七二四〇
十二月末	七三一〇	七三一〇	七二七〇	七二五〇
出來高	三百八十一車			

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕 出來不申

▲豆油(軟調)單位錢

錢鈔 材料區々乍ら鈔票低落

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十六片丁度と(同事)先物は十五片十六分の十五と(同事)紐育は三十四仙八分の五と(八分の一高)紐育は四十六留比四分の三と(十六分の三高)孟買は七十一兩四〇、大洋は九十七圓七十五錢、日米は四十九弗十六分の五と(十六分の一高)米日は四十九弗八分の三と(十六分の一高)米英は八十七仙十六分の三と(四分の一高)米支は三十七弗八分の七と(八分の一高)上海標金は五百七十四兩二と寄り五百七十一兩七と止め當市の銀價は低落を呈した

◇定期取引(單位錢)

◇現物取引(單位錢)

◇現物前場(銀建)

▲包米 出來不申

	寄付	大引
混保(袋込)	七八七〇	七七九〇
大豆(裸物)		
出來高	三十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二五五〇	二五五〇
出來高	一萬二千枚	
豆油	二一八五	二一八〇
出來高	三千箱	
高粱	四五〇〇	四五〇〇
出來高	二車	
包米	四一七〇	四三七〇
出來高	二車	

定期喰合高(卅一日限入)

		(前日對比較 △印減)
大豆	二五四三車	△二三一車
高粱	六五五車	△六六車
豆粕	二四五十萬枚	△五千枚
豆油	九五五四箱	△二四五百箱

市場電報 一日

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一六片〇分〇
同先物	一五片十六分十五
紐育銀塊	三四仙八分五
孟買銀塊	四六留比四分三
英米爲替	四八弗八七仙十六分三
米日爲替	四九弗八分三
米支爲替	三七弗八分七

棉花

●米棉(換算不變)

●印棉

株 今朝北濱の新甫は鐘紡の一圓四十錢安を筆頭に諸株共ボンヤリに生まれ東京短期の新東も八十錢安と軟弱を入れたので地場諸株はいづれも十錢安の弱保合現物の新東は六十錢安を示した▲下旬賣場も一千餘圓の出超こそ示したが輸出入共不振の數字を眺めては株式も好感すへ譯には行くまい▲結局昨今の市場は極端な悲觀人氣が緩和されたと言ふだけで相場とても引立たしむる材料皆無の狀態であるから閑散裡の保合を續ける外はない夏枯時の夏痩せ相場とでも言ふべきであらう▲(綿糸)受渡休會中米棉は續落歩調を辿り今朝小戻しを入れたが大阪三品の新甫はボンヤリに生まれた期近は割合に聢りしてゐるが地場の人氣は先行安見越しであつた

豆 大豆高粱共に昨日暴落をせる氣先今朝も差したる買氣なき折柄作柄良好豫想も手傳ひて大豆は六錢から九錢方、高粱は七錢から十一錢方の低落を呈した▲人氣は依然安豫想でありその上に買氣も差して現出しない極であるから各品共に依然ヂリ安氣配と觀られてゐる▲現物大豆は油坊十八車、丁新昌、聚源泰で十二車、豆粕は瓜谷で一萬二千枚、豆油は三井で三千箱の各手合はせがあつた▲今日の油坊生産高は五千枚で操業工場は四軒である▲豆油の賣買は相當の危險があり最近受渡しの度ごとにとかく問題を惹起してゐるが▲この取引方法改善につき相當研究してゐる樣であるから近い內に何とか改良されることであらう

銀 海外材料としての銀塊は倫敦同事、紐育八分の一高孟買十六分の三高と概して强氣を入れ▲爲替は日米十六分の一高、米日十六分の一高を報じ又上海標金は共産黨事件懸念に伸び惱んだ▲地場鈔票は以上の材料區々を眺めたが概して弱氣配で大引▲地場鈔票は目先き共産黨事件懸念等で氣迷ひと觀られてゐる▲昨日の華商協議會で取引人の意見はほゞ一致した模樣である▲それによると一割配當をしたる上まだ餘りあれば割戻しをしてくれと要求するらしい▲さうすると取引人が一割配當を保證する意味になりはしないだらうか▲非常に折れた申し込みの樣であるがもつと良案は浮ばないものだらうか

株式 內地株軟弱當市弱保合

今朝北濱の生れ値は大株二十錢安大新六十錢安、鐘紡一圓四十錢安鐘新七十錢安、東京短期東新も八十錢安と軟弱を入れたので新豆、鈔票、五品何れも十錢安、定期新

◇定期取引(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	五六〇五	五六二〇	五六五〇	五六五五
出來高	期近 百九十二萬圓			

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五七〇	一七五五	一〇四五〇
十時	五七〇〇	一七七〇	一〇四五〇
十一時	五八〇〇	一七七五	一〇四五〇
十二時	五九〇〇	一七七〇	一〇四五〇
出來高	(銀對金)十四萬一千圓 (金對洋)一萬三千圓		

商品

麻袋(保合) 產地國際勞鐵四分一、當十六分五安と低落、千田別電直積三十留比四分一、先積三十留比四分三市況閑散を傳へ、銀塊同事、鈔票保合、當市久方振りに手合せあり、相場は概して保合商狀氣配は現二十七錢二厘、八月二十七錢五厘、九月以降二十七錢八厘

銘柄	約定期	値段	數量
鐵麻	十一月限	二七八	二〇
同	十二月限	二七八	二〇
出來高	四萬枚		

綿糸布(保合) 米棉現物三十錢

株 銘柄 約定期 値段 數量 福助 十二月限 一二四四 一〇 出來高 二十梱

大阪株式

東京株式

東京期米

大阪期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戸豆粕

橫濱生糸

印度麻袋

奧地市況(一日)

錢鈔

特産

前場

後場(保合)

満鐵株(保合)

▲東短前場 ▲大阪現物 滿鐵新株 滿鐵親株 六十圓六十錢

株式出來高(卅一日)

定期	一一〇〇枚
現物	六七〇〇枚
合計	七八〇〇枚

手形交換(一日)

金	一、二三六枚	三、一七三、五〇八圓
銀	七二三枚	一、八六三、八六六圓

爲替相場(一日正午)

正金(銀勘定)

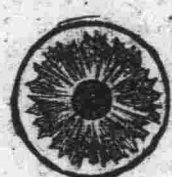
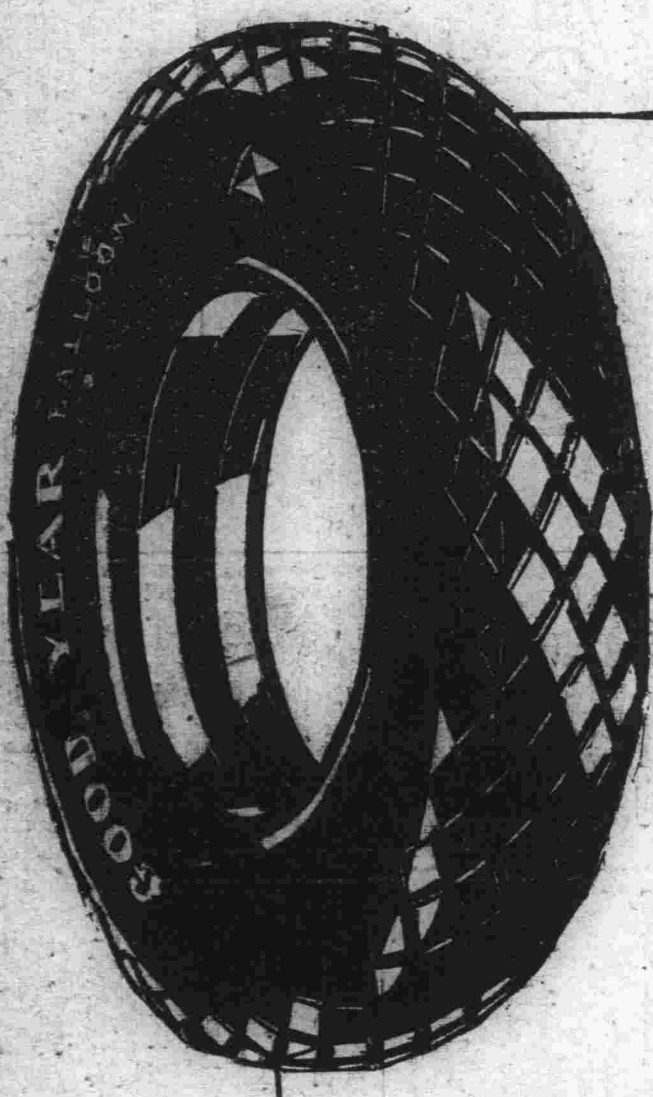
日本向參着賣(銀買) 同十五日買(同) 上海向參着賣(銀買)

正金(金勘定)

倫敦向電信賣(圓) 紐育向電信賣(百圓) 同九十日拂買(同)

鮮銀(金勘定)

資本金壹千貳百萬圓
株式會社 正隆銀行
大連市大山通十一番地
電話七一一一・振替(大連)二二一〇
頭取 安田善四郎
相談役 安田善次郎
支店 旅順、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、四平街、鄭家屯、長春、公主嶺、哈爾賓、青島、天津、安東
派出所 小崗子、沙河口、奉天小西關、傅家甸

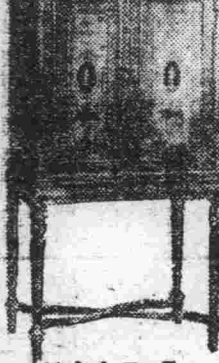
印刷一般
活版・石版
オフセット
ジンク版
株式會社 東亞印刷 大連支店
大連市近江町
電話 七三六六・六八九四番

新しく傑作されたトラック及びバス用のグッドイヤータイヤーを御試しになりましたか。如何なる急坂の上下でも如何なるカーブをまがる時でもグッドイヤータイヤーは常に地面に密着してグリップする様な危險をもたらしません……故に運轉者も乘客も絕對安心して乘る事が出來ます。尚如何なる長距離や快スピードのドライブでも皆さんに滿足なるサービスを致します。

グッドイヤータイヤーチューブブルト及同ゴム製品

代理店
公懋洋行(コーム)
大連市山縣通二一二
電話五四七三番
振替大連二四三九番

GOOD YEAR

ラヂオ用、通信用トシテ最モ高評ナ
高砂工業會社製
日本乾電池
多數入荷
御一報次第型錄進呈可仕候
鮮滿總代理店 株式會社 進和商會
電話長八一一二九番

建築|設計|監督
構造|計算|鑑定
宗像建築事務所
工學士 宗像主一
大連市西通商店街與小路
電話三四九五番

各國商品依托直輸入
特に獨逸及チエッコ・スロバキヤ各會社製品に付ては弊社支店に於て特別安價に直輸入御便宜相計り可申候
ミシン 獨逸式ノーマン
在庫豐富
ビクター蓄音器大賣捌元
ビクトローラ ヱレクトローラ ラヂオーラ 各型在庫
ピアノ 獨逸
オーガスト フォルスター グランド及アプライト各型在庫豐富
主要代理商品
鐵道用及電氣諸機械、金物諸材料及工具類、農業用機械、文房具、寫眞器、各種キ製品化粧品、其他如何なる商品にても御需に應ず
大連市山縣通四二番地
チューリン大連支店
電話二三〇二五番

米國ホワイトマウンテン會社
アイスクリーム器
家庭用 營業用 各種入荷
アイスクリーム材料と氷用果實シロップ
カルピスの店
●ソーダ水タンク配給(御希望の方は御照會)
三星洋行
電話五一六一番

電話四四九一・三六九五
滿日廣告部專用

金網
凡ての目的に使用する如何なる網でも御希望通りのものが出來ます
金網と針金細工品を專門に製造して永き經驗を有するは弊店が滿洲唯一の店で有ります何卒多少に不拘御用命下さいます樣御願します
金網製造販賣商 西村商會
大連市近江町
電話七六四八番

最新刊
大阪屋號書店
大連市浪速町
佐藤紅綠著 少年讃歌 實價一圓五十七錢送料十錢
清雀倶樂部著 麻雀入門 實價九十四錢送料六錢
松川三郎著 奇風俗を尋ねて 實價一圓八十九錢送料十錢
難波勝治著 新天地を求めて 實價二圓六十二錢送料十錢
十一谷義三郎著 唐人お吉 實價一圓四十七錢送料十錢
布施勝治著 支那國民革命と馮玉祥 實價七十八錢送料六錢
山北菊一郎著 蒸氣利用模型の作り方 實價二圓十錢送料十二錢
大妻コタカ閲 可愛らしい子供服 實價一圓五錢送料十錢
田中唐三著 新東京が俺ら見物 實價一圓五十七錢送料十錢
三省堂編輯所編 新制法令集 昭和五年度版 實價一圓八十九錢送料十四錢
寺田有秋著 燃ゆる伯林 實價一圓三十六錢送料十錢
報知新聞經濟部編 經濟相談 實價一圓五十七錢送料十錢
守田有秋著 自由戀愛秘話 實價一圓五十七錢送料八錢
守田有秋著 性慾變態秘話 實價一圓五十七錢送料八錢
姉崎正治著 切支丹傳道の興廢 實價六圓八十二錢送料卅六錢
新天地社版 滿蒙事情十六講 實價一圓五十七錢送料十錢
貴司山治作著 靈の審判 實價一圓八十九錢送料六錢
窪川いね子著 研究會挿話 實價三十一錢送料六錢
立野信之著 情報 實價二十一錢送料六錢

最新刊
檜六郎著 商工農業者は沒落か更生か 實價一圓六十八錢送料八錢
室伏高信著 田園工場仕事場 實價七十三錢送料八錢
室伏高信著 文明の沒落 土に還る 實價七十三錢送料八錢
大泉黑石著 峽谷と溫泉 實價一圓二十六錢送料六錢
朝日政治經濟 海軍縮小の話 實價五十二錢送料四錢
新興映畫社著 プロレタリア映畫運動の展望 實價一圓三十七錢送料六錢
大久保寺三郎著 プロレタリアと日本の財政 實價一圓三十七錢送料六錢
難波勝治著 新天地を求めて 實價二圓五十七錢送料八錢
守田有秋著 自由戀愛秘話 實價一圓五十七錢送料八錢
青木著 山の傳說 實價一圓八十九錢送料八錢
田中唐三著 新東京が俺ら見物 實價二圓五十七錢送料十錢
吉松一著 人間一茶の生涯 實價一圓八十九錢送料十錢
山崎延吉著 農道說話 實價一圓五十七錢送料八錢
荒川實藏著 史的唯物論入門編 實價一圓二十七錢送料八錢
日本旅行協會著 日本溫泉案內 實價五圓二十五錢送料十四錢
太郎著 中國音聲字彙 實價一圓五十錢送料四錢
大連市大山通
滿書堂書店

社說

共產黨匪の歸趨 結局は土豪劣紳普通軍閥に還元

愛親覺羅の清朝政府に對し五族共和を標榜して漢民族の革命が絶叫され、ともかく易姓革命が達成せられたが近代的國家への國民革命は容易に完了せられず、今なほ達成への途中にあり。然るに最近、ロシアの使嗾に踴躍せられて共產革命の兇暴が行はれ、江西湖南に暴威を振ふ。革命といへば易姓革命のみと思つてゐた支那に國民革命あり、さらに共產革命に一躍せんとするものありとは、これまた支那の地理と歷史とを物語るものといふことが出來る。國民革命は國民の革命であり、近代的國家に更生せんとするにあることと勿論であるが共產革命となれば超國家的、たゞ階級意識を尖鋭にして無產階級の天下に統制せんとするものである。

一體、國民革命の達成さへ不可能な現代の支那にありて一足とびに共產革命などいふことが可能であらうか、どうか。さすがのロシアにあつてさへレーニンの十月革命以來、幾曲折を餘儀なくせられた共產革命である。それが五千年の歷史を有する漢民族に可能であらうか。われらには大なる疑問が存する。ロシアの農民のそれの如き、國民革命の自覺さへ持ち得ぬ多數の無智な無產者の存在することは確かである。この無智な無產者の多數を拉束して階級鬪爭に出發するとは當初において相當の成功を收め得るかも知れぬ。併しそこにはロシアに於て經驗した如き幾曲折もの曲折あることを知らねばならぬ。而して結局は、國民黨の人々が今日なほ一般民衆の實生活とは無交渉に軍閥の抗爭を敢てしてゐるやうに彼ら共產黨の人々も、觀念上の階級鬪爭に徒らなる兇暴を行ふぐらゐが關の山といふことに墮するのではないか。

昨日も論じた如く、放火、劫掠、殺人を敢てする共產土匪、これ共產主義の最も小乘的なる一面を暴露したものではあるまいか。殊に支那には、すくなくとも支那の農村には資本主義的組織の經濟的機構など認むべくもないのである。上海の如き都市に到れば外國經濟都市の延長としての資本主義經濟の組織は認められるけれども、年々歲々土匪草賊に掠奪され、所在軍警から苛斂誅求される地方の農村に、しかも全く原始的ともいふべき農村に、資本主義的の經濟組織など認むべくもなく、そこに無產階級者の共產主義運動といふことも甚だ怪しきものといふべく果して成立し得べき觀念であらうか否や疑はざるを得ぬ。果して然らば國民革命なるものが一般民衆に自覺なき觀念上の抽象名辭なるが如く、この共產土匪なるものの共產運動も、歸するところは事實に立脚するにあらず、ただ放火、劫掠、殺人によつて財貨を奪ふ口實としてロシアよりの飜譯運動に過ぎぬのではあるまいか。すなはちロシアの煽動使嗾するところと支那共產黨の慣行するところとは必ずしも同じ觀念上のものにあらずといふことも出來やう。

何は兎もあれ共產黨匪の兇暴するところ放火、殺人、劫掠、ただ罪惡、破壞のみあつて建設もなければ光明もない。かくて彼らが、よく土豪劣紳を驅逐し、また蔣介石、閻錫山らの地方軍閥を打倒したところで、結局、彼らもまた第二の土豪劣紳となり地方軍閥となることは火を見るよりも明かである。木乃伊とりが木乃伊となることは支那民族の性能からして當然の歸趨といはねばならぬ。辛亥革命以來、革命の目標とするところ漢滿蒙藏回の五族であつたり、近代的國家への更生であつたり、いろいろに變化して行くけれども支那民衆の現實生活には何らの變化もなく、否、却つて戰禍、匪禍に見舞はれ些の安定をも期することが出來ぬところに重ねて湖南、江西方面の共產禍といふものを見るに至つたのである。政治や經濟の根柢が動かぬから、その上に築かんとする主義、思想も架空の抽象的觀念に終り、そこで主義の假面を以て良民を脅威し放火、劫掠、殺人への悲慘事のみを敢てするに至つたものに外ならぬ。されば或はこの共產土匪、長髮賊ぐらゐの活動はするかも知れぬが、また非常に勢力を得れば、ただの土匪、ただの軍閥と還元することと支那の實情に照して想像するに難くないが、それにしても三民主義も共產主義も知らず、ただ放火、劫掠、殺人のみを目擊せしめらるゝ地方の良民には同情せざるを得ない。而して、これが責任は年中行事として抗爭に腐心沒頭しつゝある南北の軍閥に重大なる責任ありといはねばならぬ。

居留民の生命財產に關し 國民政府の注意喚起
長沙事件の抗議訓令到着し 重光代理公使から

【上海特電一日發】長沙事件に關するわが國民政府に對する抗議の訓令は一日當地重光代理公使の許に到着したので重光代理公使は一兩日中に右訓令に基き國民政府に抗議を提出することになつた、損害賠償その他の問題は總ての事態が判然するを俟つて更めて國民政府に對し交渉することとなるであらうが、長江一帶には日本の居留民多數散在して各種の事業に從事してをり長沙占領に勢を得た共產軍は何時わが居留民の生命財產を脅かして重大事態を惹起し重大なる國際問題をひき起すかも知れない惧れがあるので取敢ず我國政府はこの點に關し國民政府當局に深甚なる注意を喚起し至急適切なる處置を講ぜんことを要求することになつてゐる模樣である

武漢を狙ふと共に 南昌方面を襲擊の計畫
魯江西省主席は逃亡の準備 共匪の不安つのる

【上海特電一日發】長沙事件につきその筋でその後調査の結果、わが領事館の公館燒き拂はれ事務所の建物だけ殘つてゐること判明したが、共產軍の長沙における暴虐は九江等の各地方も砲擊計畫說とは長江沿岸一帶に絶大なる不安を興へてゐる。漢口にては目下警戒を嚴にしてゐるが中央憲兵隊一千、軍官學校學生軍八百、公安局保安隊三千あるに過ぎず平漢線南段における共產軍二千が長沙より南西方面渡江にて武漢に侵入すべしとの說傳へられ現金を隱匿するもの家族をまとめて市外に避難するもの續出人心極度に不安に陷つてゐる、また南昌における軍憲當局にては長沙に行つた共產軍は更に南昌地方を襲擊する計畫ありとの報に接し江西省政府主席魯滌平氏および南昌市長等はその家族を九江に避難せしめ魯氏は特に一列車を抑留して逃亡の準備をとゝのへてゐるので九江方面へ避難するもの續出してゐるかくて江西湖南湖北の各地に散在する共產軍の策動及び軍隊の手薄と相俟つて不安はいよいよ增大しつゝある模樣である

武漢保安隊の武裝を解除
共產軍の魔手伸びる

【漢口一日發電通】武漢當局は昨夜十時突如全市に於ける公安局保安隊六千名を武裝解除した右は長沙の共產軍と策應して漢口市內で活躍中の便衣隊の魔手が保安隊の買收煽動に迄伸びたゝめである

長沙の共產軍 下流に移動
英艦テール號を砲擊

【漢口一日發電通】長沙下流五哩の地點に碇泊中の英艦テール號は昨日午後共產軍より野砲を以て攻擊され艦體に損傷を蒙つた外可成の負傷を出した模樣である、これによつて見ると長沙の共產軍は下流方面に移動を開始せるものゝごとく形勢益々重大化して來た尚二見艦長發電によれば長沙城內並に中の島の邦人住宅建物は全部掠奪された事實が明かとなつた

長沙事件を 幣原外相が報告
定例閣議と支那時局

【東京一日發電通】一日の定例閣議は首相以下各閣僚全部出席幣原外相より長沙事件は大體に於て新聞報道の通りであつて邦人の生命に危害を受けた者はない、燒かれた領事館は放火が原因であつて日本人に關する限り同事件は左程重大とは思はれぬが共產軍の蜂起したる同地及將來の戰局進展の模樣については頗る重大視すべきである、共產軍は第三インターナショナルと連絡有るやに見たるが、兵卒に至つては全く土匪に過ぎぬ、而して今回の事件に對して帝國政府としての善後交渉に關しては事件判明を待ちこれを行ふが適當なりと思考するか暫く留保し只右事件の勃發に對し重光代理公使をして國民政府の注意を喚起し速かに適當の措置を講ずるやう申出でさせた

と報告し、次で財部海相より第一遣外艦隊司令官は長沙事件に關聯して漢口も危險なりと認め上海より陸戰隊約一中隊を浦風にて急行せしめたが三日着く豫定である、漢口居留民は約二千二百餘名でこれを保護するため浦風の外平戶、安宅、堅田を漢口に行くやう命令した

と報告し更に阿部陸相代理より北方政府樹立に關し報告あり各閣僚間に支那の時局に關する意見交換あつたが、幣原外相は共產軍の蜂起は支那南北の戰局に重大な影響を與へ南京側に相當不利なる狀勢を呈するに至りはせぬかと述べ最後に安達內相より全國農會代表者等の陳情に鑑み

一、失業救濟のため各地方團體の起債は條件を緩和する方針である

一、農村に於て租稅延納又は不納その他不穩行動に出ることを嚴

韓氏の下野 通電內容
膠濟線軍事解決

【青島特電三十一日發】韓軍が俄然總退却を開始し大部隊を高密に集結し戰線を漸次膠東に及ぼして來たので青島では今後の行動につき多大の注意を惹いてゐるが、今次韓軍の退却と同時に韓復渠氏は南京政府、蔣介石、譚延闓、閻錫山、馮玉祥、汪兆銘、張學良諸氏に向つて下野通電を發したその內容は左の通り

自分は元來戰を好まず人民の苦しむを見るに忍びず今直山西軍の進擊急のため事情止むなく今日まで戰ひを續けたのであるがこれ以上戰ふの意志はない今後國家のため人民の苦しみと部下を救ふために下野し政策上外遊する

右通電に對して蔣氏より駐留使を派遣したと今回の退却の裏面には山西軍との間に相當交渉は纏まつてゐるものゝ如く、現在の戰況よりみると山西軍は飽くまで韓軍を擊破すべく積極的行動に出でず韓軍が高密に集結する迄には多少局部の戰ひはあるも、膠濟線上の戰局は大體において解決したものと觀測さる

東鐵の買收案は 今回は提出せぬ
正式會議は必らず今月開く 露支會議秘書王煥文氏談

【ハルビン特電一日發】東鐵懸案解決露支正式會議の秘書たる王煥文氏をグランドホテルに訪問すると氏は會議の狀況について語る

七月廿三日モスクワから歸還しその足で吉林へ向ひ二十八日午後歸哈、一日北平へ行く、私の母が北平に住んでゐるので

休暇を得 て歸つたのである吉林へ行つたのは一寸友人に會ふため（確聞すると莫全權の重要書類を携帶し張作相氏に傳達したらしい、そして東北政權では莫全權のこの最後的意見書に基き直に幹部會議を開催し回訓を與へる模樣である）であつた、モスクワの正式會議は國民の輿論である中東鐵路問題を根本として討議することに目下豫備交渉の進行中で、正式會議は八月に必らず開催されることを確信する大使の交換、國交の全般的恢復、通商問題等は大使を正式に交換して後に折衝するかどうか、勿論

大使交換 後とするを合法とは考へるがその點については今說明の自由を與へられてゐないので遺憾ながら言明しかねる中東路の買收案は中華國民の希望ではあるが、日本及びロシヤとは隣接國家として互に親善關係を保持せねばならぬから今回の會議には提案しないことに決定した、北平の擴大會議北方新政府の樹立が正式會議に及ぼす影響？新政府の政治方面のことは知らぬが、勿論南京政府の使命を受けてゐる關係上事實困難な立場にあるそれがために會議は

決裂する ものとは想はれない、然し會議がいつ終了するかは今の處見當がつかないと答へるより外に全然判らない、會議が斯くの如く遲れたのはソウエート政府の驚大會その他ロシヤ側のためにあり他に何等の原因はない

私の北平行は八十二歲の老母の病氣見舞のためで決して北方新政府の狀況を觀察するためではない北平からは直に引返し再びモスクワに向ふ北平滯在はさう長くないだらう

戰禍を忘れて 豐穰を祝福
軍費を搾取される民衆達 鄭州にて 一記者

◆…苦熱の平漢線を一路鄭州に下る、一週二回しか發車せぬ、この列車は溢るゝばかりの滿員、反蔣派の政客、黨員、軍人等々慌だしい動亂地を卅年式のスピードで飛び歩くのだが、中原に鄭州に果して何を語らうとするのであらう？

◆…沿線の一物に眼を放てば本年の七月は雨調風順ですべての農作物は稀有の豐稔、殊に西河北省の棉花は數年來の凶作の後に非常なる出來榮えを現はしてゐる、米棉の作づけ區別が更に年々增加されてゐることが車窓よりも明かに見ることが出來る、今後の天候さへ順當ならば今秋の出廻り期における地方民の財囊はその他の農作物と共に久振りに太ることであらう、故に農民は戰亂を他所にして喜色に包まれてゐる。

◆…しかし長引く戰ひに對する閻錫山氏の軍費搾取は奉軍閥時代よりも甚だしく世人をして若今後一ヶ年同氏にして局に當らば北支那數省の現銀はすべて山西の山中に蔽ひ込まれるであらうと噂せらるゝ程巧妙に搾取せられてゐる、山西省銀行の兌換券で現銀が山西へ搬入さるゝのみでなく今や北平以南では戰時通用票の强制通用が行はれてゐる、即ち反蔣軍治下では一切右の通用票でなければ乘車宿泊は勿論、お茶一杯さへ飲むことが出來ない、武力で强制通用せしめるので軍票に市價もあらうことなく凡ゆる機關でなければ通用票しか受取らぬ爲め一切の兌換券はすべて

ら不便である、即ち戰時通用る印刷物で現銀は勿論あら外各銀行の兌換券をも山西で了ふといふ肚らしいがこ到底奉天票の比でない、ただ戰後國民が果してこれを如何にして整理するかゞ注目される一問題だ。

◆…彰德、順德、新郷方向は石友三軍の守備區域で漸く戰時氣分が濃厚になる、汪精衞氏歡迎の標語や、閻總司令不死、民衆の苦痛を除く爲め蔣介石を討伐する等とのビラが各驛に貼り出されゝゐる石氏は今曹縣に在つて交戰中だと停車場の守備兵は語つてゐた、沿線のこれ等の軍隊の日本人に對する感情は極めてよい、北平から二十六時間で鄭州につく、鄭州は戒嚴令下に飛行機の來襲を防ぐ爲め電燈は消されて眞黑闇だ、嚴しい將校は一々旅客を嚴重に調べるが孰れも懐中電燈を持つてゐる何のことはない夜の市中は懐中電燈の行列だ【寫眞（上）は前線へ送る食糧を積んだ鄭州驛（中）は北平擴大會議を代表し將士慰問の眼振氏（下）は隴海線隴封における馮軍傷病兵】

陸軍定期異動は 進級轉補四千名
待命合計三百八名

【東京一日發電通】今回の陸軍定期異動は進級轉補を合して約四千名に及び其の中進級は中將同相當官十九名少將同相當官六十四名大佐同相當官百五十名中佐同相當官三百七十三名少佐同相當官三百八十二名大尉同相當官四百九名待命は合計三百八名で中、中將同相當官十五名少將同相當官四十二名大佐同相當官七十九名である

待命

第十六師團長 中將 松井兵三郎
第三師團長 中將 小泉六一
第十二師團長 同 金山久松
第五師團長 同 原口初太郎
第二十師團長 同 上原平太郎
下關要塞司令官 同 川田明治
臺灣守備隊司令官 同 篠田次助
大阪工廠長 同 三輪時雄
兵器本廠長 同 村瀨文雄
航空本部補給部長 少將 玉置美之助
騎兵第二旅團長 同 原田宗一郎
第十六師團司令部附 少將 蘆澤敬策
野戰重砲兵第一旅團長 同 波藤雅信
科學研究所第二部長 同 鈴木貞造
步兵第六旅團長 同 山田勝康
工科學校長 同 本庄庸三
步兵第十三旅團長 同 黑坂靜一
步兵第十四旅團長 同 倉茂三藏
步兵第二旅團長 同 松井榮雄
基隆要塞司令官 同 藤本恒治
對馬要塞司令官 同 垣內豐楠
步兵第二十四旅團長 同 黑田周一
舞鶴要塞司令官 同 寺柳和夫
津輕要塞司令官 同 松村乙二
憲兵司令部總務部長 同 出口永吉
兵器本廠附 少將 櫻井忠溫
技術本部附 中將 森下正
同 西田恒夫
同 松井七夫
同 廣田 [illegible]
同 林 [illegible]
同 久木村 [illegible]
少將 堀池 [illegible]
同 萩原 [illegible]
同 中根 [illegible]
同 鈴木松之助
同 長岡正雄
同 名越時中
同 今井信夫
同 村田凱一
同 大村幹太郎
同 大屋敷正平
同 和田忠
同 名井孝慈
同 藤野嘉市
同 一色留次郎
同 中村古
同 別枝嘉助
糧秣本廠長 主計監 佐藤金治
朝鮮軍々醫部長 軍醫總監 石川清人
第二十師團軍醫部長 軍醫監 出射一郎
廣島衛戍病院長 軍醫監 國友國
大阪衛戍病院長 軍醫監 戶塚緯
第十師團軍醫部長 軍醫監 大野久次郎
第六師團軍醫部長 同 岡本晴一
第十二師團獸醫部長 獸醫監 伊地知長生
待命被仰附（各通）

轉補

參謀本部附 少將 稔彥王
補步兵第五旅團長
步兵學校長 中將 山本鶴一
補第十六師團長
砲兵監 中將 坂部十寸穗
補第三師團長
運輸部長 中將 木原清
補第十二師團長
獨立守備隊司令官 中將伯爵 寺內壽一
補第五師團長
野戰砲兵學校長 中將 室兼次
補第二十師團長
參謀本部第三部長 中將 廣瀨壽助
補運輸部長
步兵第一旅團長 少將 冲直道
補參謀本部第三部長 少將 梅津美治郎
補[illegible]第一旅團長
[illegible]學校長 中將 大橋顧四郎
補重砲兵學校長
[illegible]監 中將 石川達平
[illegible]監部附 少將 井上達三
補重砲兵學校長 少將 鄉竹三
補砲兵監部附
技術本部總務部長 中將 西義一
補野戰砲兵學校長
造兵廠總務部長 少將 中島三郎
補技術本部總務部長
陸軍步兵學校教育部長 少將 原田敬一
補陸軍步兵學校長
陸軍大學兵學教官 少將 筒井正雄
補陸軍步兵學校教育部長
步兵第三十旅團長 少將 香月清司
補陸軍大學校兵學教官 少將 今井信夫
補步兵第三十旅團長 中將 藤田鴻輔
補下關要塞司令官
步兵第十五旅團長 少將 井上 [illegible]
補近衛步兵第二旅團長
第十六師團司令部附 少將 福島格次
補步兵第十五旅團長
第十一師團司令部附 少將 鎌田彌彥
補臺灣守備隊司令
步兵第四旅團長 少將 平塚直巳
補第十一師團司令部附
第一師團司令部附 少將 服部保
補步兵第四旅團長 中將 森連
補獨立守備隊司令官
野戰重砲兵第四旅團長 少將 豬狩亮介
補第五師團司令部附 少將 森田宣
補野戰重砲兵第四旅團長
名古屋工廠長 少將 三木菅太郎
補大阪工廠長
陸軍技術本部第三部長 少將 鈴村吉一
補陸軍兵器本廠長 少將 高橋貞夫
補陸軍技術本部第三部長
陸軍省兵器局長 中將 岸本綾夫
補陸軍科學研究所附兼造兵廠附
技術本部第一部長 少將 植村東彥
補陸軍省兵器局長
技術本部附 少將 渡部友次郎
補技術本部第一部長
第九師團附 少將 秦眞次
補第十四師團司令部附
步兵第三十七旅團長 少將 小林道生
補第九師團長
豐橋陸軍教導學校長 少將 武田秀一
補步兵第三十七旅團長 少將 鏡山 [illegible]
補步兵第二十一旅團長
佐世保要塞司令官 少將 中屋良雄
補第十二師團附 少將 靑木政尚
補佐世保要塞司令官
補第三師團附
步兵第十一旅團長 少將 古川三郎
補第十二旅團長 少將 松浦淳六郎
補第九旅團長 少將 三宅一夫
補第五旅團長
第十六師團司令部附 少將 蜂須賀喜信
補下志津飛行學校教育部長 少將 堀丈夫
補航空本部補給部長 少將 飯島昌藏
補騎兵第二旅團長 少將 山田乙三
補騎兵學校教育部長 少將 伊東政喜
補重砲兵第一旅團長 少將 高橋佐太郎
補科學研究所第二部長 少將 前原宗行
補步兵第六旅團長 少將 黑須辰之助
補工科學校長 少將 福田彥雄
補步兵第十四旅團長 少將 田代皖一郎
補步兵第二十七旅團長 少將 山田四三男
補對馬要塞司令官 少將 秋田米吉
補基隆要塞司令官 少將 下元熊彌
補步兵第二十四旅團長 少將 高木尚右
補舞鶴要塞司令官 少將 和田秀衛
補津輕要塞司令官 少將 小磯國昭
補軍務局長兼軍事參議院幹事長
兵器本廠附 少將 林桂
補陸軍省整備局長
步兵第三十九旅團長 少將 西尾壽造
補陸軍兵器本廠附 少將 嘉村達次郎
補第三十九旅團長 少將 大江亮一
補航空本部檢查部長
近衛師團附 少將 山崎宗義
補步兵學校附
軍務局長兼軍事參議院幹事長 中將 杉山元
免本職並兼職
任陸軍次官（二等） 中將 杉山元
補第五師團經理部長
主計監 松野一義
第四師團軍醫部長 軍醫監 小山憲佐
補朝鮮軍々醫部長
第十二師團軍醫部長 軍醫監 田島清十郎
補第四師團軍醫部長
第七師團軍醫部長 軍醫監 朝倉重敏
補第十二師團軍醫部長
第二師團軍醫部長 軍醫監 中山直秀
補第二十師團軍醫部長
第十一師團軍醫部長 軍醫監 齋藤龍雄
補大阪衛戍病院長
第十九師團軍醫部長 軍醫監 山本幹雄
補廣島衛戍病院長

關東軍異動

【東京一日發電通】關東軍の辭令は左の如く發表された

補步兵第三十三聯隊長 步兵大佐 長岡壽吉
補步兵第三十七聯隊大隊長 步兵少佐 花谷正
補關東軍司令部附
關東軍司令部附 步兵中佐 森岡皐
補步兵第四十六聯隊附
步兵第二十聯隊附 步兵少佐 鈴木亮
補福知山聯隊區司令部々員 步兵少佐 濱田久壽
補第二十聯隊附
步兵第卅八聯隊附 步兵中佐 壹岐滿志
補步兵第卅三聯隊附
陸軍步兵學校附 步兵中佐 西村敬三
補第十六師團參謀
步兵第九聯隊大隊長 步兵少佐 飯野賢十
補陸軍步兵學校教官兼研究部員
陸軍兵器本廠附
補步兵第九聯隊大隊長 步兵少佐 伊佐一男
關東軍幕僚附 步兵少佐 堀內一雄
補第九師團參謀
步兵第三聯隊附 步兵少佐 萩原直之
補獨立守備步兵第五大隊附
關東軍司令部附旅順工科大學服務 步兵大佐 中村牛之助
補步兵第十九聯隊長
步兵第九聯隊附京都府師範學校服務 步兵中佐 井上政吉
補步兵第三十三聯隊附
步兵第三十聯隊附 步兵中佐 田中清一
補關東軍司令部附旅順工科大學服務
補旅順要塞司令部參謀
工兵少佐 加藤怜三
補陸軍工兵學校教官兼下志津陸軍飛行學校教官
近衛工兵大隊附 工兵少佐 仲野英二
補旅順要塞司令部々員
關東軍兵器部長 砲兵大佐 德田速雄
補大阪工廠器材製造所長
高射砲第一聯隊長 砲兵大佐 倉崎濟
補關東軍兵器部長
下關重砲兵聯隊大隊長 砲兵少佐 野口福藏
補重砲兵大隊附
陸軍砲工學校教官 砲兵少佐 松下金雄
補旅順要塞司令部參謀
第十六師團經理部々員 二等主計正 萩阪嚴比古
補第九師團經理部長
近衛師團經理部々員 三等主計正 中塚繁太郎
補第十六師團經理部々員
陸軍被服本廠員兼經理局課員 二等主計正 石原通
補關東陸軍倉庫長
第十師團經理部々員 三等主計正 伊藤義龍
補關東軍經理部附
關東軍司令部附 三等主計正 伊藤久
補第三師團經理部附
關東陸軍倉庫附 三等主計正 佐藤勇助
補關東軍司令部附
獨立守備步兵第四大隊附 三等軍醫正 水野直
補篠山衛戍病院附
大阪衛戍病院附 三等軍醫正 鮎川克巳
補遼陽衛戍病院附

北寧支線 複線工事
九月初旬起工か

東北交通委員會では高北寧鐵路局長より東省各地において最近鐵道の擴張見るべきものあるがこれを滿鐵に比較するときは運輸上の不便と設備上の不良なるため成績頗る振はず滿鐵と對抗するには先づ北寧鐵路の打通支線及び溝幇子より河北に至る支線とを複線に改修する必要ありと建議し目下これに對する審議中なるも一方高局長は既にこれに要するレールを丙寅海外貿易公司に購入方契約したとも傳へられてゐるが交通委員會の認可を受くれば九月初旬工事に着手するものゝ如くである

關東廳辭令（卅日附）

任關東廳屬 今野龜道

安帽子

今日まで多帽子で通してゐる小村拓務次官が支那料理屋に行つてゐると女中が築町の帽子屋さんからお電話ですといつて來た▲いくら多帽子を被つてゐるにしても帽子屋から電話とは解せぬと自から出て見ると「社會局の失業防止委員會に出るかどうか」の問ひ合せだつた▲流石の次官もふき出して「どうも人並のことをしてゐないと氣がとがめる、時に君、帽子の廉い奴はないか」▲三十日正午神戶にすべりこむ丸に乘込んだ頭石總裁「一寸暑いくく」といひながら洋服を和服に着替へ絽の羽織に紹の袴まで着してサロンに出たまではいゝが跡を追ふて來たボーイが恭々しく捧げたのを見ると白足袋一つ▲總裁妙な顏をしてフト氣づくと片足は足袋、片足は靴下「ムーウ、何しろ暑いからなあ」と苦笑微苦笑

【東京特電三十一日發】

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 六十萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 [illegible] 銀對洋 四千圓

商品 後場

綿糸（强調）

銘柄	約定期	値段	數量
福助	十月限	一二七四	一〇〇
同	十一月限	一二六三	六〇〇
同	十二月限	一二五三	六〇〇

出來高 百三十梱

神戶特產（一日）

銘柄	値
大豆現物	五五〇
大豆先物	四五〇〇
豆粕現物	一五〇一
豆粕先物	三二〇
滿洲小麥	四四五
豆油現物	一八九〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇三一〇	一〇三二〇
東新	九〇六〇	九〇七〇
五品	不申	不申
中	六七〇	六九〇
先	不申	不申
豆信當、中、先（不申）		
新	不申	不申
中	不申	不申
先	不申	九九〇

東京株式（短期）

銘柄	東	新
五品		
寄値	不申	九〇一〇
引値	七一〇〇	九〇四〇
高値	七一〇〇	九〇七〇
安値	七〇〇〇	九〇〇〇

滿鐵株（保合）

▲東短前場 滿鐵新株 寄値 出來不申 引値 同 高値 二九、六〇 安値 同

▲大阪現物 滿鐵舊株 寄値 引値 出來不申 六〇、六〇

神戶期米

限	後場寄	後場引
八月	二八六八	二八七〇
九月	二九六二	二九七〇
十月	二九二四	二九二六

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
新東	六二七〇	六二七〇
株新	四八〇〇	四八八〇
新紡	一二九三〇	一二九八〇
新鐘	五六九〇	五七〇
新糖	不申	不申
新船	三四七〇	不申
新郵	九〇五〇	九〇五〇

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	三一六五	三一六〇
九月	三〇二五	三〇四〇
十月	二七八三	二七八一

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	三〇八〇	三〇八二
九月	二九七二	二九七〇
十月	二七四五	二七三〇

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
八月	七一〇〇	七〇二〇
九月	七〇〇〇	六九九〇
十月	六八二〇	六八〇〇
十一月	六八四〇	六七五〇
十二月	六七三〇	六七二〇
一月	六六四〇	六六八〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	一二七九〇	一二七九〇
九月	一二七九〇	一二八五〇
十月	一二七六〇	一二八〇〇
十一月	一二六五〇	一二六九〇
十二月	一二六三〇	一二五九〇
一月	一二五九〇	一二五九〇
二月	一二五八〇	一二六〇〇

滿日地方版

奉天

防腐工場を五人組强盜襲ふ
金票三百五十圓强奪

卅一日午後四時半頃蘇家屯防腐工場に五人組拳銃所持の强盜侵入し脅迫の上金票三百五十圓を强奪逃走した急報により奉天署から署員その他守備隊後援を得て犯人逮捕に着手したが發見するに至らなかつた、聞く處によれば同工場は同日賃金支拂日で丁度支拂最中來襲せる處によれば同工場の樣子をよく知れるものゝ如く犯人逮捕も近きにあらうと尚犯人逃走の際日本人三名を人質として逃走せんとしたが鐵條網にかゝり威嚇發射して逃走したと

簡閲點呼

勤務演習中止
三十九名に通牒

町の便り

二日午後七時半から滿鐵社員俱樂部に於て地方課主催で民族の發展と婦人と題する基督教婦人矯風會理事久布白落實女史の講演會が催される

◇

奉天居留民會では三十日評議員會を開き役員の選擧を行つた結果西卷豐之助氏が副會長に當選した

◇

三十一日未明春日公園内の公衆電話室に入り込み電話器を窃取せんとした曲者あり警備堅固のため目的を達せず逃走したが犯人について捜査中被疑者一名を檢擧し目下

本社より探算上廢止方を要求して來てゐるがこれまで山紫水明に惠まれざる奉天市民のため折角運轉してゐるのを廢止するのはその通り容れるにしのびず奉天驛でも何とかしてこの列車を利用し運轉を續行するやうに旅客の吸集策に奔走してゐるが從來十人以上の團體を五割引としてゐたのを五人以上と改め多數淸遊客を勸誘することゝなつた

熊岳城

小學兒童のキャンプ

滿鐵主催の溫泉祭…

撫順

必勝の意氣凄く撫順滿俱軍出發
奉天の州外聯盟野球大會へ愈々けふから壺明

遼陽

捕虜と人質交換
八里庄で匪賊團と交戰

長春

共産黨員潜入?城内大警戒
督察廳が總動員で客棧其他を家宅搜索

5A-4で長軍惜敗
對四平野球戰

…に長春軍先攻で開始長春軍第一回に敵失に乘じて一點を先取したるも、第二回四平街に三安打と二さうしにて四點を奪取せられ爾後兩軍平凡に退き機會を得ず、長春軍漸く九回表最後の追撃にて四球と敵失に三壘を回復同點となつたがその裏四平街に二安打を浴せられ遂に五A-四にて長春軍敗る、メンバー及び得點左の通り

長春		四平街	
9	保 杉	吉 香	幡
8	久 田	村 田	戸
7	小 田	原 野	
5	中 野	井 川	
4	川 上	田	
2	淺 橋	原	
1	藤 野		
1	牧	野	
4	原	前	
5	小	屋	

開原

青年團の排球大會

馬賊射殺に祝電

公園番人を掠奪

鐵嶺

全滿大弓競射會
あす滿鐵射場

師團長以下送別會

馬賊討伐の支那兵
昌圖城方面へ

鐵嶺、開原、昌圖三縣下の馬賊剿滅の任務を帶びたる打虎山駐屯東北陸軍第五十二團第三營の兵員約七百名は迫擊砲二門機關銃六門を携行三十一日開原城に入城せるが一泊の上昌圖城方面に出發した

華人慰安活寫

水泳大會は九日に延期

安東

中心教の檢擧六十三名に上る
事件更に擴大せん

四平街に遠征

製鋼所問題報告會

夏期販賣實習

兒童避落出發

放鳩の演習

吉林

縣長の異動

乘車證取締

營口

隔離所の開所準備

鞍山

獨立守備隊移駐
十月頃實現

煙草立毛審査

生徒に注意

機關銃演習

檢疫を開始

簡閲點呼執行

鳳凰城

鷄冠山軍勝つ

瓦房店

簡閲點呼の成績良好

優勝盃寄贈

本溪湖

簡閲點呼日割

貔子窩

警笛信號增加

兒童海岸聚落

吉林

目標は日華の共榮
滿洲に骨を埋める覺悟で
新參議 堀井覺太郎氏談

吾等の町を語る

九州並中國地方及朝鮮風水害義捐金募集

今次九州並中國地方及朝鮮に於ける大暴風雨は各地に稀有の慘禍を與へ多數の羅災者は苦熱灼くが如き炎天の下に住むに家なく食ふに糧なき悲慘なる狀態にして眞に同情に堪へず依て吾等相謀り左記に依り義捐金を募集し救護の一端に資せむとす大方諸君奮て御贊成あらむことを

義捐金募集方法

一、義捐金は大連市役所に於て受付を爲す
二、義捐金は一口五拾錢以上とす
三、寄附者の芳名は滿洲日報、大連新聞に廣告し受領證に代ふ
四、募集締切期日は八月三十一日とす
五、義捐金の處分方法は發起人に御一任のこと

昭和五年七月二十九日

發起人(次第不同)

大連市長	田中千吉	滿洲日報社長	高柳保太郎
大連新聞社長	寶性確成	區長	松田淸三郎
區長	小島鉦太郎	區長	野村宗
長崎縣人會副會長	立石保福	福岡縣人會長	村井啓太郎
鹿兒島縣人會長	上村哲彌	熊本縣人會長	竹田菅雄
佐賀縣人會長	辻慶太郎	宮崎縣人會長	佐藤至誠
沖繩縣人會長	玉城喜四郎	大分縣人會長	小田斌
山口縣人會幹事	藤田秀助		

四庫全書の話 (一)

園山良之助

(一)

滿洲日報に、二十八日奉天電報として遼寧教育廳は城内文溯閣に秘藏されてゐる四庫全書の保管云々の記事があり、翌二十九日の朝刊第二面社說として「四庫全書の保管、出版を慫慂す」といふ記事が發表されました。

一體四庫全書とはどんなものであるか。

私は昨年の夏は、この四庫全書の實物を見るためにわざ〳〵奉天まで出かけましたし、この際私の知つてゐる四庫全書について書いて見ることは多少意義あることの樣に思つたので、急にこの稿を作りました。

(二)

支那は元來文字の國でありますから太初以來作られた書籍の數は非常に莫大なもの、とても調査し切れぬ程の物で汗牛充棟くらゐな形容語では間に合ひません、そこで書籍の學問が却々發達しまして、これを特に「目錄學」と稱して居ります、いかにもおもしろい學問で、この學問は、書物の內容を讀むのではなく、唯古來の書籍について其の著者、時代、卷數、著述の沿革といつたやうな書物の目錄を丹念に研究暗記するのであります

これは前漢(皇紀六〇〇年代、當時日本には文字も無かつたのであります)の末に、劉向といふ人が在來の書籍を校訂する際に別錄といふものを作つたので、これが劉向別錄であつて、この人が目錄の元祖であります、降つて六朝から隋唐になると餘程書籍の數が多くなつて、これらの書物を甲乙丙丁の四部即ち甲部は經書、乙部が史、丙部は諸子、丁部は集類と分けておくやうになりました

唐の玄宗皇帝(奈良朝時代)は帝業として兩都に各四部の書を四庫に區別次列しました、この四庫は天庫四星に象つたものであると記してあります、北宋になつて崇文書目といふものがありますが、これで目錄の分類法が全く完全したのであります。

(三)

淸朝も康熙皇帝(聖祖皇紀二三二二—二三八二)六十年の泰平の後をうけた乾隆皇帝(高宗皇紀二三九六—二四五五)の治世は實に空前の文學隆盛の時代でありました、帝は即位の元年三月、十三經二十一史を各々省會府州縣に頒布し、盛京に宗室覺羅學を設けてゐます、帝がこの意氣込でありましたから全國汲然として學問が盛になりました

乾隆三十八年(皇紀二四三三即今より百五十五年前)七月に大學士于敏中等が諭旨を奉じて、これから經史子集の全關係書類を集めて筆寫しましたが、これがこゝにいふ四庫全書であります、とても非常な大事業であつて、これに關係した學者の數が三百數十人、その費した日子がこれから約十年であります、即ち乾隆四十七年二月四庫全書成り、帝文淵閣に御して宴並に賞賚を賜ふと書いてあります。

南アルプス縱走記 (十一)

東京　大野恭平

◇白根の頂上で◇

常布の雪崩の少し上手で、一個月ほど前に學生が一人雪崩でやられたところを通つたが、その雪崩の堆積はまだ殘つて居た。僅か四、五坪の小雪崩で、僅か三、四間下へ叩きつけられたに過ぎない。しかしそれで頸の骨を折つて即死してしまつた。人間の命といふものが如何にもろいものだかと言ふことをそれが如實に證明してゐるやうな氣がした。外に大きな雪崩の物凄い狂暴の痕が二三ケ所にあつたが、人間は案外そんな所では注意深くつて、遭難しないものなのだらう。

アイゼンを持たないので心配して來た芳が平のクラストも、前の晩雨がかゝつたせいであらう、ザラメ雪で、少しの不安も感じなかつた。風の白根に珍しく風が無く、日は明るく輝いて居た。私達は愉快に白銀の世界を進んで、苦みも覺えず樂に頂上へ達した。

火坑の一つは全く雪に埋もれて居たが、他の一つはお釜の熱湯が黑味がかつた濃い紺青に地獄の色を象徵して純潔無垢の白雪堆裡に物凄く澱んで居る。

南北アルプス方面は雲につゝまれて見えなかつたが、日光の山々から赤城、榛名などはもう春の綠に蔽はれて、たゞ日光白根の絕巓が白く光つて居た。

下山！雪はザラメで、急斜面の直滑降にも何の不安も覺えず、回轉も極度に樂だ。少しの屈托もなく伸び切つた曲線に乘つて、縱橫無碍に滑つて行く素晴らしい壯快さ、無限にまで連なる自由さを捉へ得たやうな心持の欣び、私は今でもそれを夢に見る(寫眞は高嶺に佇つ)

歐洲を視察して

日本の名聲 各國で賞讚の的

自由なモスクワ監獄 (下)

=松井中佐談=

歐洲は諸小國の分裂で一層軍備は積極化したことを瞭に認めた、ブルガリヤーはバルカン版圖を決して見捨てない、現に其の戰勝記念碑には「平和條約は永久のものにあらず」とさへ記してゐる、又ハンガリーで一葉の繪端書を購つた處一端の捻を押すとサツト開き其全面はもとの地圖となつてゐる、これは

舊版圖 の回復を飽くまで忘れぬ精神を國民に敎育してゐるものである、其他小國の軍備は一大國よりも新興氣分が充實し仲々永久の平和は想像し得られないことを知つた、各國の共產黨に對する壓迫は今年のメーデー祭をドイツでは僅にベルリンで許したのみ伊太利では例のムツソリーニ獨裁首相が共產黨を彈劾して議會には各職業代表を議員とし政黨なく共產黨の勢力は殆どない、然し保守黨—國粹主義の如きも亦今では若い靑年の思想を指導するに足らず自國に適合した文化建設の方向に進みつゝある、ロシヤは自分に馴染みの多い土地で大正十三年に補虜で監獄に入つたこともあるが、モスクワで監獄を視察した處

囚人は いづれも自由に讀書もできれば獄內の賣店で品物を購入することも許され、各室にはラヂオも据ゑつけられてあるといふ浦鹽のとは比較にならぬ寬大さであつた、これはソウエート政府が外人に社會施設をみせるための設備である一般に社會施設の計畫は非常に進步的で、例令ば一萬二千人を包容し得る大食堂を市が經營しホークと匙さへ持つて行き食券さへ拂へば食事は出來る、仲條百合子女史もこれには驚いてゐたが然し交通の不便な處にあり、病者に對する食糧配給の如きも不完全で施設のプランに實行が伴はぬ缺陷がある、農村の革命問題は政府としては一生懸命で、シベリーの各驛には多數の大農式農具が分配され、政府代表の派遣される新家屋などを散見した、兎に角政府の

政策は 百萬や二百萬の者がコルホーズに反對し自滅してもかまはないと云ふ自信のもとに實行してゐるのだから成功はする、國內に反對の聲は盛だが無力で仕方があるまい農村の工業化と交通の改革も必要とされ、日本からは技師を求めて機關車の修繕をしてゐるがロシヤ人職工は一機關車に廿日かゝつたが日本人は十二日間で修繕すると云ふので日本人の技術を賞讚し、同時に勞働者に激勵してゐる、話は運ぶが日本の歐洲化は最近時に知れ渡りドイツの如きは「日本國民の偉大を學べ五十年の日本は三大國の一つとなれり」とか、到る處に日本商品が進出し日本—東洋研究の熱は各國共に盛んであつた、この際歐洲に對外文化事業でも創設し日本及び東洋を照會する必要があらう(ハルビン特信)

八人相

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするものは采らず

菓子の値下げ

甘黨の一人

近時諸物價暴落を辿り各方面に商品の値下を斷行しつゝある現今大連の菓子商は一、二商店を除く外未だ値下の聲明も實行もしないのは吾人甘黨の最も異とし不思議とする處である、內地都市に比し低廉な勞銀の華工と原料に惠まれながら猶且つ內地都市よりも高價に賣るさへ不合理なるに、諸物價の下落せし今日依然舊價を固持して平然としてゐる而かも在滿商人は口を開けば、一に消費組合、二に購買組合と怨敵のやうに喧々囂々するが自己の事となるとこれである第三者から云はすれば誠に片腹痛い始末だ、近時中國人に各方面において蠶食されるのは斯かる事が因をなし居らぬか、中國人の生活程度が低いために經費が嵩まぬから競爭に有利だと云ふがそれは苦力輩の事で、近時の中國人の生活程度は非常に引上られて居るのだ、薄利多賣—舊い言葉だが邦商は大いに考慮すべきであらう

書籍商組合へ

沿線在住者

全滿書籍商組合にお尋ねいたします。

われ〳〵は新刊書を心の糧として待ち焦れてゐる者ですが、滿洲で販賣される新刊書は(雜誌も含む)總て高價なやうです、假に一圓二十錢の定價の書籍が新聞紙上の廣告には一圓二十六錢とあり、注文すると、更に八錢の送料を徵られます、送料は何しろ滿洲の事だから我慢するとしても、定價で賣つて相當利益を得て居る筈の在滿書籍商が、更に送料を請求するのはどんなものか、沿線への送料ぐらゐな事は勉強の餘地は充分あるだらうと思はれるが—

新刊批評

▲自由戀愛秘話 (守田有利著)「變態性慾秘話」の姉妹編として續刊された本書は、前著において同性愛、性慾倒錯等の異常性慾が過去に於て暴壓去精された社會惡の結果である事實を指摘した著者が人類の過去の性慾生活の種々相を檢討し、現世を淸算し、更に將來のソレを示唆した新戀愛觀の呈示と見る事が出來る、編中性慾本能の發展、性の倫理、男子鬪爭、女性優越時代、父權制度の勃興、賣笑と自由戀愛、以下「自由戀愛と其將來」に至る十二章においては明快に自由戀愛の發展と飛躍を將來に繋いで居る、殊に自由戀愛は古代原始社會における唯一無二の戀愛道であつた事實を文獻的に開示し、母權制度の沒落と個人所有制度の發展が婦人を母性より一躍情慾本能の對照物としてのみの奴隷にまで低下せしめた社會的原因を究明して發生學的に自由戀愛の正しき理由を高唱し、且原始濫交時代と自由戀愛時代との差異を明快に說述して居る編中隨所に挿入した古代社會の自由戀愛を例證する詩歌、章句は著書の高揚せむとする自由戀愛への意志を流露に表白してゐる、讀書子はこの二書を併讀して社會主義的基調に立つ著者の企圖を觀取しつゝ出版ジャーナリズムの上に立つ新戀愛道の動向を察知し得るであらう(定價一圓東京麴町區士手三番町平凡社發行)

家庭欄

夏の教育座談（五）夏季休暇と體育衛生 A・B・C・D

D　次は休暇中の體育衛生について御意見を聞かう、

B　休暇中の體育と言つたところでまあ海水浴に連れて行く位なものだらう、

C　A君はよく健坊と表でキヤッチボールをやつてゐるがあれも家庭に於ける體育指導の一つだね、

A　健坊のキヤッチボールの相手も中々骨が折れるよ、先達て少年野球があつて以來前日のやうにやらされてゐるんだ、

D　お父さんが子供から體育指導を受けてゐる形だネ、

A　お蔭で此の頃は胃病がすつかりよくなつた、

C　世が進むとすべてが逆轉するた、

D　B君の家の庭にはブランコがこしらへてあるが、どこの家庭にもブランコ位はこしらへてやりたいね、

B　ところがあのブランコには困つてゐるんだ、何しろ近所中の子供がソイ／＼集まつて來るので全く閉口してゐる、それだけならばいゝがこの間などすぐ近所の子供がブランコから落ちて怪我をしてね、まあ勝手に乘つて勝手に怪我をしたのだから構はないやうなもの丶、僕のところのブランコで怪我をしたとなるとやはり默つても居られないので平素別につきあひをしてゐる譯ではないが家内が見舞ひに行くといふやうなことで兎に角厄介だから取はづさうと思つてゐるんだ、

C　近所の子供を入れないことにしたらどうだ、

B　まさかそんなことも出來ないさ、

D　A君は昨年家族中で夏家河子にキヤンプをやつてゐたが今年はやらないのか、

A　今年は家内がコレ（右手で腹をかゝへて見せる）なので中止したがあれは確にいいね、毎年多になると子供達一通り風邪に見舞はれるのだが今年の多は一番上の奴が一寸咽喉をいためただけであとは極めて壯健だつたよ、海岸の生活は多少金はかゝつてもそれは健康を貰ふやうなものだね、

D　金がかゝると言つたところで醫者に金を拂ふことを考へれば物の數ではないナ、

A　全くさうだ、

C　もう少しポピュラーな體育の指導法はないかナ、

B　毎朝子供をつれて山登りはどうだ、考草山あたりへ……、

D　そいつあ願ひ下げだ、

A　D君のやうに宵張つりの朝寢坊には出來ない醫當だね

D　その通り、

B　毎朝冷水摩擦をやらせるのはどうだ、

A　僕のところでは一昨年あたりから三人の子供にやらせてゐるが結果はいゝやうだ（つゞく）

横田少年に同情し 併せて世の父兄に告ぐ

山田行正

（承前）

◇

由來滿洲育ちの子供は、柄に似合ず弱いと言はれてゐます。國民の第一線に立つて活躍するには、何といつても頑健な體と鞏固な意志の持主でなければなりません。この二大要件を充たすものは體育の外にないと思ひます。横田少年の問題を動機として若し世の父兄方が體育を疎んぜらる丶樣なことがありましたら、國家の爲めに憂慮に堪へない次第と存じます。

◇

誠に僭越と思ひますが、私が過去二十年間の運動生活に於て體驗しました運動と負傷とに就いてその豫防方法と負傷に對する應急手當方法等を略述させて頂くことに致します。これが父兄方の多少なりとも御參考に成り得れば幸甚と存じます。運動に對する負傷の豫防方法としてどんな場合に過激な運動を避けたらよいかと云ふことを研究してみますと。

一、氣分の方面

氣分が勝れない時に急に過激な運動をすることは失敗が多く從つて負傷も致し易いのでありますから（氣分と肉體とは非常に密接な關係がありまして、氣分のダレた時は必ず身體も何處かに緩みがあるのであります）斯んな場合には過激な運動を避けなければならないと思ひます。

◇

いま茲に且體的にその場合を擧げて見ますれば

A、睡眠不足で精神に疲勞を感じて居る場合

B、心に何か心配事のある場合

C、精神に異狀の興奮のある場合

D、その運動に少しも興味を感じもしないし生じもしない場合

E、心に落ち付の無い場合、即ち輕卒な氣分の起る場合

F、氣分が重くて、何だか運動を嫌だなと感ずる場合

G、一寸物好きにやつて見たいと云ふ氣分での運動をする場合

◇

大體こんな氣分の時に無理に急激な運動をすると失敗をしますから斯んな場合には急激運動を避くべきだと思ひます、これと同時に身體の方面にもコンデションを考へる必要があります（未完）

州内踏破…（第二信）二隊に分れて愛川村へ

一中徒歩旅行隊

荷物の都合で金州出發は午前十時になりました。北門を出た所で一行は二つに分れました。即ち本隊は海岸を通つて愛川村に行き、別隊は平山を越えて行く事になりました。海岸隊は龍王廟のある所で晝食をなし非常に景色が好くて眞に理想的な海岸に出ました。此の海岸は普通に西海岸と言はれて居ます。我々は皆水泳がしたくてたまりませんでしたが、足の疲れる事を思つて、涙を呑んで去りました。此れからは山を越え野を越えて午後六時十分愛川村にやつと着きました。

別隊は頗る困難をして有名なる平山に登りました。此處には實に模範的な標本の樣な鐘孔洞があります。深さは約二十間もあつて、奥には佛像が安置されて居ます。頂上の寺で晝食をなし、眺望を恣にしました。大魏家屯を通つて午後六時愛川村に着きました。騾馬は本隊に加はり、多くの山を越えたにも拘らず一行に…あつたことは…事でした。愛川村では警官派出所に泊りました。此處は…めが好くて宛も別莊…す。

二十五日は愛川村と普蘭店との間にある後三頭溝に行きます【廿五日愛川村にて】

獨逸語講座

八月二日夜放送

講師　大連語學校講師　荻榮

（第四課）

獨逸語　第五回

Einfache Begrüssung.　簡單な挨拶

a.　人ト出會フタトキハ

Guten Morgen! (Herr N. N.)	お早う
Guten Tag!	今日は
Guten Abend!	今晩は
Grüss Gott!	今日は（南方獨逸）

b.　人ニ別レルトキハ

Guten Morgen!	さよなら（朝に）
Guten Tag!	〃（晝に）
Guten Abend!	〃（夕に）
Auf Wiedersehen!	〃（時刻に關せず）
Adieu! (Ade!)	〃　〃
Bis morgen!	〃（では明日）
Bis bald!	〃（では後程）
Habe die Ehre!	ではお暇いたします
Empfehle mich!	お暇いたします
Leben Sie wohl! (Leb' wohl!)	御機嫌よう

連續漫畫 彼の職業（四）

次朗作畫

三公はサーカスに勤めてゐると云ふ。しかしサーカスの中にはゐなかつた、けれ共三公は間違ひなくサーカスから出て來た。

トン吉はこの不思議を解いて見たかつた。

そこでその翌日は三公の出勤を見屆ることにした。

いつものやうに三公は午後二時頃に下宿を出た、トン吉は不德義とは思つたがそつと彼の後を尾行した。

三公は間違ひなくサーカスの樂屋口から天幕の中へ這入つた。トン吉も觀客として中へ入つた。

創作 神聖なる惡戯（七）

五十嵐稔

それからもの丶十分とは立つて居ない時分……

村を一氣に驅け拔け、土塀を渡つて、城内に通ずる街道を、眞一文字に馬を飛ばせるのは、云ふ迄もなくこの二人の子供でした。街道の左右に、人の丈に餘る滿目の高粱畑が、雨を催しさうな夜空の下に、颯のやうな音を立て丶ゐる外には、聞えるものと云つて、瀟しい馬の鼻の音と、茸々と大地を蹴る蹄の音ばかりです。突嗟の場台でしたから鞍をかける暇もなかつたのです、馬は裸馬なのでした。その馬の上には、孫山を前に幹英が馴れた手つきで、きゆつと手綱を引き締めて居るのです。

「君にはあいつらが城内に歸ると云ふ事がどうしてわかる？」

馬の平首につかまりながら、不思議さうに孫山が口を切りました。

「以前に、どうやらあの男の噂を聞いた覺があるのさ。それが城内の者なんだ」

稻妻か、街道の行手を遙か遠く迄、きらりと照し出します。その度に、二人は瞳をこらして其處に曲者の後影を求めるのでした。三度——四度。けれどもどうしたと云ふのでせうか、それらしい影は未だ見えないのです。駄目か？二人の心は苛立つて來ました。けれども、とうとう二人は闇を裂いた瞬間の白光の内に、目指す曲者の姿を見ることが出來たのです。

「占めた！」と、馬の背に躍り上つて狂喜して居ます。駿馬は疾風の如く後を追ひ始めたのでした。

幹英の考へは、正しかつたのです。然しもう約そ七八里も來て居たのです（但し、支那の一里は日本の凡そ六町に相當します）城内迄もう四五里と云ふ處です。若し曲者が安心して、途中から馬の足掻きをゆるめなければ、恐く行くと追ひ附けなかつたかも知れないのでした。

が、幸ひに敵は殆ど歩く樣にして居ましたし、それに四邊は眞如の闇でした。雜作なく二人は彼らの直ぐ背後に迫ることが出來たのです。彼らの話すのが、手にとる樣に聞きとれるのでした。

「見た者の話では、非常な逸品だと申します。何しろ、近頃にない掘物です」

「うむ。併し、その軸に違ひないか」

「いや、その點は大丈夫です。箱の蓋に書いてあつた字で、家傳のものなることを確めたのですから」

「さうか。さう聞けば安心だわい。今宵は大儲だつたな。も一つの青磁の壺の方はお前がとつて置け」

「は」

遠雷が、彼等の會話を途絶えさせました。それつ切り深い沈黙です。

彌生高女 聚落だより…（二）

六時、夕飯があまり待ち遠しいので五分位前に皆鐘が聞えてしまつた。ぞろ／＼出かけると間違ひやつと本當「いたゞきます」おかずは人蔘、たまねぎ、じやがいも等のおにつけ又々おいしい。その後が少し自由時間、棧橋の方に行つて見る。幾艘ものジャンクのうかんでゐる海をへだて、大連をながめてゐるとだん／＼灯がつきだす。ぽーつと霞んだ間から灯がちら／＼するのを見た時、家がこひしくなつて一寸淋しい感じがする。お部屋に歸へるともう自習の用意を四年のお姉樣方がしてゐて下さる。

同じお部屋の方は皆愉快活で親切で、やさしい。かういふ所ではそれがどんなに嬉しい事だらう、始めの日なので落ちつかないがなれゝば大丈夫。

…めない、お晝頃から皆うづ／＼してゐるのだ。しかしすぐ直つた。誰かが足をあげる、お隣の二人が毛布をぬぐ。やつとねついたのは十一時過ぎだつた。

第一日はかうしてすごした、樂しい一日だつた。しかしお客樣でもいらつしやらないと單調で淋しい。一日のお客樣でも歡迎する、どうぞこれをお讀みになつた方は一日も早くおいでになる事を祈る。但し七十人分のおみやげをお忘れなく……

一中採集隊が 老鐵山麓に天幕生活

大連第一中學校博物研究會では毎年夏季に大和尚山其の他に於て動植物採集、天幕生活を行つてゐたが本年は方面を變へ老鐵山麓に天幕を張り二泊四日間に亘り採集を行ふべく一日早曉四十餘名の一行は小林金丸兩教諭に引率されて目的地に出發した、尚同校職員十數名は來る三日右天幕隊を訪問すると

新刊教育兒童書紹介

▲教育時論（七月二十五日號）樂しき夏の日、永田市長の言語認識を中心として、教壇に與するもの、中等教育の缺陷、教員組合論、社會時評等（十八錢東京市麹町區三番町開發社）

▲教育女性（七月號）全國小學校女教員大會に關する記事を稿錄してゐる（十五錢東京市神田區一橋町全國小學校教員會）

▲兒童と榮養問題（越川直作編著）大連春日小學校長越川直作氏が學兒と家庭誌上に十數回に亘つて發表したものを纏めたものである（非賣）

探偵小說 **女妖**（157）

江戸川亂步作 横溝正史

伊藤幾久造畫

袋の鼠（一）

綾小路浪子は、傷ついた身體を窓の側によせて、うつとりと窓の外を眺めてゐた。

春めいた氣持ちが、しつとりと街の上に降りて來て、街路樹にもほのかな春の色が見える。浪子にとつては長い〳〵冬であつた。いつもの年から比べると、三倍も四倍も長い冬のやうな氣持もした。一體この冬の間に、何といふ恐ろしい出來事が續いた事だらうか。數へ切れない種々んな事件が、次から次へと降つて湧いた。然も自分はその中心にゐるのだ。

彼女はふと小夏の事を考へた。あのいたいけない少女の事を思ふと、直ぐに彼女は涙ぐまれて來るのであつた。あの怖ろしい馬車の椿事のさい、自分は幸ひにも一寸怪我をしたゞけで、助かつたけれど、小夏は到頭無殘な最後をとげて了つた。

病が癒えて、初めてその時の事を聞いた時の浪子の驚き――悲しみ、彼女はその日一日呆然としてゐた。

何も彼も自分の罪のやうな氣がする。自分から好きこのんで、こんな事件の中へ頭をつゝこんだために、種々な人々に迷惑をかけてゐるのだ。何んといつても女の力である。その女の力で、充分眼に見えぬ敵と戰へると思つてゐたのが、そもそも大きな間違ひだつたかもしれない。

あの馬車の椿事以來すつかり氣を滅入らせて了つた浪子はいつそこんな事件から手を引いて了はうかとも思ふ程弱氣になるのだつた。

春の陽ざしが、窓がらすを透して桃色の部屋の中へ流れ込んでゐる。白い絹のドレスに身を包んでゐる浪子は、その窓に身を寄せたまゝいつまでも其處に考へ耽つてゐた。

その時である。靜かな部屋の何處かでコトリと微かな物音がした。浪子はその物音につと夢を破られて何氣なく振返る。と、いつの間に入つて來たのか、其處には由良子が立つてゐた。

「まア、由良子さん、どうなすつたの？」

騒しい最中に意外の人を迎えた浪子はほつとした樣に喜んで微笑した。

由良子は然し、凝つと眼をすえたまゝ浪子を見守つてゐる。何か氣落ちがした人間の樣に、正體もなく、ふら〳〵と浪子の側へ近よつてくる。

「まア、由良子さん、あなた一體どうなすつたと云ふのです」

浪子は何かしら異常な氣配を感じて、思はず椅子の中で身を引いた。見れば、由良子の衣服はすつかり埃にまみれて、所々綻裂きさへ出來てゐる。それを見ても、この四五日、彼女がどんな生活をしてゐたかゞ分るのだ。

「由良さん――」

浪子は周章てゝ何か言はうとしたが、その途端彼女は思はず、つと唾を呑みこんだ。

血だ！

夥だしい血だ！どす黒い血が、由良子の胸から腹へかけて、べつとりこびりついてゐる。

中國共産黨と通じて 朝鮮共産黨陰謀
吉敦線の日支官公衙襲撃計畫
吉林は嚴重に警戒

【吉林特電一日發】國際赤色記念日である八月一日の前夜から翌朝に亘り今回中國共産黨に加入した朝鮮共産黨ML八千五百名は吉敦吉海沿線に根據を有し主として吉敦線の日支官公衙、銀行その他鐵道の破壞、電信電話の切斷、電燈線の破壞に努め暗黒たらしめ、銃器の強奪、軍資金の調査を謀りつゝありとの情報が三十一日午後五時すぎ支那公安局および日本領事館に入りたるため一齊に大警戒をなす一方居留民にその旨達したので、在郷軍人の役員民會に集り萬一の場合の準備につき協議したが同夜は何事もなく不安な一夜は明けた、尚警戒の手薄に乘じて何時不穏の行動に出るやも知れず引續き警戒中

不逞團を追ひつめて 支那官憲が激戰中
吉敦線は昨朝復舊す

【長春特電一日發】吉敦鐵路沿線の木橋二ヶ所は石油をそゝいで放火したものでこれが發見されたのは一日午前四時頃であるが、應急修理の結果、十一時半頃列車の開通を見るに至つたものである、支那では直ちに敦化駐屯第十三旅七團及び吉林駐屯軍と連絡をとり逃走せる不逞團を敦化を去る六十支里の地點寬地に不逞團を追ひつめ目下支那軍隊は不逞團と激戰中であると、尚吉林駐屯軍隊は吉敦沿線の守備を嚴重にした、これがため長春の公安局及び鐵守使は一日より午後六時より十二時まで非常警戒を決行することになつた

吉敦沿線の 不逞鮮人團逃亡
電信電話は昨朝復舊

【長春特電一日發】吉敦線敦化および蛟河を襲ふた不逞鮮人の大集團はいづれかに逃走し鐵道線路および電信、電話線は一日午前十時半復舊した

海軍檢閲
一行日程決る

鳥巢佐世保鎭守府司令長官一行の旅順海軍無線電信所恒例檢閲は左記の如く發表された
▲檢閲官海軍中將鎭守府司令長官鳥巢玉樹 ▲同附海軍中佐參謀戸塚道太郎 ▲同海軍中佐副官中村季雄 ▲海軍機關少佐參謀中山寛の一行にて日程左の如し
▲十四日 大連着(うらる丸)午前大連寺兒溝海軍用地視察、大連民政署、市役所、滿鐵訪問午後大連神社、忠靈塔參拜、老虎灘方面海軍用地視察了へ旅順へ(自動車)白玉山參拜、關東長官、關東軍司令官、要塞司令官訪問、旅順泊(黄金臺ヤマトホテル)
▲十五日午前 旅順無線電信所檢閲、正午地方官憲招待(黄金臺ヤマトホテル)了つて大連へ、大連泊(大連ヤマトホテル)
▲十六日午前九時 大連發、營口海軍用地視察、湯崗子泊
▲十七日午前八時五分 湯崗子發奉天觀察の上即日奉天發平壤へ

高松宮兩殿下
アントワープへ

【アントワープ卅一日發電通】高松宮兩妃殿下は本日當地に御成り寺院、港灣博覧會等を御見物の後ブラッセルに向はせられた

少年團の天幕生活
きのふから沙河口水源地で

多獅島の 調査班
けふ大連からも出發する

昭和製鋼所設置箇所に關して鞍山説が頗る悲觀論に傾き新義州説が流布されつゝある今日、大連よりも多獅島調査班を派遣する事となり二日午前七時埠頭曳船帽島丸、黒島丸の兩船ならびにライター、水船を以て大々的の調査班が出發する事になつた、一行三十餘名何れも技術者の優秀なるものを網羅し殊に築港關係者の多數あるは注目に價すべく約一ヶ月の豫定であると

歐洲一周飛行
英ブ大尉一着

【ベルリン三十一日發電通】曩頃擧行された歐洲一周飛行競爭はイギリスのブロード大尉が平均時速百十哩で一着となり同じくイギリスのバトラー氏が第二着となつたが技術方面の試驗は一日より行はるゝ筈である

勞資爭議の尖鋭化
東京市外だけで廿三件繋爭中
解決は勞働者に不利

【東京特電一日發】農村の飢渇と小商工業者の倒産續出と、したがつて起る産業豫備軍の增大は日々重大性を加へて不氣味な社會的暗流となりつゝあるので警視廳をはじめとして各地警察の非常時警備はいよいよ嚴重に進められてゐるが、不安と産業合理化の加速度的進展は各地に勞資激突の件數を增し本年初以來七月中旬までの勞働爭議件數は八百件に及び、うち約四〇パーセントは罷業怠業工場閉鎖などに結果してゐる、これを例年に比すれば未曾有の件數增加で現在、東京市內外に繋爭中の爭議は大小二十三件、その大部分は解雇や勞働條件低下に端を發ししかも勞働者にとつて有利に解決した爭議は僅に、調停機關を經たうちの小部分にとまり、一面勞働組合應援の割合に微力なことも暴露してゐるが、大勢は漸次各種産業家の勞働團體をかつて統一的鬪爭コースへと向はせつゝあり、不穏氣が醸した集中爭議への成行きは頗る重視すべきものがあると

滿蒙日本人紳士錄
お待ちかねの増補新刊 普及版が出來ました

滿鐵職制變更其他過去一年間の異動を網羅

◇…菊版八百餘頁、登載人員三千六百名、附錄の銀行會社要覽七百餘件
◇…調査は詳細精確、在滿公私人の生活內容一目瞭然、眞に萬人座右の寶典

破格の廉價一部金壹圓八拾錢
部數に限りあり即刻御申込み下さい

發行所 滿洲日報社 振替口座大連六〇番
發賣所 大連市浪速町 大阪屋號書店
同 大連市浪速町 滿書堂書籍部

日獨濠三國 對抗庭球戰

【ベルリン三十一日發電通】日獨濠三國對抗庭球大會は本日より當地に於て擧行されたが第一日の結果は左の如くである

プレン(獨) 六―〇 四―六 六―二 ムーン(濠)
太田 六―一 六―二 ランドマン(獨)
ポップマン(濠) 四―六 七―五 八―六 原田

毎月五、六百噸ほどの 銅子兒を輸入する
利に慧い支那人の新商賣で わが産銅業者恐慌

【東京電話一日發】利に慧い支那人が現ナマを大阪造幣局に持込んで一儲けも二儲けもした事は嘗て報道したが、飽く迄も抜け目のない支那商人は儲けることゝ云つたら何でも見逃さない、昨年頃からのことであるが毎月五、六百噸宛の銅子兒が我が內地に輸入され唯さへ市場不況でストックに悩んで居る產銅業者を恐怖せしめてゐる、今日迄に入つただけでも一萬噸近くに達して居る見込で一噸の値段百圓としてもザット四百萬圓の輸入を見て居る勘定になるが、何しろ內地產銅の時價一噸六百圓見當に對し銅子兒一噸は四百圓であるから其の間二百圓前後の差がある譯である、おまけに關税は銅が從量税で百斤七圓なのに對しコレは又關税定率法の一寸した不備から從價税になつて居り、而も税金僅二圓五、六十錢程度に過ぎない、これでは話でも一寸儲けて見る氣にならう、殊に支那は廣い、四百餘州のあちらこちらから掻き集めて來る丈けの手數で而も殆ど無盡藏と來て居るから何の事は無い新らしい銅山の一つも發見した樣なものだ、尤も近ごろは銅價も下る一方で以前程儲からないから輸入も漸次減る傾向であるがそれをやつて居るのは支那商人許りではない、神戸あたりの日本商人もドシドシ持つて來て鑄潰して居るさうである、此頃の調査ではないが內地產銅業者が此の銅子兒の襲來を共產黨以上に怖けを慄つてゐるのも蓋し無理はあるまい

人氣力士で 本社お好大喝采
けふから幕內五番決勝戰 大相撲五日目賑ふ

大相撲五日目は朔日の事でもあり又夕方から可成り涼しくなつたので約八分の入り相變らず各勝負力士の熱戰で大童である、御好み相撲數番後本社の御好み相撲沖ツ海對錦洋、潮ケ濱對晴の海は四力士とも人氣力士とて大喝采を博し結局前者は寄り切りで沖ツ海が勝ち後者は下手投げと上手投げの二番で潮ケ濱勝つ又幕下個人決勝は初二三日の優勝者、柳關は二回戰に於て大連で初土俵の若藤部屋の越ノ海に破れ四日目の優勝者双葉山は二回戰に於て太刀若に一蹴され優勝候補の越ノ海は準決勝戰で鳴汐に破れ結局鳴汐と太刀若が殘つたが鳴汐寄り切つて優勝す又東西勝星はこの日中入に入るとき二十對二十の同點で興味を呼び以後も大接戰を續け二十四對二十四の同點となり總計東百二十六點西百十一點となる重なる勝負左の如くである

勝　負
潮ケ濱(つり出し)上宮山
池田川(ふみこし)晴ノ海
晴ノ海をかけしも池田立たず立つや激しく突き合ひの後晴右を押し勝を急いでぐんぐん押したが僅かにふみこして破れる
高　浪(押し切り)潮　光
中　入
沖ツ海(上手投げ)若瀬川
しきり直すこと四回若瀬川をかけたが沖ツ海目立たず、立つや沖ツ鐵砲激しく敵に寄つたが若瀬うまくはづして左をさし逆に沖ツ苦戰と見えしが沖ツ物の見事上手投げをうつて勝つ
幡瀬川(下手投げ)劍　岳
寶　川(寄り切り)雷ノ峰
錦　洋(上手投げ)眞　鶴
本日の好取組として期待されて居た一番、しきり入念、鶴の聲で立ちがつちり相四つとなり鶴ぐんぐん寄つたが巧に錦殘し逆に押す、土俵眞中でしはし錦敵の虚を見すまして上手投げで勝つ
大蛇山(押し切り)若葉山
玉　錦(つり出し)吉野山
全勝の玉と大物喰ひの吉野との對戰興味を以て迎へられる、しきりなほし三回、吉野右をさし相四つとなり一時押して優勢と見えたが押しかへされ玉の腹にのせられあつけなくつり出される
豐　國(つり出し)太郎山
一勝三敗の太郎はこの一戰で名譽回復と必死になつて迫まり左四つとなつたが豐のつり出しにまんまとやられ豐五日間勝ち放なす
宮城山(寄り切り)朝　潮
本日の最好取組宮城全勝朝三勝一敗入念にしきつた後立つや宮城左をさしてぐんぐん押しさしもの朝の巨體もおされて土俵際に迫り朝受身、强張つた末僅かに殘して中央まで押しかへされたが再び押され遂に破る
打出し七時三十五分

六日午後三時三十分頃協會では連日滿員の御禮のため左記幕內力士の決勝五番相撲を擧行することになつた、幕內力士のリーグ戰は協會としては本場所のみで擧行したものであるが今回は特に謝恩の意味で非常な期待を以て迎へられてる

東方	西方
大蛇山	太郎山
吉野山	若瀬川
劍　岳	幡瀬川
寶　川	雷の峰
錦　洋	眞　鶴

旅順の放火魔 容疑者を引致
磯田技師方のボーイ

去る五月三日夜中村町一六關東廳一技師磯田信之助方倉庫の放火を手始めに振武館弓場其他の放火犯人に就ては旅順警察署に於ても極力犯人の捜査に努めつゝあつたが未だに眞犯人を逮捕するに至らず全く怪火として迷宮に入らんとせるが其後密行中の宮本部長等に依つてどうやら磯田技師方のボーイ李洪○(二二)が怪しいと睨み容疑者として卅一日本署に引致目下取調べ中である

旅順でも 値下げ
飲食店組合が

旅順の飲食店組合では刻下の不況と諸物價の値下げに鑑み現在の難局を打開し顧客との合理化に努むべく過般評議員會を開き種々協議の結果各々自分の店の飲食物を何程の程度迄値下しうるかを無記名にて投票せしめ一括の上更に從來の定價表と對照研究の上三十一日旅順警察署に宛全組合の飲食物値下方を願出たが、これに依ると洋食部、麵類部及び一般飲食物は從來より約一割三分程度の値下げを爲す事となるが、認可の上は從來かけうどん等の九錢が八錢となり丼物は四十錢のが三十五錢洋食も稍同一位で種物には餘り變りなく主として一般向の物の値下げに重きを置いてゐる

近畿地方に 大豪雨襲ふ
各河川とも大增水し 市郡を通じ被害甚大

【大阪一日發電通】三十一日未明から近畿地方を襲つた豪雨は三十餘時間降り續き堤防橋梁の流失家屋の浸水多く多大の被害を與へたが就中福知山は由良川增水二丈三尺に及び全町二千五百戸浸水山陰線も不通となつた、伏見町は宇治川氾濫濁流のため家屋の浸水二千三百戸に及び工兵第十六大隊出動危險を冒して工事中であるが伏見西南部は殆ど床上まで浸水し漸次に增水しつゝあるので市民は戰々兢々としてゐる市役所では一日朝より焚出をなした、但馬地方は浸水耕地四千五百町歩に達し鐵道線路の不通個所多し、奈良縣下も橋梁の流失堤防の缺潰個所にあり崖崩れのため四名壓死した、大阪市內の浸水家屋八千六百戸淀川增水一丈五尺に及んだが一日正午頃より次第に減水したが橋梁の流失十ケ所に及んだ

理髮

東京にて多年實驗を積みたる手腕家理髮師を今回數名招聘し御客樣各位の御希望に添ふ樣致します
尚理髮師は御客樣の御望みに從ひまして御指命下さればば同人に勤めさせます
理髮及び顔剃の御手數のかゝる御方を時に御待ち致します

大山通正隆銀行前 衞生軒 電二一三三七

緒方領事哈市出張

【ハルビン特電一日發】緒方浦鹽領事は一日用務を帶び來哈した

十哩遠泳 一哩だけ行ふ

黑石礁滿鐵水泳部では八月三日今夏始めての十哩遠泳を擧行する筈であつたが昨今の雨天續きで選手の練習が捗どらず止むなく延期することにし同日は一哩遠泳だけ行ふこととなつたから沿線各地からの入場者は出發を見合はせられたいと

水產講習會

關東州水產會では小學校教員の水產知識涵養の爲め來る八月二十日から三日間大連老虎灘水產試驗場に於て旅大小學校職員の水產講習會を開設主として教科書に現れた水產物に關し姉帶技師其他諸氏の講演があると

沖ツ海歡迎會

日本大相撲中の花形力士である沖つ海は、年齒漸く二十歳にして體量二十貫餘十兩の筆頭で將來の横綱として囑望されてゐるが、同力士の出身地福岡縣人會では有志相寄り沖つ海の將來を祝福すべく、來る八月二日午後七時山縣通士建協會の大連亭支店に於て歡迎會を催す由、會費二圓當日持參、希望者は縣人に限らず福昌公司の川邊氏又は土建協會の大島氏まで申込まれたし

大正校同窓會

大連大正小學校では三日午前九時から同校講堂に於て同窓會を開催する由會費は五十錢多數會員の參會を希望すると

うらる丸

二日午前七時半大連港外着豫定

海の唄

仲木貞一作　一木弴画

『一〇』

白河の里（五）

「……何うして、もつと早く來なかつたんだねえ？……晝前に來るかと思ふてたんや……」

和雄は京が内に這入るか這入らぬかに、然う云つて恨みめいた口調で、その時云つたのだつた。

「わたしかて、氣は急いたんやけど、出やうと思ふたとこへ、お人が來なはつたもんやで……」

「誰人や……お人つて……？」

「……」

「誰人や？……お人が來たかて構はいでもえいに……誰人や……そのお人は？……」

和雄は然う云つて執拗く訊いた。

「何んで、そないにお訊きやすの？、誰人かて宜しいわ」

京子も妙に意地を曲げた。

「云へんのやろ……なア、僕はよう知つとるぜ……訊かんでも……中丹波屋のデレ助や……」

「……」

默つて京子は、さう云つてうすら笑つてゐる和雄の顏を見た。

それから二人は、一寸面白くない思ひをしながら暫く沈默を守つてゐた。

和雄の家が失敗して、白河に引込んで了つてから二人の逢ふ瀬は京子がさうして京へ上つて來るか和雄が大阪へいくかしなければならなかつたので、瞬合せてゐた頃よりは自然と逢ふことは尠くなつてゐた。

さういふ時は、和雄にとつては一人の戀敵といふべき男が現はれた。

丹波屋の幸吉と云つて、それは同じ株屋仲間でも、京子や和雄の家とは格段の相違のある古い仲買店の息子だつた。

京子は、近々その息子の許へ嫁いでいくといふ噂さへ立つた。

和雄はもうぢつとしてはゐられなかつた。

纔渡まで何か所用で出かけていつた兩親の留守を幸ひに京子を招んで、その眞僞を訊いて見よう……としたのだつたらしい。

それが、偶然にも京子の來ようが遲かつたので、一も二もなく人の來たといふのは丹波屋の幸吉を意味するのだと思ひ込んで、最初に憤つとして了つた。

恨みつらみの言ひ草と仕草とは二人の胸から衝いて出た。

が、さうした烈しい感情の衝動の後には、……烈しい嵐の後の月夜のやうに……靜かに落ちついた夢に囚はれてゐるやうな思ひの幾時かが過ごされた。

「今夜は十時頃まで親達は歸つて來やせん……悠然りしてなア……」

二人は長火鉢の前に向ひ合つてゐた。

和雄が、小鍋の中で暖し餡を溶くと、京子は紅い小鉢の中で白玉の團子をこしらへて、その鍋の中へ落していつた。

「……美しい手……白玉團子は無おいしかろ……」

と、云ふと、京子は優しい瞳に和雄を睨むやうな視線を送つて、

「貴方こそ……綺麗な男やて、評判だつせ……堂島中の人がみな……」

「……」

……憎んな云を云ひながら二人は薄暗い電燈の下で、夕飯代りのおしるこを喰べたりした。

× × ×

それだのに……影のやうに消えていつた過去の春を、恍惚と夢見てゐる時、和雄の母親は、京子の名を呼びながら近づいて來た。

「まあ、こんな處に何してをりやした？」

「……」

京子は、默つて母親の後から隨いて行つた。

茶の間には、もう夕飯の支度が整つてゐて、父親が案外機嫌のよい顏に二人を待つてゐた。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

○　大連　青御　梢子

夏草のはびこるまゝの廢寺かな

○　大連　上河邊芳人

夏草に坐りて釣する一と日かな

○　大連　寛　鳴鹿

門入れば夏草茂る貸家かな

○　香川縣　高木　宏影

夕立に夏草ぬれし小徑かな

○　瓦房店　冠滿　漁舟

夏草のうねり續ける曠野かな

ハンモック

○　大連　吉元　汀雨

ハンモックに蝉迷ひ來し晝寢かな

ハンモックや時々搖るゝ軒葱

ハンモックふら〳〵とある樹蔭かな

○　野村　雅子

林間に讀書の聲やハンモック

夏の朝

○　大連　吉元　汀雨

新らしき蜘蛛の懸巣や夏の朝

○　野村　雅子

夏朝や連れたちて行く田草取

夏の朝窓開けて見る園生かな

夏の月

○　大連　吉元　汀雨

月涼し西瓜畠に人動く

雨氣を持つ白雲迅し夏の月

滿雲のかゝりし山や夏の月

公園の石のベンチや夏の月

○　野村　雅子

浮島に舟つけてあり夏の月

懸賞詰聯珠發表（三）

題名「青簾」　上木三山調

正解案

天	㈡	㈧	⑪	人	㉓
㈣	㈠	⑥	⑬	㉑	甲
㈤	㈨	㈦	㉒	地	⑱
は	に	ほ	乙	⑮	⑭
へ	㊁	⑯	い	ろ	

二十三球打上げである。變化の説明を伸べると

△（二十）反對は「甲」後四追

△（十八）反對は天地（十八）の順

△（十六）乙なら黑（十七）白（十八）なら「に、ほ」にて兩勝、又白反對は「天、人」で兩勝

△（十六）他は（十七）後四追

△（十四）反對は黑「地」に打ち、白（十四）と等なら「人、丙」の順、他は四追

等である。要するに這回の問題は一、二のトリックが包藏されてあつた爲に、惜しい處で落選された方が多く、殊に酒井氏の案は優秀であつたが變化説明に乏しく、吉田、内藤兩氏案は今一と息といふ處で入選の域に達しなかつたのは殘念だつた。嚴選の結果は左の通りである。序乍ら書き添へておきたい事は、變化説明に當り「何々後容易」といふのは該聯球には禁物であり正確明瞭に圖示すべきであります

因に懸募案嚴選の結果左の如し

【入選者】なし

【佳作】旅順市橋立町吉田滿雄▲大連市聖德街二ノ八八酒井正滿▲奉天松島町十二番高辻與衛▲大連市西公園町二〇三番地内藤四郎（以上四氏）

(日刊) (明治卅八年十月二十五日 第三種郵便物認可)

夕刊 滿洲日報 八月一日

長沙共匪事件の勃發は列國の對支政策に影響
治外法權撤廢要求に對しても態度は重大變化せん

【東京特電一日發】長沙における共產軍の言語に絶せる暴威は早くも列國間の重大問題と化し被害を受けた各國領事館及び一般に對する放火、掠奪、殺人、暴行などにつき詳細調査し國民政府に嚴重抗議を提出する筈であるが國民政府當局が絶えず口に治外法權撤廢を叫びながらその實情今日の如くであり、特に今回の長沙事件を勃發した結果として列國の對支觀念は重大なる變化を來した模樣で、それが今後の對支政策の上に非常な影響を及ぼすだらうと觀られてゐる

共產土匪と蔣は全國民共同の敵
兩者を撲滅し國家の禍を除く 北平擴大會議の宣言

【北平三十一日發電通】本日の擴大會議談話會の結果汪精衛、閻錫山、馮玉祥三氏を始め委員全部連名で共產軍の暴擧に對し左の如き宣言を内外に發した

蔣介石が湖南、湖北、江西の地方警備軍を津浦線に移した爲め共產黨軍はその隙に乘じ長沙その他を陷いれ同胞と外人を水火の苦難に陷いる責任の歸趨は明かである、蔣介石が同胞に對し殘虐を極めながら何ぞ共產土匪に寛大なる、蔣介石は共產土匪と共に支那全國民共同の敵なり

吾人は一致兩者の撲滅を期し國家の禍を除き友邦との信義を全うせん

上海郵政局不穩 共產黨が罷業を指令

【上海三十一日發電通】上海郵政局從業員八百餘名は共產黨の指令を受け過般來天津、北平の從業員と連絡してゐたが、今早朝月給手當の增加その他十數ヶ條の要求を提出し廿四時間内に滿足な回答を得られぬ時は總罷業を決行する旨通告してゐたが、明日は恰も共產黨八、一記念日に當り總罷業は免れぬ形勢である

長沙共匪依然 市中を徘徊

【漢口三十一日發電通】三十一日午後三時半某所着電によれば長沙の共產軍はなほ暴戾の手を緩めず日清汽船社宅、領事館は外觀をそのまゝ殘してゐるが、ジャーデン、マジソン商會は今朝完全に燒打された、共匪は三々伍々隊をなして豺狼の如く徘徊し河岸一帶には依然赤旗がひるがへつてゐると

汎太平洋婦人代表の出發

來る九日より向ふ一週間布哇ホノルル市に於て開催される汎太平洋會議に出席する我代表一行は二十九日午後零時四十分東京驛發橫濱出帆の太洋丸で出發した【寫眞は東京驛出發の向つて右より田中芳子・市川タマ子・花木チサヲ・原山きみよ・定方龜代・齋藤みどりの諸女史】

走馬燈

滿鐵(其十八)

荻川

今では東支を、露國の侵略鐵道と云はれない、露國は其革命の勞頭に於て、外國に對し、侵略と名が附くほどのすべてを放棄した、東支鐵道も其一である、そうして當時聯合與國の對露國シベリア出兵に會し、支那も聯合與國側たり、此機會に於て露國と沒交渉に、東支鐵道を露國の聲明通り、事業のうへに之を自己へ回收した、それ以來東支は、露國侵略鐵道たる意義を失ふたと思ふ。

◇

爾後露支の間に國交恢復ことあり、東支鐵道も其議題の内に加へられ、終にそれが露支合辦となつて、所謂侵略から經濟の分野に移つた、併し斯る經濟鐵道も、尙兵力で爭はねばならぬ問題を、露支間に胎すが、それも當今モスクワで開催中の、兩國平和會議なぞで、漸次に解決すべきを疑はぬ、東支鐵道が經濟的なら、經濟的の南滿鐵道と、融和の出來ぬ道理はない、過去それの出來なかつた點あたりは東支鐵道から尙侵略の臭味が脫けざりしによる。

◇

それがおひ〳〵と脫けるとせば滿鐵は愈々以て經濟的に東支との融台を圖らねばならぬ、之を圖ることは、滿洲の富源たる生產、貿易を增大するのみか和潤を支那の他地方及び露國のシベリアに與へ、日本とて得益を受くること勿論なり、滿鐵の使命として日露支三國の間に立つて之を努むることは蓋し其重要たるものゝ一に數ふべきにあらずや、そうして之を爲す、權道に由らずして、正道を步め、正道の途は遠きことあり、されど急げば廻れじや。

◇

書いてこゝに至り、さて改まつて露支兩國を觀る、露國は比較的我國に對して大人數きも、尙例を擧ぐれば、北洋漁業の如きに於て絕えず確執あり、支那に至つては、我國に對し求むるところこそあれ、毫も讓るところなく、今や危急存亡の秋にある南京政府すら、我に電報回收等色んな提議をなす、殊に南京政府と云はんや、之が現在の支那流儀なり、此間に立つて滿鐵に仕事をなせと云ふ、甚だ困難なる注文なるを知る。

◇

最後に云ひたい、而も之を爲さしめんとならば、行詰つたら、豈滿鐵のことのみならんや、すべてに國家が、總決算をすゝぞとの覺悟あるを要し、支那の現狀如きでは、愈々之を思はしむるに切なるものがある。

中央軍約五千名 けさ青島に上陸す

【青島特電一日發】南方中央軍は今朝兵約五千名軍馬並びに多量の兵器彈藥を商船五隻に搭載し青島に廻航兵員武器を直ちに上陸せしめた

濟南靑州間 けふ開通

【濟南三十一日發電通】淄河の鐵橋修理完成し一日より濟南靑州間の客車直通運轉を行ふ事となつた

米支航空 契約全文

【南京三十一日發電通】米支航空契約全文は左の如く本日發表された

一、資本金一千萬元、一萬株 支那側五千五百株、米側四千五百株

一、航空路

第一線 上海、南京、九江、漢口、宜昌、萬縣、重慶、成都

第二線 南京、徐州、濟南、北平

第三線 上海、寧波、溫州、福州、厦門、汕頭、廣東

一、第一線は直に實行に着手しその成績により第二、三線を實行し三年以内に第二、三線を實施し得ざる時はその營業權を喪失す

一、會社は中國郵政局との契約に依り航空郵便の輸送權を有す、又飛行機に無線電信電話を架設する權利を有す

一、本契約有効期間十ヶ年、滿期後同意に依り五ヶ年存續を延期し得

英皇帝陛下 批准書御署名

【ロンドン三十一日發電通】イギリス藏相スノーデン氏は本日下院で英皇帝陛下はロンドン條約批准書に御署名あらせられたと發表した

瀋法鐵道敷設 工費三百萬元

東北交通委員會では豫て計畫中であつた瀋法鐵道の敷設を具體化すべくこれが經費として現大洋三百萬元の支出方を決定し遼寧省庫より百萬元、北寧、四洮、洮昂、呼海、瀋海、吉長、吉敦の各鐵路局より二百萬元を各分擔支出せしむべく今回政府よりそれ〴〵通告するところあつた

明年豫算節約二億
軍事費の大削減斷行が必要 大藏當局編成に苦心

【東京一日發電通】未曾有の難關を豫期される明年度豫算編成は最近の驚くべき歲入減の趨勢に依り政府をして財政上窮地に陷らしめんとしてゐる、即ち豫算概計表に依る明年度豫算額は(單位千圓)

歲入 一、五七二、六五四

歲出 一、五七二、一〇三

であるが實際の歲入は租稅收入一億一千萬圓その他官業官有財產收入二千萬圓計一億三千萬圓の自然減は免れざるべしと豫想されるに對し剩餘金に依る新規財源は一厘も期待し難く寧ろ追加豫算財源一二千萬圓を保留して置かねばならず、若しそれ一千萬圓の減稅を行はんとせば總豫算歲入は一億五、六千萬圓の減少を覺悟せねばならない、然るに歲出の側においては一切の新規事業を拒否するとしても緊急已むを得ざる失業救濟費、既定年額、法律に伴ふ支出その他當然增四、五千萬圓を要し結局約二億圓の經費節約をなさゞれば明年度豫算は到底編成不可能なる事情になつてゐる、然るに現內閣成立以來四年度實行豫算において九千百萬圓、五年度豫算において一億二千五百萬圓、行政經濟化に依る六千萬圓計二億七千六百萬圓の大節約を實行して居り最早節約の餘地も尠くこの上二億の節約をなすには如何にしても軍事費に大削減を加へる外なく而も實行豫算節約に際して經驗した軍部の反對を顧念し大藏當局は今や頗る當惑してゐる

商工省明年豫算 貿易局の新規要求のみで二百萬圓を突破す

【東京一日發電通】商工省豫算は每年百數十萬圓に過ぎぬが産業官廳たる機能發揮のためには相當多額の經費を要するので俵商相は閣議の新規事業不承認決議は愈々撤回すべく可からざる事項は例外として要求する方針で六年度豫算編成を急がせて居るが貿易局案は大略左の如くである

一、輸出補償法實施自然增百萬圓

一、輸出組合販賣統制助成費十七萬圓

一、海外市場視察費十五萬圓

一、海外商品陳列館擴張增設十八萬圓

一、巡回博覽會船二十五萬圓

一、海運界不況のため繫船中の優秀客船を備船し船內に海外向き商品を滿載陳列し移動博覽會を開く

その他海外競爭見本品蒐集、海外移住局の新設、貿易通信の充實等も擧げられ貿易局豫算のみでも二百萬圓の新規要求に達しその他工務局の自動車工業確立、鑛山局の鐵鋼業確立策等具體化せば明年度商工省豫算は一躍して例年に數倍する巨額に達する見込みである

各國憲法を參照 統帥權問題研究 熱心な樞府顧問官連

【東京特電一日發】樞府におけるロンドン條約の下審査は後二回程度で終る見込であり、精査委員會もこゝ一兩日中に決定され八月六、七日頃には初精査委員會を開く運びとならうと觀られるが精査委員官の中でも熱心な向は自分が精査委員に當てられると否とに拘らず今日まで問題となつて來た統帥權問題、國防缺陷問題及びその補充問題などに關し種々各方面の參考資料を蒐め殊に軍令部無視問題即ち統帥權問題については單に國內學者の著書や意見のみならず世界各國の憲法に關する書籍を集めて研究に沒頭してゐる程でその結論としては政府の執つてゐる美濃部博士の所論とは可なり隔たりのある意見をもつてゐる者も多いからこの點は相當議論を釀すに至るであらうと觀られる、たゞ政府側の意を强くするに足るものは統帥權問題は條約締結に至る過程に過ぎず、條約そのものゝ內容ではないから議論が多少枝葉に亘りてもこれによつて條約の運命が窮地に追ひ込まれることは無からうといふにある

傍系會社の整理 極く小範圍 還元說濃厚なるは旅館會社 その他は尙調査中

滿鐵の諸給與規程改正及び傍系會社の整理廢合は仙石總裁の歸任によつて愈々決定を見ることゝなるが傍系會社中滿鐵に還元の最も濃厚なものは旅館會社で大連汽船、滿洲ドック兩社の還元は尙研究されるものと觀測されてゐる、大連醫院は財團法人組織となつて既に滿鐵の傍系會社といふ譯でないため同院の還元は勿論困難であらう、尙傍系及び關係會社の人事異動は未だ何等の決定的案もない模樣だが行ふとしても極めて小範圍らしく見られてゐる富次瓦斯會社專務の辭職勇退など傳へる向もあるが滿鐵でも、瓦斯會社でもそんなことは絕對にないと言明してゐる

陸軍の定期異動 (一日午前十時發表)

【東京一日發電通】陸軍定期異動は一日午前十時左の如く發表された

進級

陸軍少將 勝野正魚、岩本綾夫、若山善太郎、森連、小畑寅吉、荒蒔義勝、西田恒夫、松井七夫、原田貞吉、林彥一、久木村十郎次、坂本政右衞門、藤田鴻輔、佐藤子之助、二宮治重、杉山元

任陸軍中將(各通)

步兵大佐 磨江多藏、長岡正雄、服部保、櫻井忠溫、鏡山巖、福山格次、堀之內直、今井淸、梅津美治郎、名越時中、下元熊彌、嘉村達次郎、田代皖一郎、松浦淳六郎、今井信夫、三宅一夫、谷壽夫、福田袈裟雄、山崎宗義、前原宏行、村田凱一、石井孝慈、藤野嘉市、一色留次郎、砲兵大佐和田秀衞、鄕竹三、荻原勝千代、伊東政喜、山田耕三男、中根正當、鈴木松之助、西鄕豐彥、森田宣、高橋佐太郎、長谷川鐵次郎、高橋貞夫、中島三郎、黑須辰之助、靑木政喜、大屋敏正平、和田忠、森下正、秋田[illegible]、渡邊友次郎、憲兵大佐出口永吉、騎兵大佐飯島昌藏、山田乙三、航空大佐小池末雄、大江亮一、工兵大佐高木尙右、中村古、別枝嘉助、輜重兵大佐大村幹太郎

任陸軍少將(各通)

主計監 藤田順

任主計總監

一等主計正 白井八百藏、平手勘次郎、橫田寬、松野一藏

任主計監(各通)

軍醫監 合田平、石川淸人

任軍醫總監(各通)

一等軍醫正 大野久次郎、指宿春一、岡本晴一、山本幹雄、朝倉重敏、齋藤龍雄

任軍醫監(各通)

一等獸醫正 伊地知長生

任獸醫監

陸軍次官任命

任陸軍次官(一等) 陸軍中將 杉山元

特別會計負擔の總額十萬圓 關東廳財源を考慮

關東廳では今般松田拓相より公文を以つて明六年度における同廳特別會計國費歲入歲出豫算に關する政府の方針を指示されたので、同廳では右指示に基き本年八月末日までを以て同豫算を編成拓務省を經て大藏省に豫算案の提案をなす筈であるが而して指示案の內容は

一、既定經費は極力節減すること

二、新規事業は一切要求せざること

三、昭和六年度以降恩給は各特別會計において夫々負擔すること

四、既定經費の節減に就ては別に大藏省にて案を作製すること

等にて政府は明六年度の豫算編成については歲入減繰越金減其他の關係上一層徹底的緊縮方針を採る筈であるので、關東廳明年度豫算もこれに倣ひ當然一層徹底的なる緊縮、節約豫算となる譯であるがさきだに各種歲入減にて豫算編成難をかこつ折柄右の如く今回新に課せられたる恩給支出の財源を何處に求むるか、政府の主旨としては現在各植民地における恩給支給額を基準としてこれを特別會計に割當てるといふので少くとも歲出總額十萬圓をドらぬものと見られてゐるが、同廳財務當局では目下の處一般會計よりこれを求むるか、さもなければ同廳繰越金より支出するより外ないといつてゐる

精査委員長 樞相の選任方針

【東京一日發電通】ロンドン條約樞府精査委員はいよ〳〵一兩日中に決定する運びとなり倉富樞相は人選中であるが、目下のところ左の三案の外に出ぬ模樣である

一、平沼副議長を推す

二、伊東伯の壯如何では伯を推す

三、平沼副議長が第二案を欲せぬ時は倉富樞相自から委員長となる

海務局支局 甘井子に設置

海務局においては今八月一日より甘井子に支局を開設按手山口廳兵衞氏を支局長に任命し事務方面に龍山秀[illegible]氏を他に信號手三名を同地に常置する事になつたと、隨つて從來の旅順にある支局の名稱を旅順支局と改名した

人事

▲吉富金一氏(埠頭事務所營業長) 一日出帆はるびん丸にて內地へ

▲茂木定二氏(榊丸船長) 同上長春丸受取りの爲出張

▲山岸庫太氏(榊丸機關長) 同上

▲前川敬悅氏(陸軍省三等主計正) 歐洲出張中のところ同上

▲櫻井勳四郎氏(同日小學校長) 同上

▲澤沼謙三氏(實業家) 一日入港奉天丸にて歸連

大觀小觀

南も北も共匪を自家宣傳に利用せんとするの傾きあるは面白くもない。

◇

北は蔣介石の責任だと宣言を發し、南は汪精衛の使嗾などといふ。

◇

責は匹夫にもあり、いはんや汪や蔣やの要人においておやである南北共同の責任だ。

◇

秩父宮殿下、太刀洗飛行隊に御入隊、飛行機の性能等を御研究あそばさる。

◇

國母陛下御懷妊の御兆候を拜すといふ。八千萬臣子の同慶するところ。

伊の情熱獨の不屈を 日本も學べ 歐洲視察の前川三等主計正談

歐洲各國を視察中であつた三等主計正前川敬悅氏は一日出帆はるびん丸で歸任の途についたが船中語る

陸軍省の御用で約半歲に亘り歐洲各國を視察したが歸任後でなくては用件その他のお話は出來ぬがあちらを步いて得た感想をお話しすれば、先づイタリーは全く

國民一致 ファシストとしての敎育を受け全くムッソリーニになづみ黑シャツ隊の威力は素晴しいもので感心した事は同國北部においては米が出來るので今や米食が流行、政府も又奬勵して歸辨當にすら握飯があつたのには驚いた、又ドイツも大戰後頗る緊張、敗戰國のおもかげは片鱗だに窺へなかつた全くドイツ魂の偉大なのには驚いたあれでなくてはならないと思ふ思想的に物質的に着々と平和の戰勝者の地位にのぼらうとしてゐる、年々十四億の賠償金を背負はされてゐる國民とは見えず何れも生き〳〵として働いてゐた、次にロシヤだがこれはこちらに來る途中モスクワに約五時間とまつただけで何等

ロシヤを 語る材料を持たぬが歸りで感じた事はまづ震災後の東京を想像したらそれで好いと思ふ全く混亂を極めてゐた、通行人のはだしは勿論の事食物さへ滿足に得られないものが多數あるとの事だつた、聞く所によると日本も不景氣々々で人氣が荒れてゐるさうだがこの際國民一同イタリー人の如き情熱とドイツ人のあの不屈な魂が欲しいものだ

安保大將 けさ下關到着

【下關一日發電通】歸朝後の態度を注目されてゐる軍縮顧問安保大將は今朝入港の連絡船で歸宿東上したが、ホテルで語る

對米七割主張の破れたことは遺憾なるもあの場合已むを得ぬ、會議の成功か否や國民の判斷に俟つべきものだが局に當つた我々としても甘く行つたとは思つてゐない、この點は大いに責任を感じてゐる、參議官を辭めるかどうかは今いへぬ、軍人は出處進退を輕々に口にすべきでない、財部との間のいざこざの眞僞も語る譯に行かぬ、調印に對し條約大權軍きか、兵力量の大權軍きかこれもいへぬとて多くを語るを避けた

天氣豫報

二日(南東の風)晴一時曇り

各地溫度

	十二時	昨日最高
大連	二九・二	三〇・五
旅順	二九・二	三一・〇
營口	三二・六	三一・九
奉天	三一・八	三四・三
長春	三一・一	三三・二

滿潮 午前三時三十分 午後三時三十五分

干潮 午前九時五十五分 午後十時十五分

わが滿洲を代表し晴れの甲子園へ
けふ盛んな應援歌に送られて 大連商業軍の出發

本社主催の全滿豫選會に優勝し榮ある滿洲代表權を獲得したる大連商業野球部梅本主將以下十三名は來る十日より甲子園原頭で全國野球ファンの熱狂裡に華々しく擧行される大朝主催の全國中等學校優勝野球大會に馳せ參ずるべく進藤同校教諭櫻井明大選手引率のもとに一日出帆の定期船はるびん丸で遠征の途に就いた、ブリッヂには大朝香取支局長、岩瀨實業主將を初め各選手及び野球關係者多數の見送りを受け又同校應援團の數度の應援歌に選手連もエールを換はし一同元氣よく萬歲の聲に送られて出發した

滿洲健兒の意氣を發揮する
引率の進藤教諭語る

皆樣の御後援で愈々出發します、力の限り戰つて參ります、勝敗は別として滿洲健兒の意氣を充分示して參りませう、選手中二、三名腕をいためて居るものがありますが船の二日間の休養で充分靜養もとれるでせう、西宮到着と同時に充分練習しませう、櫻井君がついて行つて吳れますし又都市對抗の歸途芥田滿俱選手がベンチ、コーチとして來て吳れますので心丈夫です、うんと戰つて來ます、尙一行の宿舍は兵庫縣西ノ宮市戎川丸長旅館である、又同船で實業團中川武行選手及び前實業團田邊四郎選手は御目出度の話で內地に出發した

母國訪問機 英國出發
巴里へ向ふ

【クロイドン三十一日發電通】母國訪問飛行の東善作氏は三十一日午後五時三分クロイドン飛行場を出發し先づパリー郊外のルブルジェ飛行場に向つた

ル飛行場到着

【パリー三十一日發電通】東善作

支那貨物船坐礁
營城子灣で

一日午前十時頃當地海務局への情報によれば旅順管內營城子灣に約三千噸級支那貨物船が坐礁、しきりに救助を求めてゐるので檢査官保險會社員潜水夫の來船を求めてゐるので尙調査の結果同船は支那汽船大中號と判明した

R百號の故障
空で應急修理

【ケベック三十一日發電通】アール百號は三十一日朝來セント、ローレンス河を遡つて航行して來たがケベックの下流十二哩の地點で船體に故障起り三十一哩を吹き流されてクレーン島まで後戻りをしたが漸く應急修理を終えて再びケベックに向つたが一時間十哩の速力しか出ず當地着は遲れて一日となる模樣である

不良カフェーに營業停止のお灸
保護願の出た女給は無許可 カフエータウヌス

大連署保安係は最近市內カフェー業者が取締規則に抵觸するが如き亂脈極まる營業を行つてゐるので各派出所に命じ鋭意內偵中のところ市內加賀町三一番地タウヌスカフェー事中村利喜男が先づ槍玉に揚げられ一日附十日間の營業停止を命ぜられた

理由は中村は昨年末長崎から女給三名を月給二十圓の契約で雇つて來て以來、今日まで契約を履行せず、なほ無許可で女給を雇傭してゐたことが發覺したものである

なほこの種の規則違反を犯してゐるものは他にも多數あるので發見次第營業停止を命ず方針であると

葉山に御避暑中の皇后陛下御慶兆
御懷姙御三月と拜診

【東京一日發電通】葉山御用邸御滯泊中の皇后陛下は兩三日前供奉の佐藤侍醫頭及び塚原博士拜診の結果御懷姙御三月頃と拜察し奉つた從つて來る四日皇后陛下は聖上陛下と御一緒で直接那須御用邸に御避暑の御豫定の處御大事を取らせられ一旦宮城に御歸還の上翌日那須に向はせられる事に御內定あらせられた

秩父宮殿下
太刀洗御入隊

【福岡三十一日發電通】昨夕久留米御着宿泊所に入らせられた秩父大尉宮は今朝陸軍大學生の資格にて太刀洗飛行第四聯隊に御入隊のこととなり八時三十三分第十二師團司令部着師團長室にて金山師團長に入隊を御申告あり九時四十三分太刀洗飛行隊着貴賓室に小憩後橫山聯隊長に入隊の御申告あり茲に愈々御入隊の手續を終らせられ十一時久留米へ御歸還になつたが、今後三週間烈日の下に連日久留米より御通勤になり飛行機の性能、飛行機と用兵等の研究、各種勤務の體驗を得らるゝこととなつた

北滿各地に共匪
けふ哈爾賓と吉林は戒嚴令を布き警戒
國際赤色デーに備へる

八月一日は國際赤色デー記念日につき中國共產黨滿洲省委員會は本部と連絡し且不逞鮮人を味方に入れ何事か畫策しつゝありとの情報頻々として集るので支那官憲は極度に神經を惱まし嚴重な警戒を續けてゐたがこれより先き東鐵沿線在住のロシア共產黨幹部は密かに南部線第二松花江鐵橋附近に會合し八月一日中國共產黨の運動を援助し滿洲赤化に着手すべく打合せたこと判明したので支那當局は一層躍起となつて嚴重警戒を實行することゝなり一日には哈爾賓、吉林に戒嚴令を布き日本領事館警察も萬一に備へてゐる、又間島方面の支那外事警察は之亦全力を鮮人黨員の策動に備へてゐると

パルチザンがブハト襲擊
露人を混へた一千三百名 護路軍が嚴重警戒

【ハルビン特電一日發】東鐵西部線ブハト附近に約一千三百名のロシヤ人を含むパルチザン現はれブハト襲擊の報に護路軍は夜間十一時以後護照無き者の通行を禁止し、鐵道從業員は全部護照を發給された、パルチザンは赤白何れか判明せず支那官憲の壓迫に反抗するオロチョン賊と氣脈を通じてゐると

敦化附近と蛟河へ不逞鮮人
吉敦沿線の木橋破壞 電線も切斷され詳細不明

【長春特電一日發】卅一日、吉敦線敦化附近へ百八十名および蛟河へ不逞鮮人（一說には共產黨の鮮支人ともいふ）が突如として襲來し吉敦鐵道沿線の木橋二ケ所（吉林より七十キロおよび百九キロの地點）を破壞し電線數ケ所を切斷した、その後の狀況は電信線不通のため詳細不明

力行會の夜店
評判がよい

大連市社會館力行會では既報の通り廿九日から運鎖商店銀座通りに夜店を開設の筈であつたが、天候不良の爲め三十日夜から二十二名の會員が十一店舖を出し賑々しく開店した、各方面の多大な同情と他の夜店より品物が上等で廉いと云ふ評判が客足を引き豫想外に繁昌し夜の十時ごろまで金三十圓の賣揚げあり翌三十一日夜は同樣四十圓近くの賣揚げを見たので力瘤を入れてゐる社會館當局および運鎖商店側でも喜んでゐる、純益は會員等の共同收入となるもので主として賣れ行きの好かつたのはゴム製品、雜貨、化粧品、石鹼等であつたと

激增する失業者群にラヂオで求人放送
大連職業紹介所が新しい試み

不景氣の反映として最近失職者の數激增し從つて職を求むる者も日々に增加の傾向にあるが求人申込みはこれに反比例して働く從業者の數ますく過剩となり思想的にも惡化せんとする趨勢あるに鑑み大連放送局では大連市役所の依賴に依り今後職業紹介の時間を設け每日市役所社會館職業紹介所の調査にかゝる職業紹介事項を放送する事になつた、職業紹介の放送は內地放送局でも行ひ相當の成績を擧げてゐるに鑑み市役所では職業紹介所に於ける成績あまりに芳しからぬに依り放送局へ縋つた譯で當地に於ては始めての試みであり前記の如く不況の折柄なれば豫期の成績を擧げ得る事は困難としても一般求職求人者は大いに利用して貰ひたいと

水先人試驗

大連港水先人試驗は愈々一日より來る八日迄海務局海事審判室において開催、第一日目は木村檢疫官より身體檢査を施行さるゝところあつた

貰子殺しか怪しい嬰兒の死
鍼術師と密通した人妻の不義の子に絡り捜査

大連地方法院池內檢察官は數日前より極秘裡に司法刑事を指揮し貰ひ子殺しの嫌疑で各方面に活動を開始してゐるが、事件の內容を探聞するに市內西公園町某看護婦會寄宿野崎菊子（二七）―假名―は昨年十月頃夫某か內地歸省中神經痛に罹り沙河口某鍼術師方へ往込み治療を受けてゐるうち遂に鍼術師と情を通じ姙娠するに至つた、不義の胤を宿した菊子は惱みあぐんだ揚句同女の叔父某と相談のうへ本年五月頃女兒を分娩したが內地歸省中の夫に知られるを恐れ生れると間もなく人を介し僅かの養育費を添へ市內美濃町本間眞一假名―へ密かにやつた、然るに本間方に貰はれた嬰兒は日に／＼衰弱し一ケ月餘りで榮養不良となり遂に死亡して終つたが嬰兒死亡の裏面には養育費詐取の犯罪が潜んでゐるのではないかとの嫌疑を以つて見られ引續き嚴重取調の歩を進めてゐるが最近この種犯罪が內地で頻々として起つてゐる折柄とて一般の注目を惹いてゐる

海中目蒐け飛び込む
昨夜星ケ浦で

卅一日午後七時ごろ星ケ浦國澤半島西南突端より海中目がけて飛び込み投身自殺を圖つた支那人あるのを附近に居合せた苦力王月明（二〇）外三名が發見し直ちに海中に飛び込んで救ひ上げ星ケ浦派出所に屆出でたので同所の後藤巡査が取調べたところこの支那人は約一時間前國澤半島附近の路上に市內愛宕町五二益興德主人宛の遺書を遺棄してあつたのでかねて捜査中であつた大連管內周水會南山八番地居住の邱紀先（二〇）と判明したので保護を加へた上益興德方へ身柄は引渡したが原因は就職難に悲觀してゞあると

娘を奪取し暴行する
支那人の告訴

市內北崗子十四番地劉曹氏（三九）は一日朝市內尾上町六四宋洪其（三〇）外三十名を相手取つて傷害の告訴を提起した、右は曹氏の娘が嫁いで居る前記被告訴人宋洪其が怠け者の上に最近娘劉氏（二〇）に賣淫を强要するため卅一日午前十時ごろ劉氏は母親曹氏の許に逃げ歸つた宋洪其は憤慨し附近居住の不賴漢三十名を引連れて妻を取りもどすべく正午ごろ曹氏方に押しかけ妻劉氏を縛した上それを阻止した母親曹氏を散々袋叩きとし全治二週間を要する打撲傷を負はしたものであると

緊急水路事項をラヂオ放送

海軍省水路部より關東廳內務局を經て當地海務局への通牒によると一時艦船航海保安に關係のあるもので緊急を要する水路事項に關しては東京無線電信局より無線電信にてこれを一般に放送告示してゐたが今回更に一步を進め右緊急事項中必要あるものは海軍省公示事項としてこれを中央放送局よりラジオを以つて放送全國的に中繼で知らしむる事となり今後必要事項發生の都度實施する事となつた

社員會で養蜂講習
養兎は好成績

滿鐵社員會の副業獎勵事業として始めた家兎の配布は頗る希望者が多く數百頭の兎が忽ち配布濟みになつてしまつたが難ゝ近日配布を開始すると又養蜂は希望者は相當あるらしいが勝手が解らぬので躊躇してゐるものが多いので八月上旬安東、奉天其他各地に於て高海養蜂園主の養蜂講習を行ふと

警官水泳講習

海水浴のシーズンに入つて水難者や溺死者の數が滅切り增へて來た大連署では右事件の增加に鑑みて萬一の場合に於ける救助方法訓練のため來る六日午後二時から十五日まで向ふ六日間老虎灘黑石礁海水浴場に於て非番警官の水泳講習を開くことになつたと

學生團の歸國

一日出帆のはるびん丸、明星中學廿名、高岡高商九名、關西商業九名、鹿兒島高農十七名、京都第一商業三十名、小樽高商十三名の學生視察旅行團が歸國した

六日目取組

大相撲六日目取組左の如し

（高浪（朝ケ濱（朝光（晴ノ海
（東潟（沖ツ海（池田川（若瀨川
（寶川（吉野山（劍岳（朝潮
（太郎山（雷ノ峰（錦洋（幡瀨川
（眞鶴（豐國（大蛇山
（葉山（玉錦（宮城山

小野少佐死體不明

【橫須賀一日發電通】須之崎沖海軍飛行機慘事犧牲者津久井中尉肥後二等兵曹の死體は三十一日午後二時五分能登呂に收容され同艦は同夜通夜を行つた尚小野少佐の死體は尚行衛不明である

酌婦の逃亡

市內御勝街二番地料理店新月抱へ酌婦千鳥こと坂田チズヱ（二二）は三十一日午後八時ごろ無斷家出したまゝ行方不明となつたので樓主より一日朝小崗子署へ捜査願ひ出したが坂田チズヱは去る五月十三日も逃走內地方面に赴いて居つたのを最近發見漸く連れ歸つたばかりである

市民納涼大會賑ふ

電氣遊園下の北律時報主催の市民納涼大會は大連市役所の後援の下に場內の設備を整へて開場して以來連夜、散步客の入場で賑ひ演藝場の餘興ダンスは人氣を集めその他遊戲、賣店飛瀑等により常盤橋畔に夜の快樂場を出現してゐる

自動車業組合總會

過般創立した大連自動車業組合は一日大連興講堂に於て第一回總會を開催し組合豫算及び一部改正規約の承認監事一名補缺選擧其他事項を附議協議する筈

俠艷一代男 (12)

米田華紅 作
伊藤幾久造 畫

神田祭の夜(十二)

加賀鳶の鐵太郎は、明神下の忍亭を出ると、そのまゝ眞直ぐに本鄕の加州邸へと向はないで、裏路から湯島横丁へとそれ、神田河岸について、お茶の水聖堂前へとぶらり/\と歩いて行つた。

ほんのりと醉が出た頰へ、河を渡る夜風が涼しく、さすがにこの邊、江戸一の神田祭の晩とは云へ人通りも稀で、たゞ遠音に囃子を風が運んできた。

土堤の柳、河面を越した向ふの空ぼうと明るく街の灯が滲んで、西神田と覺える一圓からあちこちに矢張陽氣な馬鹿囃子の音が聞えてゐる。

聖堂の森がこんもりと暗く、行手は櫻の馬場を越して、一面の邸町であつたが、遙か向ふからポッカリと狐火のやうな提灯が一つ、ふわ/\とこちらへと歩いてくるらしかつたが、それも馬場から右へ曲つたと見え、影を消してしまつた。

鐵太郎は急に何を思ひ出したか!つかつかと路をそれて、神田川を見下す土堤へと上り、古い柳の根株へと腰をおろした。

底深い溪のやうに、流れは音もなく、一層に暗い闇を湛えて、微かに光る星の影をまばらに映してゐる。

腰から拔いた黒さんとめの煙管入れ、細割り籐で組んだ一樂の煙管筒からすつぽりと延べ銀の煙管を拔いてかち/\と燧石を切つた。

いなせを誇る加賀鳶の持物としては、鳥渡似つかわしくない野暮臭い所もあつた。

暗い河面をジツと見詰めながらすぱりすぱりと白い煙を吐いて居つた。

二三服、立て續けに吸ふと、ぽんと腰わきの根株で、火玉をはたいた。

ずつと河下から向ふ岸の明るい街の灯を見てゐるうちに、彼の胸には數年前、故鄕金澤の御城下町夏の夜の納涼地である淺野川原から大橋、東の新地の賑やかな、可懷しい思ひ出が蘇生つてゐた。

「早えもんだ。故鄕を飛出してから、もう彼此六年になる。潮の水泳世話役であつた依田八左衛門どのも、浪々して未だにお行方が判らぬと云ふが、あの折十六……さうだ。十七、八……」と、彼は指を折つて數へながら「娘のお千賀どのも今年は廿一。嫁入り時は過ぎてゐる。どこぞへ片づいて、丸髷姿に世話女房振か?それとも武家の奥方に納まつて居ることであらう!」

初々しい娘千賀の美しい姿が、眼先をちら/\した。

鐵太郎は、夏になつて、河の流れを見る度に屹度思ひ出すのは、その昔、淺野川で泳ぎの手解きを受けた依田八左衛門のことで、それと一緒に町中で評判なその娘、千賀のあどけない姿である。

明らかに、お互の胸のうちを語り合つた仲ではないが、眼が、素振が、心の思ひを結びつけてゐた

「お千賀どのも……」

深い息、暗に吐きながら、味氣ない想ひに胸を締めつけられるやうに感じたが

「えいツ!いつ迄も若侍の浮いた氣持でゐられる年か?」と、おのれで意氣地ない考へを拂ひのけるか?、頭を横に振りながら「加州の火消仲間の思ふこつちやねえ」獨りで、淋しい薄笑ひを洩らした。

行手に擴がる暗い鄕町の丘の方を眺めてゐると、またしても想ひは故鄕の卯辰山に似てゐるやうに思ひなされ、遠く近く聞える山車や屋臺の囃子さへ、金澤石浦神社の祭禮、五色の幟をかけた彌彥婆の山伏の練物がまざ/\と浮んでくる。

「どれー」と、鐵太郎は今この想念を拂ひ退け、思ひ切つて、そこから腰を上げやうとした。

その時、湯島横丁の方から此方へと肩を並べて歩いてくる二人連れ。姿は判らないが、どうやら聞き覺えがあるらしいのに、ハツとして耳を立てた。

第二回レコード演奏會曲目

八月二日(土曜日)の電氣遊園音樂堂に於ける第二回レコード演奏曲目は左の如くである

▲童謠の部 一、すずめ、澤田信夫、二、ザクザク兵隊さん、北爪玲子、三、汽車、諏訪富子、かくれんぼ、雨、ラクダ、お馬、原田みち子、四、嫁樣人形、晩げになつても、名古屋御人形園生徒、伴奏松阪屋トリオ、五、時計さん、月に浮かれて、とんぼ、村祭り、原田みち子、六、スマイル行進曲、本居みどり、花と子供、本居若葉、七、帆かけ船、ノミとり、本居若葉、八、夕やけ小やけ、佐藤怡子、九、犬のお芝居、名古屋のお城、草野ワカ子、十、水邊の蟲の樂隊、澤田信夫、十一、はよはよかへろ、たんぼ田の道、清水三七子、十二、いくさごつこ、動物園、清水三七子

▲洋樂の部 一、吹奏樂、ワシントンゲレの行進曲、ロイアルカール吹奏樂團、二、同、陽氣な農夫、懷しのオーグスチン(ワルツ)コロンビア獨逸吹奏樂團、三、同、お巡さんの休日、英國航空隊附吹奏樂團、四、同、ロシヤの村落より(描寫的間奏曲)同、同、五、フオツクストロツトピユーグル、ユール、ラツグ、テツド、ルイス、バンド、六、管絃樂、夜明の三時、インターナショナル、コンサート管絃樂團、七、同、輕騎兵、コロンビア、コンサート管絃樂團、八、交響管絃樂、ジプシイ、バロン、ウオルター指揮交響、絃樂團、九、同、アイダ大行進曲、スカラ座合唱團、ミラン交響管絃樂團、十、同、第五交響曲(新世界より)其七、其八、ヘルレ管絃樂團、以上

大連 JQAK

八月二日午後七時半

自午後五時三十分日本大相撲(連絡放送)

▲獨逸語講座「第五課」大連語學校講師荻榮

▲ピアノ、ヴアイオリン合奏「花咲く牧場」大連高等音樂學院ピアノ照井くみ子、ヴアイオリン村岡樂童

▲舊喜劇「命の安賣」二幕(第一酒屋丹羽屋九兵衛の店先)(第二米屋泉屋九助の店先)酒屋丹羽屋九兵衛(龍蝶)女房お光(國男)番頭九助(好蝶)丁稚德造(三郎)坊主但念(五俵)米屋泉屋久助(室正)若者重吉(五ン平)岩屋加賀屋佐吉(山地)稽古屋おさん(君子)浪人大野平馬(五郎蝶)

▲尺八「青海波」都山流辻恭正、宮地恭風

大河內傳次郎の北海道行を大日活から撮影所に問ひ合したところ▲九月の間違ひだと返電があつたからファンは御安心あれとのこと▲それに女優には本紙に連載した「この母を見よ」の主演者確花久子も來連することに確定した模樣である▲常盤座の土生青兒が「歸鄕」を持つて沿線に行き漫談をやると力み返り映畫街の度膽を拔いてゐる▲內地から相當な解說者が二人來て就職口を求めて步いてゐるとか大日活の室町司郎はけふから「沓掛時次郎」をシヤベル▲電鐵下の市民納涼場のフラ/\ダンスのエロが納涼客の人氣を集めてゐる▲見て來た人に言はすとダンスは與太だがいゝ身體をしてゐる木とは宣傳屋の思ふ壺にはまる

◇◇珍婚世界漫遊記◇◇【常盤座上映】

ジョニー・ハインス主演のナンセンスな旅行記で上山草人が特別出演してゐる

第九回滿日勝繼碁戰(勝四回目)

井上氏(三回)先二二子番 高本吉郎氏 井上太市氏

—【1】—

○一レの四 ●二への十六 ○三ホの十七 ●四ヨの三
○五ヲの三 ●六レの七 ○七タの六 ●八タの七
○九レの六 ●十レの三 ○十一ソの三 ●十二タの四
○十三レの二 ●十四レの五 ○十五タの三 ●十六ソの四
○十七タの五 ●十八(十の處に劫提る) ○十九ソの五
●二〇(一の處に粘ぐ)

▲都筑四段伊藤三段合評 黒八は十に頂け白九のとき十二に聯れ白十九黒十六白(い)黒十四白(ろ)と打つ定石に從ふべく、白十三惡し單に十九に掛粘くべし白十七の截惡し十の處に粘くべし其時黒十七白(は)黒十九白(に)となりて黒が惡くなります

滿洲日報

最新刊
佐藤紅緑著 少年讃歌 實價一圓五十錢送料十錢
清浦俱樂部著 麻雀入門 實價九十四錢送料六錢
松川三郎著 奇風俗を尋ねて 實價一圓八十九錢送料十錢
雜賀勝治著 新天地を求めて 實價二圓六十二錢送料十錢
十一谷義三郎著 唐人お吉 實價二圓四十七錢送料十錢
布施勝治著 支那國民革命と馮玉祥 實價二圓七十八錢送料十錢
山北太郎著 蒸氣利用模型の作り方 實價二圓十錢送料十二錢
大妻コタカ閲 可愛らしい子供服 實價七十八錢送料六錢
田中唐三著 新東京が見物 實價一圓五十七錢送料十錢
三省堂編輯所編 新制法令集 昭和五年度版 實價一圓八十九錢送料十四錢
竹田有秋著 燃ゆる伯林 實價一圓三十六錢送料十錢
報知新聞經濟部編 經濟相談 實價一圓五十七錢送料十錢
守田有秋著 自由戀愛秘話 實價一圓五十七錢送料十錢
守田有秋著 變態性慾秘話 實價一圓五十七錢送料八錢
姉崎正治著 切支丹宗門の傳道興廢 實價六圓八十二錢送料卅六錢
新天地社版 滿蒙事情十六講 實價一圓五十七錢送料十錢
貫司山治作 靈の審判 實價一圓五十七錢送料十錢
新川いわ子著 研究會挿話 實價一圓八十九錢送料六錢
立野信之著 情報 實價三十一錢送料六錢

最新刊
檜六郎著 商工農業者は沒落か更生か 實價一圓六十八錢送料八錢
宮伏高信著 田園工場 實價七十三錢送料八錢
室伏高信著 文明の沒落 實價七十三錢送料八錢
大泉黒石著 峽谷と温泉 實價一圓二十六錢送料六錢
朝日政治經濟部 海軍縮小の話 實價五十二錢送料四錢
新興映畫社著 プロレタリア映畫運動の展望 實價一圓三十七錢送料六錢
久保寺三郎著 プロレタリアと日本の財政 實價一圓三十七錢送料六錢
雜賀勝治著 新天地を求めて 實價二圓五十錢送料八錢
守田有秋著 自由戀愛秘話 實價一圓五十七錢送料八錢
青木純二著 山の傳説 實價一圓八十九錢送料八錢
田中唐三著 新東京が見物 實價一圓五十七錢送料十錢
吉田絃二郎著 人間一茶の生涯 實價一圓八十九錢送料十錢
山崎延吉著 農道説話 實價一圓五十七錢送料八錢
荒川實藏著 史的唯物論入門 實價一圓三十七錢送料八錢
日本講談社著 日本温泉案内 實價五圓二十五錢送料十四錢
木全電太郎著 中國音聲報 實價一圓五十錢送料四錢

社說　共産黨匪の歸趨
結局は土豪劣紳普通軍閥に還元

[illegible]覺羅の清朝政府に對し五族[illegible]を標榜して漢民族の革命が絶[illegible]れ、ともかく易姓革命が達成[illegible]れたが近代的國家への國民革[illegible]容易に完了せられず、今あた[illegible]達成への途中にあり。然るに[illegible]ロシアの使嗾に躍動せられ[illegible]産革命の兇暴が行はれ、江西[illegible]に暴威を振ふ。革命といへば[illegible]革命のみと思つてゐた支那に[illegible]革命あり、さらに共産革命に[illegible]せんとするものありとは、こ[illegible]た支那の地理と歴史とを物語るものといふことが出來る。國民[illegible]に更生せんとするにあることと[illegible]は國民の革命であり、近代的[illegible]であるが共産革命となれば超[illegible]的、たゞ階級意識を尖鋭にし[illegible]產階級の天下に統制せんとするのである。

[illegible]讀、國民革命の達成さへ不可[illegible]現代の支那にありて一足とび[illegible]産革命などいふことが可能であらうか、どうか。さすがのロシアにあつてさへレーニンの十月革命以來、幾曲折を餘儀なくせられ[illegible]産革命である。それが五千年の歴史を有する漢民族に可能であるか。われらには大なる疑問がある。ロシアの農民のそれの如く國民革命の自覺さへ持ち得ぬ多數の無智な無產者の存在することは明かである。この無智な無產者の多數を拉束して階級闘爭に出るとは當初において相當の成功を收め得るかも知れぬ。併しそれはロシアに於て經驗した如き幾多の曲折あることを知らねばならぬ。而して結局は、國民黨の人々が今日なほ一般民衆の實生活には無交渉に軍閥の抗爭を敢てしてゐるやうに彼ら共産黨の人々も觀念上の階級闘爭に徒らなる暴行を行ふぐらゐが關の山といふことに墮するのではないか。

昨日も論じた如く、放火、劫掠を敢てする共産土匪、これ共産主義の最も小乘的なる一面を暴露したものではあるまいか。殊に支那には、すくなくとも支那の農村には資本主義的組織の經濟的機能を認むべくもないのである。上海の如き都市に到れば外國經濟の延長としての資本主義經濟組織は認められるけれども、年々土匪草賊に掠奪され、所在から苛斂誅求される地方の農村は、しかも全く原始的ともいふべく、資本主義的の經濟組織を認むべくもなく、そこに無產者の共産主義運動といふことは怪しきものといふべく果して成立し得べき觀念であらうか否か疑はざるを得ぬ。果して然らば共產革命なるものが一般民衆に自覺なき觀念上の抽象名辭なるが如く、この共産土匪なるものの共產を標榜するところは事實に立脚するにあらず、ただ放火、劫掠の口實として財貨を奪ふ口實として、ロシアよりの繹譯運動に過ぎぬものではあるまいか。すなはちロシアが煽動使嗾するところと支那共産黨の實行するところとは必ずしも一に觀念上のものにあらずといふことも出來やう。

[illegible]は兎もあれ共産黨匪の兇暴するところ放火、殺人、劫掠、ただ破壞のみあつて建設もなければ光明もない。かくて彼らが、結局土豪劣紳を驅逐し、また蔣介石、閻錫山らの地方軍閥を打倒したところで、結局、彼らもまた第二の土豪劣紳となり地方軍閥となることは火を見るよりも明かである。木乃伊とりが木乃伊となることは支那民族の性能からして當然の歸趨といはねばならぬ。辛亥革命以來、革命の目標とするところ漢滿蒙藏回の五族であつたり、近代的國家への更生であつたり、いろいろに變化して行くけれども支那民衆の現實生活には何らの變化もなく、否、却つて戰禍、匪禍に見舞はれ些の安定をも期することが出來ぬところに重ねて湖南、江西方面の共產禍といふものを見るに至つたのである。政治や經濟の根柢が動かぬから、その上に築かんとする主義、思想も架空の抽象的觀念に終り、そこで主義の假面を以て良民を脅威し放火、劫掠、殺人の悲慘事のみを敢てするに至つたものに外ならぬ。されば或はこの共產土匪、長髮賊ぐらゐの活動はするかも知れぬが、また非常に勢力を得れば、ただの土豪劣紳ただの軍閥と還元すること支那の實情に照して想像するに難くないが、それにしても三民主義も共産主義も知らず、ただ放火、劫掠、殺人のみを目撃せしめらるる地方の良民には同情せざるを得ない。而して、これが責任は年中行事として抗爭に腐心沒頭しつつある南北の軍閥に重大なる責任ありといはねばならぬ。」

共産軍が各地に蜂起し 漢口、九江を目ざし進撃
わが外務當局事態を重大視し 南京政府の注意喚起

【東京三十一日發電通】支那共産軍の蜂起は長沙兵變に次いで各所に現はれ平漢線に漢口を目指して南下する一隊あり湖南、湖北、江西各地にも諸軍蜂起し萍鄕、宣春、南昌を經て九江を衝かんとする軍もあり事態は頗る險惡化したので外務當局は若し漢口、九江が共産軍の手に歸せば事態は頗る重大化すべしとし今明日中に南京政府に對し在留邦人の生命、財産保護につき遺憾なき保障を與ふべきやう嚴重な注意を喚起することゝなつた

農式操典と戰術に依る赤軍である なほ各地攻略分擔左の如し
一、長沙占領軍　赤軍第二軍賀龍、第五軍彭德懷
一、南昌占領軍　第四軍光澤東、第三軍蔡申熙
一、武漢攻略軍　第一軍許繼愼、第六軍滿繼助第八軍黄公略

危機刻々迫る漢口

【漢口卅一日發電通】平漢線の共匪軍は破竹の勢ひで漢口に迫り長沙の共匪軍は益陽に正規軍を追撃中でその氣勢益々昂り武漢も何時如何なる事件勃發するやも測り難い、漢口警備司令部は昨夜來戒嚴令を布き六臺の鐵甲自動車は市中を警邏し水上署は武裝巡邏船九隻で警戒して共産軍の襲來に備へてゐる、一方明日早朝を期し共産黨の總動員說あり人心は益々不安に襲はれてゐる、なほ共匪軍は六路に分れ漢口に向ひ進擊しつゝあると

米砲艦共匪と交戰
米兵五名共匪卅名死傷

【上海三十一日發電通】アメリカ艦隊入電に依れば長沙の共産軍は今朝突然同地碇泊中の米國砲艦カロス號に一齊射擊を浴びせ米水兵五名負傷した、艦長は直に砲火を開き應戰し遂に共匪を沈默せしめた共産軍の死者約三十名の見込みであると

長沙事件公報
米內司令官報告

【東京卅一日發電通】長沙三十一日發海軍省着電＝米內第一遣外艦隊司令官報告によれば
一、日本領事館は二十九日午前九時放火のため公館のみ燒失せるも事務所建物は殘り、中の島の建物は全部完全に掠奪さる
一、邦人の住宅店舗の狀況は未だ明かならざるもいづれも概ね掠奪を受けたるものゝ如し
一、何健軍は湘潭、岳陽兩方面に離散し當分長沙の秩序回復の見込みなし

我驅逐艦出動準備
海兵團陸戰隊命を待つ

【佐世保三十一日發電通】長沙における共産軍の暴逆に依り長江筋の形勢いよいよ險惡なるものある に依り帝國政府は驅逐艦數隻を出動せしむることゝなりその筋の命に依り當軍港碇泊中の柳原中佐の率ゐる第二十四驅逐隊檜、樅、桃、柳四隻は軍需品を満載し近藤大尉の率ゆる海兵團陸戰隊三百名を搭載し命令一下今夜にも出動し得るやう準備を整へ命令を待つてゐる

共匪軍陣容

【北平卅一日發電通】支那各地に暴威を揮ふ共産軍は約二十萬で十六軍に分れ多くは土匪軍なるも統制ある指揮の下に精銳な武器と彈藥

戰禍を忘れて 豐穰を祝福
軍費を搾取される民衆達
鄭州にて　一記者

◆…苦熱の平漢線を一路鄭州に下る、一週二回しか發車せぬ、この列車は溢るゝばかりの議員、反蔣派の政客、黨員、軍人等々慌だしい動亂地を卅年式のスピードで飛び歩くのだが太原に鄭州に果して何を語らうとするのであらう?

◆…沿線の一物に眼を放てば本年の七月は雨澤風順ですべての農作物は稀有の豐稔、殊に西河北省の棉花は數年來の凶作の後に非常なる出來榮えを現はしてゐる、米穀の作づけ反別が更に年々增加されてゐることが、惡よりも明かに見ることが出來る、今後の天候さへ順當ならば今秋の出廻り期における地方民の財囊はその他の農作物と共に久振りに太ることであらう、故に農民は戰亂を他所にして喜色に包まれてゐる。

◆…しかし長引く戰ひに斃れる閻錫山氏の軍費搾取は馮軍閥時代よりも甚だしく世人をして若今後一ケ年同氏にして局に當らば北支那數省の現銀はすべて山西の山中に藏ひ込まれんであらうと噂せらる、巧妙に拘束せられてゐる、また山西省銀行の兌換券で現銀が山西へ搬入さるゝのみでなく今や北平以南では戰時通用票の强制通用が行はれてゐる、即ち反蔣軍治下では一切右の通用票でなければ乘車宿泊は勿論、お茶一杯さへ飮むことが出來ない、武力で强制的に通用せしめるので軍票に市價なぞあらうことなく凡ゆる機關は現銀でなければ通用票しか受取らない爲め一切の兌換券はすべて不通であるから不便である即ち戰時通用票なる印刷物で現銀は勿論あらゆる內外各銀行の兌換券をも山西へ集めて了ふといふ肚らしいがこの點は到底奉天票の比でない、ただ戰後國民が果してこれを如何にして整理するかゞ注目される一問題だ。

◆…彰德、順德、新鄕方向は石友三軍の守備區域で漸く戰時氣分が濃厚になる、汪精衛氏歡迎の標語や、閻總司令不死、民衆の苦痛を除く爲め蔣介石を討伐する等とのビラが各驛に貼り出されてゐる石氏は今曹縣に在つて交戰中だと停車場の守備兵は語つてゐた、沿線のこれ等の軍隊の日本人に對する感情は極めてよい、北平から二十六時間で鄭州につく、鄭州は戒嚴令下に飛行機の來襲を防ぐ爲め電燈は消されて眞黑闇だ、嚴しい警戒は一々旅客を鄭重に誰何するが孰れも懷中電燈を持つてゐるので、夜の市中は懷中電燈の行列だ【寫眞(上)は前線へ送る食糧を積んだ鄭州驛(下)は北平擴大會議を代表し將士慰問の單振氏(下)は隴海線開封における傷病兵】

共産軍の下江は絶對不可能
南北戰局に影響せず

【東京電】共産軍の長沙、九江占領に依つて時局が急轉直下的に變革されるものと一部では觀測してゐるが各地の情報を綜合するに隴海線において閻軍對峙し津浦線においては中央軍が積極的行動に出で飽くまで濟南奪回を目論でゐる又一方中央軍は南京に二ケ師の豫備隊を有し且つ海軍を持つてゐる關係上共産軍の下江は絶對に不可能とされてゐるので南京政府は寧ろ本年一杯持久戰を繼續し北方の財政的窮乏に依り屈伏するのを待つと

わが陸戰隊二百名出動
驅逐艦浦風にて

【佐世保三十一日發電通】鎭守府着電南京に在つた驅逐艦浦風は上海に在る陸戰隊二百名を上流に輸送すべく本日下江した

共匪軍の活動は蔣氏に一大打擊
わが陸軍當局の觀測

【東京卅一日發電通】長沙事件に關し陸軍當局は語る
共産黨が大々的活動を起すであらう事は二、三ケ月前からこちらでは豫想してゐたそれ位基礎の確實なものであるから恐らくは從來の長髮賊位の事はやるだらうし差し當りの問題としては武漢方面の占領などは時日の問題だらう又蔣介石氏の運命も當面の戰爭よりもこの方で危いといへるだらうこの暴動に對しては陸軍は關係外で現に海軍や外務省からは何等の相談もない

多年苦心の結晶 瞬時にして烏有
避難邦人の實見談

【漢口卅一日發電通】長沙避難者中の山本洋行支配人佐々木梅二氏は長沙兵變當時の狀況を語る
突嗟の場合でどうすることも出來なかつた、しかし官憲の機宜の手配で婦女子四十八名は動亂發生に先立ち中の島に避難させたので大助りであつた、二十日いよいよ駄目と知つて糟谷領事以下邦人は全部中の島に避難した、廿七日夜八時頃城內に銃聲起るや瞬く間に阿鼻叫喚の巷と化し省政府、公安局の燒打ちなど物凄い光景が引續き展開された、假道と思つてゐた我等は裸一貫、女子供は着のみ着のまゝで避難した、不安の一夜を眠りもやらず明かして長沙の形勢を案じてゐると二十八日には避難先の中の島まで危險となり檜丸軍艦二見に收容され下江の途中三崎で何事も知らず上江する沅江丸に會ひ急を告げて靖江に下り一同は同船に移乘した廿九日熱海、小鷹兩艦が來航して我々はホツと安心もし保護の有難さをしみじみと覺えた、小鷹の活動で長沙の模樣も刻々判り同日は兩艦內で協議した結果長沙回復の見込もなく一先づ漢口に避難するに決した、長年築き上げた汗と膏の結晶が一瞬にして消え失せたことは殘念である

邦人廿一名

【漢口三十一日發電通】長沙兵亂當時の同地居留邦人は百十三名で糟谷領事以下男子二十一名は今尙靖江に避難して踏止まつてゐる

洮昻滿鐵顧問 事務引繼

洮昻鐵路局顧問滿鐵派遣代表足立直太郞氏は過般來同鐵路局に對し顧問辭任の手續き中であつたが今度愈々圓滿裡に退職することゝなり同氏は兩三日中に洮南出發歸連の豫定だといふ、後任者石原重高氏は三十一日ハルビン出發一日洮南着足立氏と事務を引繼ぐ筈

中央軍二萬 青島方面に輸送
汽船十一隻に分乘し

【南京卅一日發電通】南京にあり形勢の推移を見てゐた中央軍二萬は十一隻の汽船に分乘せしめられ卅日青島方面に急遽廻送された

北方政府の樹立具體案協議

【北平卅一日發電通】北方政府組織問題は張學良氏の態度不明のため一時停頓したかに見えたがその後孫傳芳氏を通じて奉派の意嚮を確めた處張學良氏の北方政府即時加入は環境上困難なるも十分好意を持つてゐる事判明したので最短期間內に政府を組織すべく各種の準備を進める事となつた、汪精衛鄒魯の左右兩派領袖も奉派の態度如何に依り政府樹立を遲延せしむるは不可なりとの意見で汪氏は今朝自宅に各委員の參集を求め政府組織の先決具體案を協議した

韓氏の下野 通電內容
膠濟線軍事解決

【青島特電三十一日發】韓軍が俄然總退却を開始し大部隊を高密に集結し戰線を漸次膠東に及ぼして來たので青島では今後の行動につき多大の注意を惹いてゐるが、今次韓軍の退却と同時に韓復渠氏は濰縣から南京政府、蔣介石、譚延闓、閻錫山、馮玉祥、汪兆銘、張學良諸氏に向つて下野通電を發したその內容は左の通り
自分は元來戰を好まず人民の苦しむを見るに忍びず今直山西軍の進擊急のため事情止むなく今日まで戰ひを續けたのであるがこれ以上戰ふの意志はない今後國家のため人民の苦しみと部下を救ふために下野し政策上外遊する

吉林市政籌備處長 永租問題て更迭

【吉林特電一日發】當地政界の消息に依れば先程商埠地永租問題で問題を起した吉林市政籌備處長劉樹春氏は省政府要人間に圓滿なる施政出來得ざる理由を以て省政府主席張作相氏は氏を長春市政籌備處長に轉任せしめその後任には現長春市政籌備處長周玉柄氏を轉ぜしめ以て圓滿な施政を行はしむると

條約精査は今月上旬中着手
二日中に委員を選任

【東京三十一日發電通】鈴木翰長は三十一日午後一時半二上樞府書記官長と會見樞府の條約下調狀況を聽取し精査委員の人選につきその意向を質した、なほ樞府の下審査は二、二日中に終了し二日中には精査委員を決定し遲くも來週七八日頃までには第一回精査委員會の開催となる模樣である

下審査續行

【東京三十一日發電通】樞府のロンドン條約下審査會は三十一日も午前九時半より續開條約の實質的部分なる補助艦制限條項につき愼重な審査を行つた、明一日も續開

專賣局運轉資本
證券發行限度擴張か

【東京三十一日發電通】專賣局は現在一億一千萬圓の据置き運轉資金で經理してゐるが最近專賣事業の著るしき擴張のため据置き運轉資金も漸次膨大となり一億一千萬圓の限度を以ては賄ひ得ず本年度に入つては本年度收納現金を以つて据置き運轉資本の不足を補足する變態的處置を以て遣り繰りしてゐる昨年末も年度初めの五月末に八千萬圓の同證券發行を見たの端を開き今年は年度初めの五月末に國庫金窮乏は明年度においては益々甚だしかるべきは明かである爲め專賣局は同證券即ち大藏證券發行限度擴張方を考究中であるが來議會には法律を改正して一億一千萬圓限度を一億四千萬圓に擴張するに方針の決定を見た

東鐵の買收案は 今回は提出せぬ
正式會議は必らず今月開く
露支會議秘書王煥文氏談

【ハルビン特電一日發】東鐵恩給課次席でモスクワ露支正式會議の秘書たる王煥文氏をグランドホテルに訪問すると氏は會議の狀況について語る
七月廿三日モスクワから歸還しその足で吉林へ向ひ二十八日午後歸哈、一日北平へ行く、私の歸還して來たのは母が病氣で北平に住んでゐるので休暇を得て歸つたのである吉林へ行つたのは一寸友人に會ふため(確聞すると莫全權の重要書類を携帶し張作相氏に傳達したらしい、そして東北政權では莫全權のこの最後的意見書に基き直に幹部會議を開催し回訓を與へる模樣である)であつた、モスクワの正式會議は國民の與論である中東鐵路問題を根本として討議することに目下豫備交渉の進行中で、正式會議は八月に必らず開催されることを確信する大使の交換、國交の全般的恢復、通商問題等は大使を正式に交換して後に折衝するかどうか、勿論

大使交換

後とするを合法とは考へるがその點については今說明の自由を與へられてゐないので遺憾ながら言明しかねる中東路の買收案は中華國民の希望ではあるが、日本及びロシヤとは隣接國家として互に親善關係を保持せねばならぬから今回の會議には提案しないことに決定した、北平の擴大會議に北方新政府の樹立が正式會議に及ぼす影響?新政府の政治方面のことは知らぬが、勿論南京政府の使命を受けてゐる關係上事實困難な立場にあるそれがために會議は

決裂する

ものとは想はれない、然し會議がいつ終了するかは今の處見當がつかないと答へるより外に全然判らない、會議が斯くの如く遲れたのはソウエート政府の黨大會その他ロシヤ側のためにあり他に何等の原因はない
私の北平行は八十二歲の老母の病氣見舞のためで決して北方新政府の狀況を視察するためではない北平からは直に引返し再びモスクワに向ふ北平滯在はさう長くないだらう

樞府の審議を公正會注視

【東京三十一日發電通】貴族院公正會はロンドン條約樞府審議の經過に深甚の注意を拂つてゐるが條約兵力量の缺陷補充は豫算に關係するを理由として政府が現下豫算編成の困難なるに際し缺陷補充に如何なる誠意と方途を探らんとするかを確めて置く必要あり、然らざれば條約は成立するも國防は缺陷ありと軍事參議院の決定を見た以上放置さるべしと論じ暑休中途と雖も政務調査總會を開いて政府に質問をなすかも知れぬ模樣である

莫全權の許へ 運轉手を派遣

【ハルビン特電一日發】モスクワの莫全權から支那人自動車運轉手一名の派遣方を照會して來たので近く派遣されるが、これは機密漏洩を防ぐためである

陸軍の定期異動

【東京一日發電通】夕刊所載、陸軍定期異動續き

待命

第十六師團長　中將　松井兵三郎
第三師團長　同　小泉六一
第十二師團長　同　金山久松
第五師團長　同　原口初太郎
第二十師團長　同　上原平太郎
下關要塞司令官　同　川田明治
臺灣守備隊司令官　同　篠田次助
大阪工廠長　同　三輪時雄
兵器本廠長　同　村瀨文雄
航空本部補給部長　少將　玉置美之助
騎兵第二旅團長　同　原田宗一郎
第十六師團司令部附　少將　蘆澤敬策
野戰重砲兵第一旅團長　同　波藤雅信
科學研究所第二部長　同　鈴木貞造
步兵第六旅團長　同　山田勝康
工科學校長　同　本庄繁三
步兵第十三旅團長　同　黑坂靜一
步兵第十四旅團長　同　倉茂三藏
步兵第二旅團長　同　松井榮雄
基隆要塞司令官　同　藤本恒治
對馬要塞司令官　同　垣內豐楠
步兵第二十四旅團長　同　黑田周一
舞鶴要塞司令官　同　青柳和夫
津輕要塞司令官　同　松村乙二
憲兵司令部總務部長　同　出口永吉
兵器本廠附　少將　櫻井忠憲
技術本部附　同　森下正
同　中將　西山恒夫
同　同　松井七夫
同　同　廣山貞吉
同　同　林彥一
同　同　久木村十郞次
同　少將　蟹江多藏
同　同　堀池末雄
同　同　萩原勝千代
同　同　中根正常
同　同　鈴木松之助
同　同　長岡正雄
同　同　名越時中
同　同　今井信夫
同　同　村田凱一
同　同　大村幹太郎
同　同　大屋數正平
同　同　和田忠
同　同　名井孝義
同　同　藤野嘉市
同　同　一色留次郎
同　同　中村古
同　同　別枝嘉助
糧秣本廠長　主計監　佐藤金治
朝鮮軍々醫部長　軍醫總監　石川清人
第二十師團軍醫部長　軍醫監　出射一郎
廣島衞戍病院長　軍醫監　國友國
大阪衞戍病院長　軍醫監　戶塚綽
第十師團軍醫部長　軍醫監　大野久次郎
第六師團軍醫部長　同　岡本晴一
第十二師團獸醫部長　獸醫監　伊地知長生
待命被仰附(各通)

北寧支線 復線工事
九月初旬起工か

東北交通委員會では高北寧鐵路局長より東省各線において最近鐵道の擴張見るべきものあるがこれを他鐵に比較するときは運輸上の不便と設備上の不備なるため成績は必ず降低と對抗するには先づ北寧鐵路の打通支線及び藩海子より溝北に至る支線とを複線に改修する必要ありと建議し目下これに對する審議中なるも一方高局長は既にこれに要するレールを西門子外貿易公司に購入方契約したとも傳へられてゐるが交通委員會の許可を受くれば九月初旬工事に着手するものゝ如くである

滿蒙日本人紳士錄

水產講習會

關東州水產會では小學校敎員の水產知識涵養の爲め來る八月二十日から三日間大連老虎灘水產試驗場に於て旅大小學校職員の水產講習會を開設主として敎科書に現れた水產物に關し姉帶技師其他諸氏の講演があると

緒方領事哈市出張

【ハルビン特電一日發】緒方滿洲里領事は一日要務を帶び來哈した

うらる丸

(二日午前七時半大連港外着豫定)

帽子

今日まで冬帽子で通してゐる小村拓務次官が支那料理屋に行つてゐると女中が築町の帽子屋さんからお電話ですといつて來た▲いくら冬帽子を被つてゐるにしても帽子屋から電話とは解せぬと自から出て見ると「社會局の失業防止委員會に出るかどうか」の問ひ合せだつた▲流石の次官もふき出して「どうも人並のことをしてゐないと氣がとがめる、時に君、帽子の易い麥稈帽はないか」▲三十日正午神戸にてうらる丸に乘込んだ幣原石總裁「熱い熱い」といひながら夏服を和服に着替へ絽の羽織に絽の袴まで着して、サロンに出たまではいゝが袋足、片足は靴下「ハーウ、何と妙な顏をしてフト氣づくと片足は白足袋一つ▲總裁げたのを見ると白足袋一つ▲總裁を追ふて來たボーイが恭々しく捧げたのを見ると白足袋一つ▲總裁ろ暑いからなあ」と苦笑微苦笑【東京特電三十一日發】

商品

錢鈔
定期後場(單位錢)
寄付　高値　安値　大引
期近　三六〇　三六〇　三六〇　三六〇
出來高　期近　六十萬圓

現物後場(單位錢)
銀對金　銀對洋　金對洋
一時半　一二七三五　一二〇七〇
二時半　一二七三五　一二〇七〇
出來高(銀對金)(銀對洋)　四千圓

後場

綿絲(强調)
銘柄　約定期　値段　數量
福助　十月限　一二七四　一〇
同　十一月限　一二六三　六〇
同　十二月限　一二五三　六〇
出來高　百三十梱

神戸穀物(一日)
大豆現物　五五〇
先物　四五〇
豆粕現物　一五一
先物　三二〇
滿洲小豆　四四五
豆油現物　一八九〇

東京株式(長期)
銘柄　後場寄　後場引
東株新　一〇三一〇　一〇三〇〇
東新　九〇六〇　九〇七〇
五品中　不申　不申
先　六七〇　六九〇
豆信當、中、先(不申)　不申　不申
新　不申　不申
中　不申　不申
先　不申　九九〇

神戸期米
限月　後場寄　後場引
八月　二八六八　二八七〇
九月　二九六二　二九七四
十月　二九二四　二九二六

満日地方版

奉天

防腐工場を五人組强盗襲ふ
金票三百五十圓强奪

卅一日午後四時半頃蘇家屯防腐工場に五人組拳銃所持の强盗侵入し脅迫の上金票三百五十圓を强奪逃走した急報により奉天署から署員その他守備隊後援を得て犯人逮捕に着手したが發見するに至らなかつた、聞く處によれば同工場は同日賃金支拂日で丁度支拂最中來襲せる處によれば同工場の様子をよく知れるもの丶如く犯人逮捕も近きにあらうと觀犯人逃走の際日本人三名を人質として逃走せんとしたが鐵條網にかゝり威嚇發射して逃走したと

簡閲點呼
六七兩日執行

來る八月六、七兩日に亘り春日小學校に於て奉天警察署並に同總領事館管内に在留する鄕軍中本年の該當者四百名に對し簡閲點呼が執行されるが右に就き奉天署の兵事係では次の如き追憶と希望を語つてゐた

昭和四年度奉天の簡閲點呼に參會した人員は三百十五名で二日に亘り彌生小學校で執行されたが而して點呼參會者に令達された點呼令狀は一名の交付不能者も出さなかつた好成績を擧げたが點呼期日に至り參會者の無届不參又は遲刻者等が多數あつた爲め良好であつたとは云はれなかつた、本年は昨年點呼執行直前から其後に所在不明となり奉天署で捜査中未だ發見せぬものに令達された點呼令狀數通は交付不能となつて居るが點呼期日に於て參會者には左の諸點に注意を拂はれたいものである

一、參會者は必ず午前七時三十分以前迄に春日小學校に到着し係員に點呼令狀を差出されたし
二、本人病氣父母危篤其他止むを得ざる事情あつて參會し能はざるものは點呼期日前日迄に奉天署又は同總領事館兵事係に出頭し手續されたし
三、參會時の服裝は可成軍服を着用但し所持せざるものは禮を失せざる程度に於て質素に諸動作自在なるを可とす下駄履きは避けられたし
四、勳章記章存鄕軍人會員徽章の佩用軍人手帳裏面記載の內容品共携行せられたし

尙今回から簡閲點呼當日は多數參觀を希望すると

勤務演習中止
三十九名に通牒

陸軍省令によれば本年九月一日以後において勤務演習に召集さるべきものに對しては特別大演習、師團對抗演習、師團秋季演習等の特別の召集ある外は本年に限り勤務演習の召集を行はざることになつたが奉天署においても七月十日夫々召集令狀を發した九月一日勤務演習に出づべき步兵廿四名その他十五名合計三十九名は全部召集取止めの通牒があつたその代り秋季演習の但し書に該當するものは左記三十六名で一兩日中に令狀が發せられる筈である

▲九月廿七日 奉天步兵第卅三聯隊へ應召のもの 伊牟田繁、中田繁太郎、山木英雄、林三郎、吉田大次郎、萩谷不可止、笹原武義、金子満三郎、園野治三郎、金谷武義、大橋保永、柴田善作、齋藤酉松、深谷三男、吉田勉、齋新一、横山松江、永田常治、丸山龍之助、佐野正男、伊勢助雄、岩谷智、緒方貢、宇賀村新、長堀猪三松、吉田順一、増田政二郎、平林登巳夫、緒方五四郎以上廿九名

▲十月二日 海城野砲兵第廿二聯隊へ應召のもの 貝津秀吉、唐川樋右衛門、大穂滿、渡邊正作、上山秀行、村山弘幸、河合隆治、以上七名

遊覽列車の利用者を勸誘

毎日曜毎に奉天、撫順間を特別運轉を續行してゐた遊覽列車は滿鐵本社より採算上廢止方を要求して來てゐるが、これまで山紫水明に恵まれざる奉天市民のため折角運轉してゐるのを廢止するのはその通り容れるにしのびず奉天驛では何とかしてこの列車を利用し運轉を續行するやうに旅客の吸集策に奔走してゐるが從來十人以上の團體を五割引としてゐたのを五人以上と改め多數清遊客を勸誘することゝなつた

町の便り

二日午後七時半から滿鐵社員倶樂部に於て地方課主催で民族の發展と婦人と題する基督教婦人矯風會理事久布白落實女史の講演會が催される
◇
奉天居留民會では三十日評議員會を開き役員の選擧を行つた結果西卷豐之助氏が副會長に當選した
◇
三十一日未明春日公園内の公衆電話室に入り込み電話器を窃取せんとした曲者あり整備堅固のため目的を達せず逃走したが犯人について捜査中被疑者一名を檢擧し目下取調中

人事

▲山領鐵道部工務課長 卅一日大連より過奉安東へ
▲杉野元大連市長 卅一日歸連
▲森代議士 卅日京城へ
▲王家楨氏 卅日京城より歸奉
▲ロンバルヂン氏(訪日伊機操縦士)一行 卅一日安東より過奉北行

吉林

吾等の町を語る
目標は日華の共榮
滿洲に骨を埋める覺悟で
裕泰號 堀井覺太郎氏談

教育界より實業界に轉じ堅實第一主義で過去十七ケ年間吉林に於て一意專心貿易商を營み、其傍ら各種の社會事業に貢獻しつゝある堀井氏は現に居留民會副會長、商工會副會長、吉林輸入組合理事等の要職に在る
◇
私が 始めて支那に來たのは日露戰爭の始まつた明治卅七年の春で、それから第一次革命の時まで支那人教育に從事し、其後大正二年吉林に來たが吉林で最も着目すべきものは森林であり、私の專門が化學であるところから森林に關する化學工業を起したい希望を以て、奧地を實地に踏査して約千町步の森林を買收し其處を根據にして醋酸石灰を製造し、副產物として木醋や木炭を作る積りで準備を整へたものだ

處が 工事に取掛ると云ふ矢先に支那の林務局で私と同一案を立てゝ其近傍で作業するといふ、競爭の位置に立つては失敗に定まつてゐるから急に方面を轉じて砂金の買入れを手始めとし、特產物の輸出と內地商品の輸入とを始めたのが大正四年の冬で、それからも種々の變遷はあつたが今日まで輸出入共に經營を繼續して居る、殊に近頃になつて敦化に支店を設けたが金融機關も無く又日本金の通用せぬ所だから、輸入品代の決濟の爲めには土地の產物を買入れこれを輸出して日本金を手に入れるより外に方法がないので、益々輸出入兼營の必要を感ずる次第である
◇
特約 店は吉海、吉敦兩鐵道の沿線は勿論、松花江の支流に沿へる樺甸や、將來敷設されると云ふ吉五鐵路の沿線等にも設けて居るが、これ等の地方はその附近に收められて居る富源の開發に伴ふて輸出入共に相當邦人の爲すべき仕事が少くないと思つてゐる、此の地方にも段々と日本人が入込んで確乎たる根據を据へ、その地方の產物を輸出し、又日本商品の販路の開拓と維持とは自分等の責任であるとの覺悟を以て努力して貰ひたい、現在私は自分の仕事丈けでも隨分多忙であるが、微力ながらも輸入組合や商工會の仕事にたずさはつて各其目的の貫徹に努力して居るのは全くこれがためである
◇
過般 敦化から哈爾巴嶺を超へて間島に入り更に北鮮地方を視察したが、吉林とこれ等地方とは現在でも可なり關係を有して居るが、他日吉敦鐵道が延長せられて朝鮮鐵道と連絡するやうになつた曉には更に緊密の關係を生ずるに至ることは、今回の視察によつて確信を得たが、我等在吉邦人は今からその場合に處するの道を考へて置く必要があると思ふ、私は吉林より程遠からぬ所に數十町步の水田地を支那人から借りて朝鮮人に田地を經營させたことがある、是は全く鮮人へ援助の意味であつたが其成績が豫想以上に良かつたので之が動機となりその附近に更に數十町步の水田が耕されるやうになつた、此等水田經營は啻に鮮人の利益のみでなく其地主たる支那人も他の作物に比し非常なる收益となるので、內心喜んで居て利權を奪はれるやうに誤解して浮動を免れないのは甚だ遺憾である、此事は大いに研究すべき重大な事で意見もあるが後日に讓る
◇
以上 述べた通り我々の爲すべき仕事は支那の土地で支那人を相手にしてやるのであるから常に支那人と連絡をとり相融和して共同の發展を期せねばならぬ、仍て私は個人としても常にその趣意を以て進んで居り店員をもその方針を以て訓練して居るが、今回創設された商工會もその意味で大いに努力する決心である、私も既に六十歳超へた生の半を支那で過して居る吾々屢々歸國を勸められるが既に人が此土地を後にして歸つて行くやうでは、若い人々がどうして落着いて仕事が出來やう、如何にして我國と支那との經濟提携が出來やう我々は一旦滿洲に來た以上滿洲を埋骨の土と思ひ堅き根柢を築くとにお互ひ努力したいものである(寫眞は堀井氏)

熊岳城

小學兒童のキャンプ

滿鐵主催の溫泉聚落の傍先般來大連方面の少年團のキャンプ生活が營まれてゐたが八月十日より大石橋小學校兒童を二部に分ち河畔におけるキャンプ生活が營まれ聚落に引續き例年の通り十五日頃より熊岳城小學校及び幼稚園の林間學校が營まれ其他各地の少年團等のキャンプ生活がドシドシ營まれる計畫の由

撫順

必勝の意氣凄く 撫順滿倶軍出發
奉天の州外聯盟野球大會 愈々けふから蓋明

本紙の逸早く報じたる如く州外聯盟野球大會は愈々今二日より三日間奉天球場において華々しく開始される事となつた同大會開始以來既往三年間ぶつ續けにその覇權を握つてゐる撫順滿倶は四度その榮ある優勝旗を獲得すべく必勝の意氣物凄く

清水監督 に引率され森内、瀬野の兩投手に配するに捕手渡邊、森川、内野に野原、森川、高田、森、成松、外野に强豪尾崎、岡田、西山、出原の陣容を以て昨一日正午發多數のファンに送られつゝ征途に上つた

戰の結果は素より豫測を許さざるも撫順ナインの實力には本年も安東、長春網對幽はたたざるべく撫順の好敵手は雪辱の意氣燃へ本シーズンは元同志社の小島を昨秋は寶塚チームの中堅たりし香川、田村等豪の者を加へ得陣容全く一新せる

奉天滿倶 あるのみ、奉撫兩雄何れが覇を成すか、本大會における幾千のファンの興味はこの一戰に集注されてゐる、殊に本年撫順は安東、長春とは小手調べは既に終つてゐるが奉天とはまだ一度も相戰つてない事とて常勝軍撫順渠して臥薪嘗膽雪辱の壯圖燃ゆる奉軍の健棒を封じ得るか本年の同大會は上述の意味で近年になく彌が上にも州外ファンの人氣を唆つてゐる

武道土甲稽古 納會
卅日擧行さる

炎熱三週間連日火の出るやうな猛稽古に精進してゐた撫順武道部納會は三十日午後四時、永安臺新道場で擧行された、定例柔道幹事長の訓辭あり、本期間の皆勤者に賞狀賞品の授與、右終つて柔道部大懇親會を開き八時すぎ散會したが皆勤者氏名次の如し

劍道部(成年組廿一名 初年組十八名)
△成年組 宮澤、幸、河部、根北、篠川、海老名、田坂、佐藤、外村、水上、松田、是枝、石井、小石澤、守屋、高山、本村、濱口、森、中島、長岡
△初年組 田坂義文外十七名
精勤者
△成年組 坪田、愛中氏外九名
△初年組 守屋讓夫外十三名

柔道部
△皆勤者 眞鍋、谷口、角田(眞)、角田(重)、野口、牧野、岩渡、宮崎、山口、原田、宮秋、吉村、山田、原田(祐一)、政光、川崎
△精勤者 阿萬忠弘外十一名

下田社司次席
社司に昇進

前撫順神社社司次席下田萬九郎氏は今回連山關、鷄冠山、鳳凰城、劉家河、草河口、橋頭等安東線六ケ所の神社社司に榮進、兩日中離撫連山關へ轉ずる事となつた、因に氏は去る六月二十日十年以上滿洲の神社に奉職した功勞淺からず滿洲神職會から表彰された篤誠實敦厚な人格者である

三人組の土砂流し

巧妙極まる「土砂流しの詐欺師」が撫順に現はれた、三十日午後五時頃孤家子の農夫金起芳(三九)が舊市街へ行くべく永安橋附近淺瀬を渡り運河南岸の堤を歩行中見知らぬ一中國人が呼びかけ「大金入りの包みを拾つた、落した奴が後から來たらしい山分にするから一寸預つてくれ」と重さうな包みを農夫の風呂敷包みに無理に入れたので預り北臺町の停留所方面に來た際別の支那人二名が追ひ掛け來り「荷物を調べさせろ」と農夫の風呂敷包を無理に開き現大洋票百圓餘と金六圓二十錢と石ころの這入つた包みとを巧にすり替へ何處ともなく逃走した、田舍出の者は御注意が肝要、

長春

共產黨員潜入?
城内大警戒
督察廳が總動員で客棧其他を家宅搜索

長春市公安局では七月二十日以來總動員で夏期特別警戒を續行して居るが共產黨員が潜入したとの情報を得、督察廳では三十日朝から急に色めき午後二時頃からは各管轄區總動員で客棧集會所等を臨檢しに家宅搜査を行ひ午後六時よりは更に多數の便衣隊を組織し示威大演習を試みたので當日の城内はたゞならぬ混亂を呈した

長軍惜敗 5A-4で
對四野球戰

全長春對四平街戰は卅日午後四時三十五分より西公園グランドで久保(球)安永(壘)兩氏審判の下に長春軍先攻で開始、長春軍第一回に敵失に乘じて一點を先取したるも、第二回四平街に三安打と二盗うしにて四點を奪取せられ爾後兩軍平凡に退き機會を得ず、長春軍漸く九回表最後の追擊にて四球と敵失に三點を回復同點となつたがその裏四平街に二安打を浴せられ遂に五A―四にて長春軍敗る、メンバー及び得點左の通り

長春 香田田野川上橋野戸幡 / 淺杉久小中川高淺藤牧原小 / 9 8 7 5 4 2 1 1 4 5 3 3 6
四平街 吉村原井田原 野屋 / 秋北田大島藤驛高越 前 / 7 6 4 8 2 3 1 9 5 13

得點	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
長	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4
四	0	4	0	0	0	0	0	0	1A	5A

下九臺の妻女殺犯人
脫營兵が行がけの駄賃

吉長線下九臺居住邦人の安永トメ(三九)が支那兵のため慘殺されたことは既電の如くであるが實地檢證に赴いた長春領事館警察署堀内警部補は三十日夜歸來したが語る、事件當時はボーイと妻女二人で、犯人は豫て面識のある支那人である、被害金額は四十三圓であつたらしい、賊は禁制品强奪の目的であつた、同地駐屯の第三營の兵で脫走の行がけのだちんに斯くも慘虐極まる兇行に及んだものらしい

遼陽

捕虜と……人質交換
八里庄で匪賊團と交戰

遼陽城西八里庄に廿九日午後八時頃頭目三喜し率ゆる十七名の匪賊の一團現はれ同地自衛團と交戰二時間に亘り團員一名左大腿貫通銃創を受け賊二名は團員に捕へられたが、賊も亦村立學校敎員一名、農夫一名、團員二名、附近五名を人質に拉去、一旦附近の高粱畑に引揚げたが、時餘を經て賊團から捕虜二名と人質五名の交換を申込んで來たので自衛團も之に應じたが公安局からは翌三十日午前六時騎兵四、步兵七十名をして追跡せしめたが既に千山方面に逃走した模樣で午後三時頃引返したと

久布白女史講演

キリスト教婦人矯風會理事久布白落實女史は一日朝來遼午後一時から滿鐵社員倶樂部において民族と純潔の演題で講演をした

華人慰安映畫會

滿鐵社會係では三日午後七時半から中國人社員及び家族慰安のため小學校々庭において活動寫眞を映寫す

人事

▲杉野耕三郎氏(前大連市長)は事件辯護のため三十一日來遼
▲有川藤吉氏(奉天辯護士)同上

開原

青年團の排球大會
あす午前から地事コートで

開原青年團にては近來當地に勃興せる排球を奬勵普及の意味にて三日午前九時より地方事務所コートにおいて排球大會を擧行すると團員は勿論一般市民も奮つて出場ありたいと

馬賊討伐の支那兵
昌圖城方面へ

鐵嶺、開原、昌圖三縣下の馬賊剿滅の任務を帶びたる打虎山駐屯東北陸軍第五十二團第三營の兵員約七百名は追擊砲二門機關銃六門を携行三十一日開原城に入城せるが一泊の上昌圖城方面に出發した

華人慰安活寫

滿鐵社會課主催の中國人慰安活動寫眞會は來る五日午後七時半より中央公園において無料公開すると雨天の際は會場は公會堂或は支那劇場
實寫「ラマは踊る」一卷、漫畫「冒險撮影旅行」一卷、喜劇「猿のホームラン」二卷、實寫「上海」一卷、漫畫「凸坊と白熊」一卷、喜劇「泥棒征伐」二卷、實寫「上高地」一卷、漫畫「汽車の旅」一卷、中國劇「連環計」三卷

馬賊の殘黨 公園番人を掠奪

三十一日午前零時頃常附屬地最北端新公園番人單希堂(四〇)が同公園番小屋に就寢中脅迫して開門せしめ三名連の馬賊が四挺の拳銃を所持し入り來りメリケン粉半袋程を餅に燒かせ二時頃食し終り殘餘の燒餅をメリケン粉袋に入れ單の所持金現大洋三十元及び社給の被服一本を强奪し逃走せりと午前七時屆出により本署にては直ちに出動此土地兵隊よりも出動し現場並びに附近を包圍して搜查したが發見するに至らず、新公園南方高粱畑中に立高粱を利用して小屋を作り起臥し居たる形跡あるを發見したが、單の言によれば該馬賊中の一名は三十日正午頃同番小屋へ水を貰ひに來たと

馬賊射殺に祝電
警務局長と警務課長から

中谷警務局長より前田署長宛頑强に抵抗せる賊五名を射殺せりとの報に接し眞に欣快に堪へず貴官より署員に對し宜敷御傳達を乞ふ
と又森本警務課長は旅行先き長春より
署員の勇敢なる奮鬪に依る多大の成功を收め同慶に堪へず一同に宜敷
と激賞の電報を寄せたと

鐵嶺

全滿大弓競射會
あす滿鐵射場

鐵嶺弓道部主催の下に明三日午前十時より滿鐵射場において全滿大弓競射大會を開催、大連より石原範士、全線各地からも選手參加する由

師團長以下送別會
けふ公會堂で

今回の陸軍定期異動により陸大教官に轉任する香月旅團長を始め廣島に轉任の本田支軍長、近衛聯隊に歸る守備隊の丸山中尉以下駐鐵部隊の瀧本、柏端少尉等諸氏のため官民有志は今二日午後六時より公會堂において送別會を開催、會費三圓五十錢多數の出席を望むと

四平街に遠征
柔道有段選手

過日來小谷六段を聘して猛練習を續けてゐた全鐵嶺有段者の柔道部選手は愈々明三日四平街に遠征して同地選手と對抗武道大會を開催する由

水泳大會は九日に延期

明三日開催の豫定であつた全鐵嶺の水泳大會は役員入院のため來る九日に延期した

華人社員慰安映寫

滿鐵主催中國社員慰安第三回巡廻映畫班は來る十一日鐵嶺公園又は適當の廣場で開催する筈、映畫左の如し
實寫「ラマは踊る」漫畫「冒險撮影旅行」喜劇「猿のホームラン」實寫「上海」喜劇「凸坊と白熊」「泥棒征伐」實寫「上高地」漫畫「汽車の夢」支那劇「連環計」等十三卷

久布白女史講演

日本基督教婦人矯風會理事久布白落實女史は明三日來鐵し午後一時半より滿鐵クラブにおいて「民族の發展と婦人」と題し講演すると入場無料

九州並中國地方及朝鮮 風水害義捐金募集

今次九州並中國地方及朝鮮に於ける大暴風雨は各地に稀有の慘禍を與へ多數の罹災者は苦熱灼くが如き炎天の下に住むに家なく食ふに糧なき悲慘なる狀態にして眞に同情に堪へず依て吾等相謀り左記に依り義捐金を募集し救護の一端に資せむとす大方諸君奮て御贊成あらむことを

義捐金募集方法

一、義捐金は大連市役所に於て受付を爲す
二、義捐金は一口五拾錢以上とす
三、寄附者の芳名は滿洲日報、大連新聞に廣告し受領證に代ふ
四、募集締切期日は八月三十一日とす
五、義捐金の處分方法は發起人に御一任のこと

昭和五年七月二十九日

發起人(次第不同)

大連市長	田中千吉	滿洲日報社長	高柳保太郎
大連新聞社長	寶性確成	區長	松田淸三郎
區長	小島鉦太郎	區長	野村宗
長崎縣人會副會長	立石保福	福岡縣人會長	村井啓太郎
鹿兒島縣人會長	上村哲彌	熊本縣人會長	竹田菅雄
佐賀縣人會長	辻慶太郎	宮崎縣人會長	佐藤至誠
沖繩縣人會長	玉城喜四郎	大分縣人會長	小田斌
山口縣人會幹事	藤田秀助		

安東

中心教の檢擧 六十三名に上る
事件更に擴大せん

既報寬邊地方を中心とする中心教檢擧は其後引續き續行されて居るが既に檢擧された者六十三名に達し、寬邊署にては留置場狹隘のため取調べ終了者は新義州刑務所に送致收容の筈であると、尙同教結社は全鮮に亘つて居る模樣で今後檢擧範圍は非常に擴大さるゝものと觀られて居る

製鋼所問題 報告會
あす小學校で

製鋼所問題陳情委員多田榮吉、加藤鐵太郎兩氏の報告會は一日午後三時開催の豫定であつたが多田氏の歸新が遲延するため三日開會に延期し更に當日は評議員、顧問、市區役員のみの會合に止めず汎く市民一般の參聽をも歡迎し報告後引續き兩氏のため歡迎慰勞會を催す豫定で會場は小學校講堂に變更した

夏期販賣實習
五日から十日迄

大和小學校高等科生夏季實習の擧前販賣店は開店以來相當の成績を擧げてゐるが五日から十日午後十時まで大廉賣デーを行ふと

兒童聚落出發

安東大和小學校生徒の熊岳城溫泉聚落行は去月三十日二十二時四十五分發列車にて一同嬉々として出發したが驛頭には手島校長を始め各職員及び生徒の父兄で非常な賑はひを呈し、因に生徒數は六十三名附添ひ職員は金田訓導である

放鳩の演習

飛行第六聯隊では去月廿九日から一週間の豫定で新義州を中心に放鳩演習實施中であるが、演習員は富田中尉以下七名で鳩三十六羽を携行してゐる

普通校同窓會

安東縣普通學校同窓會では三日午前十時から第五回定期總會を母校に開催につき會員は萬障を繰合して參加されたいと、會費は二十錢

佐藤功教諭

一昨年帝展に入選した安東中學校教諭佐藤功氏は今秋の帝展にも出品すべく夏季休暇を利用してこの程からハルピンに赴き同地において目下創作に精進中であるが今年入選すれば安中を辭任して明春頃佛國に繪行脚に向ふ豫定であると

檢疫を開始

に着手することにした

海口檢疫は上海稅關より當地稅關に入りし電報に依り目下上海附近に一種の疑似コレラ發生しなほ猖獗の兆ありと、依つて廿八日より稅關囑託醫普濟醫院長フイリツプス氏が上海方面より入港の船客に對し檢診を開始した

簡閲點呼執行

當地における本年度簡閲點呼は來る三日午前八時から小學校にて獨立守備步兵第三大隊陸軍步兵少佐國司憲太郎氏に依り施行さる、尙應集者は既教育者二十三名、未教育補充兵十三名、計三十六名

志茂分院長挨拶

滿鐵西分院々長志茂平藏氏は三十一日富田事務長同伴各方面歷訪新任の挨拶をした

吉林

縣長の異動

吉林省政府では今回延壽縣長魏宗蓮及び珠河縣長孫荃芳の兩氏に歸省を命じたのに伴つて縣長の異動を左の如く發表した

補延壽縣長 依蘭縣長 王世選
補依蘭縣長 農安縣長 劉保揩
補農安縣長 長嶺縣長 孫振棠
補長嶺縣長 徐景命
補珠河縣長 富錦縣長 薛翅如
補富錦縣長 李海春

乘車證取締

古長鐵路管理局は此程調査する處に依れば各機關は違法規定多く免費の乘車證を使用する者頻繁として發生するのでその弊を避くるため特に整理不記名免費乘車證辦行辦法七ケ條を省政府に郵送して各機關に通令した

營口

大岩所長の挨拶

長春地方事務所長大岩峰吉氏は卅一日午前十一時卅五分着列車で來營して當地各方面に新任挨拶をなし當夜日支官民を招待して披露の宴を張り八月一日は支那側の招待に臨み八月二日歸長する筈

隔離所の開所準備

上海方面疑似コレラ猖獗の報に地方事務所では萬一を慮り牛家屯隔離所開始の準備をなすべく山内地方係長其他實地檢分をなし準備[illegible]

鞍山

獨立守備隊移駐
十月頃實現

鞍山駐劄獨立守備隊第六大隊の移轉は兵舍工事その他遲延のため十月頃來駐、現在の岡田中隊熊岳城移轉もその頃になる豫定だと

煙草立毛審査
鞍、瓦兩管内

鞍山及び瓦房店兩地方事務所では煙草耕作奬勵のため聯合で兩管内及び附近各地の立毛審査を澤島瓦房店指導員を審査長に、四本鞍山農務主任を幹事となし、三日鞍山煙草組合、四日海城唐王山、他山五日より七日まで得利寺玉家、關子、瓦房店の日程で審査し優秀なものには賞品を授與すると

生徒に注意
鞍中と鞍小で

鞍山中學校及び鞍山小學校では一日午前八時より生徒一同を集め休暇中の健康、學習其他の注意及び校長の訓話について夏季衛生等に就き注意する處あつた

機關銃演習

安東駐屯獨立守備隊第六大隊第一中隊は三十日九時廿五分着列車にて來鞍し附近において機關銃演習

貔子窩

神高商生視察

神戶高等商業學校學生一行は滿鮮見學の途次三十日九時二十分着列車にて來貔し鹽鐵所を見學した

を實施し十六時三十分發列車にて北行した

警笛信號增加

從來正午一回だけであつた民政支署のモーター・サイレンは三十一日より午前七時、正午、午後四時の三回信號する事になつた

兒童海岸聚落

貔子窩小學校では去月三十一日より八月四日まで四年生以上二十五名及び夏期休暇中の中學生等を混へ三十餘名が坂東校長外二名の教員に引率され大長山島派出所前の海岸に聚落すべく三十一日午後一時出發した

太田黑家不幸

當地民政支署警務課勤務巡査太田黑富男(神官)長女和代さんは豫て病氣療養中の處去月三十日死去した葬儀は三十一日神葬を以て自宅に於て執行

本溪湖

簡閲點呼日割

本年度簡閲點呼の區域及び日割は左記の如く發表された、場所はすべて小學校々庭
鷄冠山(草河口―高麗門) 八月二日午前九時より
橋頭(劉家堡―橋頭) 八月四日午前八時半より
本溪湖(石橋子―宮の原) 八月五日午前八時半より

鳳凰城

鷄冠山軍勝つ

安東列車區對鷄冠山の野球戰は二十九日鷄冠山グラウンドにて三時二十分より相澤(球)松浦(壘)二氏審判の下に鷄冠山先攻で開始さる
鷄冠山は第二回二敵失二安打に三點第四回又二點を加へて最初より壓迫せしに反し列車區は福島投手にすつかり封ぜられ漸く六回一點を得て零敗を逃れ結局五對一のスコアにて鷄冠山凱歌奏す時に四時五十五分
兩軍のメムバー並にスコアは左の通り

回數	一	二	三	四	五	六	七	計
安東	0	0	0	0	0	1	0	1
鷄冠山	0	3	0	2	0	0	0	5

安東軍 本谷宜田枝田藤田川 / 野濱屋龜是町安安藤 / 6 1 3 2 4 7 5 9 8
鷄冠山 杉岡藤石村口 島原 / 小吉佐立西谷林福藤

瓦房店

簡閲點呼の成績良好

本年度簡閲點呼は三十日午前八時より當地守備隊にて執行官高木中佐の手に依りて施行された應召者六十名中病氣缺席三名事故遲刻一名のみにて應召員は形式的にも精神的にも元氣が充實してゐた同十時半より講評並に訓示があり終つて在鄕軍人分會主催の晝食會を催し散會したが成績概して良好であつた

優勝盃寄贈

瓦房店、大石橋、營口各小學校職員運動競技(庭球及野球)リーグ戰の優勝盃下附方豫て滿洲日報社に交渉中なりしが今回ジャーマンシルバー製大淨盃を寄贈されたので八月下旬第一回戰を施行する由

四庫全書の話

（一）　園山良之助

（一）

滿洲日報に、二十八日奉天電報として遼寧教育廳は城內文溯閣に秘藏されてゐる四庫全書の保管云々の記事があり、翌二十九日の朝刊第二面社說として「四庫全書の保管、出版を慫慂す」といふ記事が發表されました。

一體四庫全書とはどんなものであるか。

私は昨年の夏は、この四庫全書の實物を見るためにわざ〳〵奉天まで出かけましたし、この際私の知つてゐる四庫全書について書いて見ることは多少意義あることの樣に思つたので、急にこの稿を作りました。

（二）

支那は元來文字の國でありますから太古以來作られた書籍の數は非常に莫大なもの、とても調査し切れぬ程の數で汗牛充棟くらゐな形容語では間に合ひません、そこで書籍の學問が却々發達しましてこれを特に「目錄學」と稱して居ります、いかにもおもしろい學問で、この學問は、書物の內容を讀むのではなく、唯古來の書籍について其の著者、時代、卷數、著述の沿革といつたやうな書物の目錄を丹念に研究暗記するのであります

これは前漢（皇紀六〇〇年代、當時日本には文字も無かつたのであります）の末に、劉向といふ人が在來の書籍を校訂する際に別錄といふものを作つたので、これが劉向別錄であつて、この人が目錄學の元祖であります、降つて六朝から隋唐になると餘程書籍の數が多くなつて、これらの書物を甲乙丙丁の四部即ち甲部は經書、乙部が史、丙部は諸子、丁部は集類と分けておくやうになりました

唐の玄宗皇帝（奈良朝時代）は帝業として兩都に各四部の書を四庫に區別次列しました、この四庫は天庫四星に象つたものであると記してあります、北宋になつて崇文書目といふものがありますが、これで目錄の分類法が全く完全したのであります。

（三）

清朝も康熙皇帝（聖祖皇紀二三二二―二三八二）六十年の泰平の後をうけた乾隆皇帝（高宗皇紀二三九六―二四五五）の治世は實に空前の文運隆盛の時代でありました。帝は即位の元年三月、十三經二十一史を各々省會府州縣に頒布し、盛京に宗室覺羅學を設けてゐます、帝がこの意氣込でありましたから全國滔然として學問が盛になりました

乾隆三十八年（皇紀二四三三年即今より百五十五年前）七月に大學士于敏中等が論旨を奉じて、これから經史子集の全關係書類を集めて鈔寫しましたが、これがこゝにいふ四庫全書であります、とても非常な大事業であつて、これに關係した學者の數が三百數十人、その費した日子がこれから約十年であります、即ち乾隆四十七年二月四庫全書成り、帝文淵閣に御して宴並に賞賚を賜ふと書いてあります。

八相

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと

菓子の値下げ

甘黨の一人

近時諸物價崩落を辿り各方面に商品の値下を斷行しつゝある現今大連の菓子商は一、二商店を除く外未だ値下の聲明も實行もしないのは吾人甘黨の最も異とし不思議とする處である。內地都市に比し低廉な勞銀の華工と原料に惠まれながら猶且つ內地都市よりも高價に賣るさへ不合理なるに、諸物價の下落せし今日依然舊價を固持して平然としてゐる而かも在滿商人は口を開けば、一に消費組合、二に購買組合と怨敵のやうに喧々囂々するが自己の事となるとこれである第三者から云はすれば誠に片腹痛い始末だ、近時中國人に各方面において蠶食されるのは斯かる事が因をなし居らぬか、中國人の生活程度が低いために經費が嵩まぬから競爭に有利だと云ふがそれは苦力輩の事で、近時の中國人の生活程度は非常に引上られて居るのだ、薄利多賣―舊い言葉だが邦商は大いに考慮すべきであらう

書籍商組合へ

沿線在住者

全滿書籍商組合にお尋ねいたします。

われ〳〵は新刊書を心の糧として待ち焦れてゐる者ですが、滿洲で販賣され〻新刊書は（雜誌も含む）總て高價なやつです、假に一圓二十錢の定價の書籍が新聞紙上の廣告には一圓二十六錢とあり、注文すると、更に八錢の送料を徴られます、送料は何しろ滿洲の事だから我慢するとしても、定價で賣つて相當利益を得て居る筈の在滿書籍商が、更に送料を請求するのはどうなものか、沿線への送料ぐらゐな事は勉強の餘地は充分あるだらうと思はれるが―

歐洲を視察して　日本の名聲

各國で賞讚の的　自由なモスクワ監獄

（下）　＝松井中佐談＝

歐洲は諸小國の分裂で一層軍備は積極化したことを痛に認めた、ブルガリヤーはバルカン戰爭を決して見捨てない、現に其の戰勝記念碑には「平和條約は永久のものにあらず」とさへ記してゐる、又ハンガリーで一葉の繪端書を購つた處一錢の捺を押すとサツト開き其全面はもとの地圖となつてゐる、これは

舊版圖 の回復を飽くまで忘れぬ精神を國民に教育してゐるものである、其他小國の軍備は一大國よりも新興氣分が充實し仲々永久の平和は想像し得られないことを知つた、各國の共產黨に對する脅迫は今年のメーデー祭をドイツでは僅にベルリンで許したのみ伊太利では例のムッソリーニ獨裁首相が共產黨を撲滅して議會には各職業代表を議員とし政黨なく共產黨の勢力は殆どない、然し保守的國粹主義の如きも亦今では若い青年の思想を指導するに足らず自國に適合した文化建設の方向に進みつゝある、ロシヤは自分に馴染みの多い土地で大正十三年に浦鹽で監獄に入つたこともあるが、

囚人は モスクワで監獄を視察した處いづれも自由に讀書もできれば獄內の賣店で品物を購入することも許され、各室にはラヂオも据ゑつけられてあるといふ浦鹽のとは比較にならぬ寛大さであつた、これはソウエート政府が外人に社會施設をみせるための設備である一般に社會施設の計畫は非常に進步的で、例令ば一萬二千人を包容し得る大食堂を市が經營しホークと匙さへ持つて行き食券さへ拂へば食事は出來る、仲條百合子女史もこれには憫いてゐた然し交通の不便な處にあり、病者に對する食糧配給の如きも不完全で施設のプランに實行が伴はぬ缺陷がある、農村の革命問題は政府としては一生懸命で、シベリーの各驛には多數の大農式農具が分配され、政府代表の派遣される新家屋などを散見した、更に角政府の

政策は 百萬や二百萬の者がコルホーズに反對し自滅してもかまはないと云ふ自信のもとに實行してゐるのだから成功する、國內に反對の聲は盛だが無力では仕方があるまい農村の工業化と交通の改革も必要とされ、日本からは技師を求めて機關車の修繕をしてゐるがロシヤ人職工は一機關車に廿日かゝつたが日本人は十二日間で修繕すると云ふので日本人の技術を賞讚し、同時に勞働者に激勵してゐる。話は違ふが日本の歐洲化は近時に知れ渡りドイツの如きは「日本國民の偉大を學べ五十年の日本は二大國の一つとなれり」とか、到る處に日本商品が進出し日本―東洋研究の熱は各國共に盛んであつた、この際歐洲に對外文化事業でも創設し日本及び東洋を照會する必要があらう（ハルビン特信）

―新刊批評―

▲自由戀愛秘話（守田有秋著）「變態性慾秘話」の姉妹篇として續刊された本書は、著者において同性愛、性慾倒錯等の異常性慾が過去に於て暴壓去精された社會惡の結果である事實を指摘した著者が人類の過去の性慾生活の種々相を檢討し、現世を清算し、更に將來のソレを示唆し、新戀愛觀の提示と見る事が出來る、編中性慾本能の發展、性の倫理、男子鬪爭、女性優越時代、父權制度の勃興、賣笑と自由戀愛、以下「自由戀愛と其將來」に至る十二章において明快に自由戀愛の發展と飛躍を將來に繋いで居る、殊に自由戀愛は古代原始社會における唯一無二の戀愛道であつた事實を文獻的に開示し、母權制度、沒落と個人所有制度の發展が婦人を母性より一躍情慾本能の對照物としてのみの奴隷にまで低下せしめた社會的原因を究明して發生學的に自由戀愛の正しき理由を高唱し、且原始濫交時代と自由戀愛時代との差異を明快に說述して居る編中隨所に挿入した古代社會の自由戀愛を例證する詩歌、章句は著者の高揚せむとする自由戀愛への意志を流麗に表白してゐる、讀書子はこの二書を併讀して社會主義的基調に立つ著者の企圖を觀取しつゝ新戀愛道の動向を察知し得るであらう（定價一圓東京麹町區土手三番町平凡社發行）

南アルプス縱走記　（十）

東京　大野恭平

◇白根の頂上で◇

常布の瀧の少し上手で、一個月ほど前に學生が一人雪崩でやられたところを通つたが、その雪崩の堆積はまだ殘つて居た。僅か四、五坪の小雪崩で、僅か三、四間下へ叩きつけられたに過ぎない。しかしそれで頸の骨を折つて即死してしまつた。人間の命といふものが如何にもろいものだかと言ふことをそれが如實に證明してゐるやうな氣がした。外に大きな雪崩の物凄い狂暴の痕が二三ヶ所にあつたが、人間は案外そんな所では注意深くつて、遭難しないものなのだらう。

アイゼンを持たないので心配して來た私が平のクラストも、前の晴天續かかつたせいであらう、ザラメ雪で、少しの危險も感じなかつた。風の白根に珍しく風が無く、日は明るく輝いて居た。私達は愉快に白銀の世界を進んで、苦みも覺えず樂に頂上へ達した。

火坑の一つは全く雪に埋もれて居たが、他の一つはお釜の熱湯が黑味がかつた濃い紺青に地獄の色を象徴して純潔無垢の白雪堆裡に物凄く澱んで居た。

南北アルプス方面は雲につゝまれて見えなかつたが、日光の山々から赤城、榛名などはもう春の綠に蔽はれて、たゞ日光白根の頭が白く光つて居た。

下山！雪はザラメで、急斜面の直滑降にも何の不安も覺えず、回轉も極度に樂だ。少しの屈托もなく伸び切つた曲線に乘つて、縱橫無碍に滑つて行く素晴らしい壯快さ、無限にまで連なる自由さを捉へ得たやうな心持の欣び！私は今でもそれを夢に見る（寫眞は高嶺に佇つ）

家庭欄

夏の教育座談（五）
夏季休暇と體育衛生
A・B・C・D

D 次は休暇中の體育衛生について御意見を聞かう、
B 休暇中の體育と言つたところでまあ海水浴に連れて行く位なものだらう、
C A君はよく健坊と表でキャッチボールをやつてゐるがあれも家庭に於ける體育指導の一つだね、
A 健坊のキャッチボールの相手も中々骨が折れるよ、先達て少年野球があつて以來前日のやうにやらされてゐるんだ、
D お父さんが子供から體育指導を受けてゐる形だネ、
A お蔭で此の頃は胃病がすつかりよくなつた、
C 世が進むとすべてが逆轉するな、
D B君の家の庭にはブランコがこしらへてあるが、どこの家庭にもブランコ位はこしらへてやりたいね、
B ところがあのブランコには困つてゐるんだ、何しろ近所中の子供がワイワイ集まつて來るので全く閉口してゐる、それだけならばいゝがこの間などすぐ近所の子供がブランコから落ちて怪我をしてね、まあ勝手に乘つて勝手に怪我をしたのだから構はないやうなものゝ、僕のところのブランコで怪我をしたとなるとやはり默つても居られないので平素別につきあひをしてゐる譯ではないが家内が見舞ひに行くといふやうなことで兎に角厄介だから取はづさうと思つてゐるんだ、
C 近所の子供を入れないことにしたらどうだ、
B まさかそんなことも出來ないさ、
D A君は昨年家族中で夏家河子にキャンプをやつてゐたが今年はやらないのか、
A 今年は家内がコレ（右手で腹をかゝへて見せる）なので中止したがあれは確にいいね、毎年冬になると子供達一通り風邪に見舞はれるのだが今年の冬は一番上の奴が一寸咽喉をいためただけであとは極めて壯健だつた海岸の生活は多少金はかゝつてもそれは健康を買ふやうなものだね、
D 金がかゝると言つたところで醫者に金を拂ふことを考へれば物の數ではないナ、
A 全くさうだ、
C もう少しポピュラーな體育の指導法はないかナ、
B 毎朝子供をつれて山登りはどうだ、若草山あたりへ……、
D そいつあ願ひ下げだ、
A D君のやうに宵張つりの朝寢坊には出來ない藝當だね
D その通り、
B 毎朝冷水摩擦をやらせるのはどうだ、
A 僕のところでは一昨年あたりから三人の子供にやらせてゐるが結果はいゝやうだ（つゞく）

横田少年に同情し 併せて世の父兄に告ぐ
（承前）　山田行正

◇

由來滿洲育ちの子供は、柄に似合ず弱いと言はれてゐます。國民の第一線に立つて活躍するには、何といつても頑健な體と堅固な意志の持主でなければなりません。この二大要件を充たすものは體育の外にないと思ひます。横田少年の問題を動機として若し世の父兄方が體育を疎んぜらるゝ樣なことがありましたら、國家の爲めに憂慮に堪へない次第と存じます。

◇

誠に僭越と思ひますが、私が過去二十年間の運動生活に於て體驗しました運動と負傷とに就いてその豫防方法と負傷に對する應急手當方法等を略述させて頂くことに致します。これが父兄方の多少なりとも御參考に成り得れば幸甚と存じます。運動に對する負傷の豫防方法としてどんな場合に過激な運動を避けたらよいかと云ふことを研究してみますと。

一、氣分の方面

氣分が勝れない時に急に過激な運動をすることは失敗が多く從つて負傷も致し易いのでありますから（氣分と肉體とは非常に密接な關係がありまして、氣分のダレた時は必ず身體も何處かに緩みがあるのであります）斯んな場合には過激な運動を避けなければならないと思ひます。

◇

いま茲に具體的にその場合を擧げて見ますれば
A、睡眠不足で精神に疲勞を感じて居る場合
B、心に何か心配事のある場合
C、精神に異狀の興奮のある場合
D、その運動に少しも興味を感じもしないし生じもしない場合
E、心に落ち付の無い場合、即ち輕率な氣分の起る場合
F、氣分が重くて、何だか運動を嫌だなと感ずる場合
G、一寸物好きにやつて見たいと云ふ氣分での運動をする場合

◇

大體こんな氣分の時に無理に急激な運動をすると失敗をしますから斯んな場合には急激運動を避くべきだと思ひます、これと同時に身體の方面にもコンデションを考へる必要があります（未完）

州内踏破…（第二信）
二隊に分れて 愛川村へ
二中徒歩旅行隊

荷物の都合で金州出發は午前十時になりました。金州城を南北に拔けて、北門を出た所で一行は二つに分れました。即ち本隊は海岸を通つて愛川村に行き、別隊は平山を越えて行く事になりました。

海岸隊は龍王廟のある所で晝食をなし非常に景色が好くて眞に理想的な海岸に出ました。此の海岸は普通に西海岸と言はれて居ます。我々は皆水泳がしたくてたまりませんでしたが、足の疲れる事を思つて、涙を呑んで去りました。此れからは山を越え野を越えて午後六時十分愛川村にやつと着きました。

別隊は頗る困難をして有名なる平山に登りました。此處には實に模範的な標本の樣な鐘孔洞があります。深さは約二十間もあつて、奥には佛像が安置されて居ます。頂上の寺で晝食をなし、眺望を恣にしました。大魏家屯を通つて午後六時愛川村に着きました。騾馬は本隊に加はり、多くの山を越えたにも拘らず非常に元氣であつたことは一行に取つて嬉しい事でした。

愛川村では警官派出所の二階に泊りました。此處は涼しくて、眺めが好くて宛も別莊の樣であります。

二十五日は愛川村と普蘭店との間にある後三頭灘に行きます【廿五日愛川村にて】

獨逸語講座
八月二日夜放送

講師　大連語學校講師　荻榮

（第四課）

獨逸語　第五回

Einfache Begrüssung.　簡單な挨拶

a. 人ト出會フタトキハ

Guten Morgen! (Herr N. N.)	お早う
Guten Tag!	今日は
Guten Abend!	今晩は
Grüss Gott!	今日は（南方獨逸）

b. 人ニ別レルトキハ

Guten Morgen!	さよなら（朝に）
Guten Tag!	〃（晝に）
Guten Abend!	〃（夕に）
Auf Wiedersehen!	〃（時刻に關せず）
Adieu! (Ade!)	〃　〃
Bis morgen!	〃（では明日）
Bis bald!	〃（では後程）
Habe die Ehre!	ではお暇いたします
Empfehle mich!	お暇いたします
Leben Sie wohl! (Leb' wohl!)	御機嫌よう

連續漫畫 彼の職業（四）
次朗作畫

三公はサーカスに勤めてゐると云ふ、しかしサーカスの中にはゐなかつた、けれ共三公は間違ひなくサーカスから出て來た。

トン吉はこの不思議を解いて見たかつた。そこでその翌日は三公の出勤を見屆ることにした。

いつものやうに三公は午後二時頃に下宿を出た、トン吉は不德義とは思つたがそつと彼の後を尾行した。

三公は間違ひなくサーカスの樂屋口から天幕の中へ這入つた。トン吉も觀客として中へ入つた。

彌生高女
聚落だより……（二）

六時、夕飯があまり待ち遠しいので五分位前に皆鐘が聞えてしまつた。ぞろぞろ出かけると間違ひやつと本當「いたゞきます」おかずは人蔘、たまねぎ、じやがいも等のおにつけ又々おいしい その後が少し自由時間、棧橋の方に行つて見る。幾艘ものジャンクのうかんでゐる海をへだて、大連をながめてゐるとだんだん灯がつきだす。ぽーつと霞んだ間から灯がちらちらするのを見た時、家がこひしくなつて一寸淋しい感じがする。お部屋に歸へるともう自習の用意を四年のお姉樣方がしてゐて下さる。

同じお部屋の方は皆快活で親切で、やさしい。かういふ所ではそれがどんなに嬉しい事だらう、始めの日なので落ちつかないがなれゝば大丈夫。

九時の鐘がなる。お床をとつてもぐり込むが一向に眠れない。空氣枕の栓をぬく、枕をとる、キャーキャーさわぐ。やがてMさんがお腹がぴくぴくするといひだす、考へて見るとどうも水をこつそり飲んだらしい。兵舍内の端にある井戸は水がとても冷たくて、おいしさうなのだが水道でないので飲めない、お晝頃から皆うづうづしてゐるのだ。しかしすぐ直つた。誰かが足をあげる、お隣の二人が毛布をぬぐ。やつとねついたのは十一時過ぎだつた。

第一日はかうしてすごした、樂しい一日だつた。しかしお客樣でもいらつしやらないと單調で淋しい。一日のお客樣でも歡迎する、どうぞこれをお讀みになつた方は一日も早くおいでになる事を祈る但し七十人分のおみやげをお忘れなく……

一中採集隊が 老鐵山麓に 天幕生活

大連第一中學校博物研究會では毎年夏季に大和尚山其の他に於て動植物採集天幕生活を行つてゐたが本年は方面を變へ老鐵山麓に天幕を張り二泊四日間に亙り採集を行ふべく一日早曉四十餘名の一行は小林金丸兩教諭に引率されて目的地に出發した、尚同校職員十數名は來る三日右天幕隊を訪問すると

創作 神聖なる惡戲（七）
五十嵐稔

それからものゝ十分とは立つて居ない時分……

村を一氣に驅け拔け、土濠を渡つて、城内に通ずる街道を、眞一文字に馬を飛ばせるのは、云ふ迄もなくこの二人の子供でした。街道の左右に、人の丈に餘る滿目の高粱畑が、雨を催しさうな夜空の下に、潮のやうた音を立てゝゐる外には、聞えるものと云つて、烈しい馬の鼻の息と、戛々と大地を蹴る蹄の音ばかりです。突嗟の場合でしたから鞍をかける暇もなかつたのです、馬は裸なのでした。その馬の上には、孫山を前に幹英が馴れた手つきで、きゆつと手綱を引き締めて居るのです。

「君にはあいつらが城内に歸ると云ふ事がどうしてわかる？」

馬の平首につかまりながら、不思議さうに孫山が口を切りました

「以前に、どうやらあの男の聲を聞いた覺があるのさ。それが城内の者なんだ」

稻妻が、街道の行手を遙か遠く迄、きらりと照し出します。その度に、二人は瞳をこらして其處に曲者の後影を求めるのでした。三度——四度。けれどもどうしたと云ふのでせうか、それらしい影は未だ見えないのです。駄目か？二人の心は苛立つて來ました。

けれども、とうとう二人は閃を裂いた瞬間の白光の内に、目指す曲者の姿を見ることが出來たのです。

「占めた！」

と、馬の背に躍り上つて狂喜して居ます。駿馬は疾風の如く後を追ひ始めたのでした。

幹英の考へは、正しかつたのです。然しもう約そ七八里も來て居たのです（但し、支那の一里は日本の凡そ六町に相當します）城内迄もう四五里と云ふ處です。若し曲者が安心して、途中から馬の足搔きをゆるめなければ、恐く行くと追ひ附けなかつたかも知れないのでした。

が、幸ひに敵は殆ど歩く樣にして居ましたし、それに四邊は眞如の闇でした。雑作なく二人は彼らの直ぐ背後に迫ることが出來たのです。彼らの話すのが、手にとる樣に聞きとれるのでした。

「見た者の話では、非常な逸品だと申します。何しろ、近頃にない掘物です」

「うむ。併し、その軸に違ひないか」

「いや、その點は大丈夫です。箱の蓋に書いてあつた字で、家傳のものなることを確めたのですから」

「さうか。さう聞けば安心だわい今宵は大儀だつたな。もう一つの青磁の壺の方はお前がとつて置け」

「は」

遠雷が、彼等の會話を途絶えさせました。それつ切り深い沈默です。

新刊教育兒童書紹介

▲教育時論（七月二十五日號）樂しき夏の日、永田市長の言語認識を中心として、教壇に奠するもの、中等教育の缺陷、教員組合論、社會時評等（十八錢東京市麹町區三番町開發社）

▲教育女性（七月號）全國小學校女教員大會に關する記事を纂錄してゐる（十五錢東京市神田區一橋町全國小學校教員會）

▲兒童と榮養問題（越川直作編著）大連春日小學校長越川直作氏が愛兒と家庭誌上に十數回に亙つて發表したものを纏めたものである（非賣）

探偵小說 **女妖**（157）

江戸川亂歩作
横溝正史作
伊藤幾久造畫

袋の鼠（一）

綾小路浪子は、傷ついた身體を窓の側によせて、うつとりと窓の外を眺めてゐた。

春めいた氣持ちが、しつとりと街の上に降りて來て、街路樹にもほのかな春の色が見える。浪子にとつては長い／＼冬であつた。いつもの年から比べると、三倍も四倍も長い冬のやうな氣持もした。一體この冬の間に、何といふ恐ろしい出來事が續いた事だらうか。數へ切れない程種んな事件が、次から次へと降つて湧いた。然も自分はその中心にゐるのだ。

彼女はふと小夏の事を考へた。あのいたいけない少女の事を思ふと、直ぐに彼女は涙ぐまれて來るのであつた。あの怖ろしい馬車の椿事のさい、自分は幸ひにも一寸怪我をしたゞけで、助かつたけれど、小夏は到頭無殘な最後をとげて了つた。病か癒えて、初めてその時の事を聞いた時の浪子の驚き——悲しみ、彼女はその日一日呆然としてゐた。

何も彼も自分の罪のやうな氣がする。自分から好きこのんで、こんな事件の中へ頭をつゝこんだために、種々な人々に迷惑をかけてゐるのだ。何んといつても女の力である。その女の力で、充分眼に見えぬ敵と戰へると思つてゐたのが、そも／＼大きな間違ひだつたかもしれない。

あの馬車の椿事以來すつかり氣を滅入らせて了つた浪子はいつそこんな事件から手を引いて了はうかとも思ふ程弱氣になるのだつた。

春の陽ざしが、窓がらすを透して桃色の部屋の中へ流れ込んでゐる。白い絹のドレスに身を包んでゐる浪子は、その窓に身を寄せたまゝいつまでも其處に考へ耽つてゐた。

その時である。靜かな部屋の何處かでコトリと微かな物音がした。浪子はその物音につと夢を破られて何氣なく振返る。と、いつの間に入つて來たのか、其處には由良子が立つてゐた。

「まア、由良子さん、どうなすつたの？」

懷しい最中に意外の人を迎えた浪子はほつとした樣に喜んで微笑した。

由良子は然し、凝つと眼をすえたまゝ浪子を見守つてゐる。何か氣落ちがした人間の樣に、正體もなく、ふら／＼と浪子の側へ近よつてくる。

「まア、由良子さん、あなた一體どうなすつたと云ふのです」

浪子は何かしら異常な氣配を感じて、思はず椅子の中で身を引いた。見れば、由良子の衣服はすつかり埃にまみれて、所々鍵裂きさへ出來てゐる。それを見ても、この四五日、彼女がどんな生活をしてゐたかゞ分るのだ。

「由良さん——」

浪子は周章てゝ何か言はうとしたが、その途端彼女は思はず、つと唾を呑みこんだ。

血だ！

夥だしい血だ！　どす黒い血が、由良子の胸から腹へかけて、べつとりこびりついてゐる。

列強競ふて支那に於る航空權の獲得に努力
南京政府とコース設定を交渉
米國斷然機先を制す

【東京特電三十一日發】過次ロンドン軍縮會議を一轉機として世界列强は一大空軍建造競爭時代に移つたものと觀られて居るが、それと同時に茲に最も注目すべきは列强が東洋殊に支那における航空權の獲得並びに航空路の開拓に向つて非常な努力を拂ひつゝある現狀である、即ち米國は昨年カーチス・ロバーツ・エロープレンコムパニーが一千萬元の資本金を以て斯業權を獲得して以來支那における航空權の確保について着々その實現に努めつゝあるが米國はこれに代つて對アジア作戰の根據地たるヒリツピン、ハワイ、アラスカ外にこの最も効果多き航空權を把握する事となつた譯でその第一期は上海、南京、漢口と南京、徐州、濟南、天津、北平の外に漢口から長沙、廣東となつて居り、又第二期は北平若くは天津から奉天、ハルビン更に上海から溫州、福州、厦門、汕頭を經て廣東に至るものなどの計畫となつて居り南京を中心に支那大陸に蜘蛛の巣の如く航空網を張りめぐらさんとして居る、一方日本は現在の航空路を臺灣に延長する場合、上海から福州を經て臺灣に至るコースをとりたい希望もあるが國民政府が果してこのコースを許すや否やは疑問で今日では全く米國に機先を制せられた形となつて居る、シンガポール、濠洲に至る大航路の支線としてカラチからカルカツタに出でシンガポールを經てバンコツクから南下する事としこれにフランスと協定して一定區を分轄し印度、バンコツク間は英、バンコツクから西貢、河内を經て廣東に至るものは佛、最後に廣東から上海までは英の經營區域たらしめんとし目下英、米、佛等相携へて支那政府との間に該問題に關し交渉中である、これ等は勿論民間事業であるが、且亦あるにおいては直に軍事的價値を生ずる隣邦支那の航空問題に密接な關係を有するものであるから我國としては頗る注目を要する事いふまでもない、特に我國航空關係筋においてはこれを重大視し愼重的態度を以て臨む必要があらうといはれて居る

御大典記念に献上の御休所近く完成
お寫眞を各官廳に御下賜

【東京三十一日發電通】御大典を奉祝して全國文武官から献上した御休所は那須御料地内の溪谷、嚶鳴亭は兩陛下が來る五日頃御避暑あらせらるゝに先だち完成の豫定である尚宮城吹上御苑内の花蔭亭は八月末に完成するが、天皇陛下は十月倉富樞相以下各親任官を花蔭亭に召されて茶菓を賜はり三御休所のお寫眞を各官廳に御下賜献上の赤誠に答へさせられる筈

教育勅語の記念日に篤行者表彰
全國より數百名選拔

【東京卅一日發電通】本年十月三十日は教育に關する勅語渙發の四十周年に相當するので文部省では記念事業の一として全國から孝子順孫にしてその篤行卓絶し衆庶の模範たるべき者を表彰するに決し卅一日中川次官より各地方長官に對しこれが調査に關する通牒を發した、因に表彰される人數は一府縣より二、三名で全國より約百名を選ぶ豫定である

海軍機墜落
津久井中尉危篤

【館山三十一日發電通】館山艦隊を中心に戰技訓練中の聯合艦隊所屬特務艦能登呂搭載飛行機第一號を肥後二等兵曹操縦、津久井金四郎中尉、霞ケ浦航空隊飛行隊長小野虎太郎少佐同乘で三十一日午前飛行中十時頃洲之崎沖五海里の上空で發動機の故障から墜落沈沒し乘組員は生死不明

【東京三十一日發電通】霞ケ浦航空隊發表、遭難飛行機能登呂一號機乘員中津久井金四郎中尉は發見されたが生命危篤である

毎月五、六百噸ほどの銅子兒を輸入する
利に慧い支那人の新商賣で
わが産銅業者恐慌

【東京電一日發】利に聰い支那人聯だしい現ナマを大阪造幣局に持込んで一儲けも二儲けもした事は嘗て報道したが、飽く迄も拔け目のない支那商人は儲けることゝ云つたら何でも見逃さない、昨年頃からのことであるが毎月五、六百噸宛の銅子兒が我が内地に輸入され唯さへ市場不況でストツクに惱んで居る産銅業者を恐怖せしめてゐる、今日迄に入つただけでも一萬噸近くに達して居る見込で一噸の値段百圓としてもザツト四百萬圓の輸入を見て居る勘定になるが、何しろ内地産銅の時價一噸六百圓見當に對し銅子兒一噸は四百圓であるから其の間二百圓前後の差がある譯である、おまけに關税は銅が從量税で百斤七圓なのに對しコレは又關税定率法の一寸した不備から從價税になつて居り、而も税金僅二圓五、六十錢程度に過ぎない、これでは話でも一寸儲けて見る氣にならう、殊に支那は廣い、四百餘州のあちらこちらから掻き集めて來る丈けの手數で而も殆ど無盡藏と來て居るから何の事は無い新らしい銅山の一つも發見した樣なものだ、尤も近ごろは銅價も下る一方で以前程儲からないから輸入も漸次減る傾向であるがそれをやつて居るのは支那商人許りではない、神戸あたりの日本商人もドシ／＼持つて來て鑄潰して居るさうである、此頃の調査では無いが内地産銅業者が此の銅子兒の襲來を共産黨以上に怖けを慄つてゐるのも蓋し無理はあるまい

佛飛行家兩氏訪日飛行

【東京特電三十一日發】フランス飛行家バイイー、レジナンジ兩氏は八月上旬パリー發シベリア、朝鮮經由東京へ飛行することに決定した、使用機イスパノスイザ六五〇馬力發動機裝備のファルマン三百型で將來日佛商業、航空に資し日佛親善が目的である

蟹工船武裝
露の壓迫に備ふ

【東京卅一日發電通】北洋漁場における日露兩國當業者間の抗爭は盛漁期に入つて益々加はりつゝあるので其の壓迫益々激化しロシヤ側の萬一の場合を警戒するため蟹工船組合では自衞策として出漁中の工船十九隻に武裝せしむることゝなり差當り農林省を通じ外務省の諒解を得陸軍省から機關銃十九挺、小銃四百挺の拂下げを受くべく申請中で陸軍でも異議なき模樣で近く下附せられる事になつてゐる

長野縣水害

【長野卅一日發電通】長野縣下高井郡平穩村夜間瀨川は卅日夕刻以來の大豪雨に増水し湯田中溫泉より穗波村に通ずる遊廓裏の河原に濁水押寄せ澁湯溫泉も數尺浸水し湯田中溫泉發掘場所溫泉プールテニスコート養鯉池も潰滅流失した養鯉池の損害のみで千六百圓に達してゐる、なほ平穩村字上條の田畑三十餘町歩流失しその他も被害甚大である

全滿鐵體育ボール大會

▲日　時　八月二十四日午前八時半
▲場　所　奉天
▲參加資格　滿鐵社員
▲チームの制限　(一)總務部、計畫部、交渉部、經理部、興業部、工事部、用度部は各課所單位(二)鐵道部は各課所局、輸送係、驛檢車列車、機關、保線、保安は各區單頭は各係別、大連、甘井子兩埠頭、鐵道工場は各係場別單位(三)製鐵販賣部は各課單位(四)殖産部は各課所場、館別單位、地方部は課所、醫院、各學校(學生々徒を除く)圖書館、研究所別單位
▲出場チーム數　制限なし
▲申込方法　出場チーム名及び選手名を明記の上代表者名に依り滿日事業部宛八月十五日迄に申込みのこと
▲旅費滯在費　自辦
▲使用ルール　體育係發表の體育ボール、ルール使用

主管　滿鐵體育係
主催　滿洲日報社

海濱聚落兒童の水泳大會

寫眞は騎馬の兒童　水中

後援會の應援に場内どつた返す
卅一日も大入の日本大相撲

大相撲第四日目の三十一日は前日の大入にも増し立錐の餘地もない滿鐵大平副總裁も家族同伴で正面棧敷に陣取り終始熱心に口物、各棧敷には國、朝潮、海光山の各力士、高知縣出身の各後援會でごつたがへす様な賑はひ、これを先途の應援聲援の聲は場内を搖るがす、幕内五人個人決勝は高浪、池田川、太郎山、吉野山、雷ノ峯の五力士が居つて沖ケ海勝ち未來の横綱の貫録を示して沖ツ海が急をやんやといはす、幕下個人決勝は前日の優勝者柳關再び錢り双葉山と競り合つただがすくひ投げで柳關が勝れ、高鐵大平副總裁の御好み相撲棧敷觀對朝潮は好取組だけに大入氣を呼びしきりなほし四回後兩者氣合ひあつて立ち左右四つを差し東土俵際まで押し朝潮寄つたと見えたが敵の力を利してうつちやり相撲に勝つたが勝負に懸れる、偶中入土俵入り後玉ノ井鳴戸の兩檢査役及び式守勘太夫は土俵中央に出で日延の挨拶を口上した、又本社後援優勝旗東西爭奪の勝星は沖日西方大敗して居たが四日目初めて勝ち現在までの總得點東方百三點西方八十七點で東方優勢を示して居る、主なる勝負左の如し

勝　負

海光山(より切り)高浪
全勝の高浪この一戰と必死となつて攻防、つとめたが遂に海光に破る
池田川(より切り)潮ケ濱
潮濱を立てたが池田立たず立つやつき合つて差手を爭ふ内に潮左差し寄つたが池田よくこらへ潮をつつたが潮よく突つ張り大相撲となり喊聲わく暫し土俵中央で競合ひ兩者慎重を盡したが遂に池田寄り切つて勝つ

中入

晴ノ海(寄り切り)沖ツ海
太郎山(つり出し)朝光
全敗同志の戰ひ、立つや相四つとなり太郎朝をつゝたが朝なかなか動せずしばし遂に力つきてつり出される
寶川(寄り切り)若瀨川
劔岳(寄り切り)雷ノ峯
眞鶴(打ちやり)瀨川
しきりなほし四回、はげしく突き合つた後瀨川をさーて猛烈に寄り鶴惡戰苦闘錢すところ僅かだつたが敵の力を利用して見事うつちやる
朝潮(小手投げ)錦洋
二勝一敗同志、人氣力士同志の戰ひとて喊聲わく錦寄をかけたが朝自重立たず立つや兩者つき合つてすきを探し、錦すばやくとびこんで左を差し小手投げをかけんとせしも朝なかなか許さず錦寄るところを朝小手投げできめる
豐國(小手投げ)若葉山
立ち上るや若葉右をさしたが強引な豐の小手投げをくらわして四日目勝ち放す
玉錦(つり出し)大蛇山
全勝の玉と一勝二敗の大蛇、名譽回復はこゝぞとばかり大蛇入念にしきる、立つや相四つ玉猛烈に寄り大蛇しばし突つ張つたが遂につり出され玉四日間全勝
宮城山(寄り切り)吉野山
吉野急いで立つたが宮城自重立たず立つや吉野鐵砲よくこの大敵を壓したが寄り切られて敗る

東西勝星(打ち出し七時十分)

	東	西
四日目	二十二	二十六
總計	一〇三	八十七

吉敦沿線の不逞鮮人團逃亡
電信電話は卅朝復舊

【長春特電一日發】吉敦線敦化および蛟河を襲ふた不逞鮮人の大集團はいづれかに逃走し鐵道線路および電信、電話線は一日午前十時頃復舊した

R百號位置

【モントリオール卅一日發電通】アール百號は東部標準時午前八時(東京時間三十一日午前十時)マグダレーン岬を通過した目下セントローレンス峽谷を通過してゐる

一萬二千圓持逃げ
門司で押へらる

大連市天神町七〇合資會社水間組代表社員水間與作(三)は櫻町および楓町における白川洋行建築に係る請負金五萬八千圓および山縣通り起業倉庫山浦某の建築請負金五千六百圓の請負代錢金二萬五千圓を受領し内金一萬三千圓位を各料理屋其他に支拂つたがその殘金一萬二千圓ばかりを携帶し二十九日出帆のばいかる丸で内地へ逃走したので水間組有限責任社員杉山榮太郎の告訴により大連署において手配の結果門司水上署より三十一日正午取押へた旨入電あつた

邦人青年二人賊
市内廿二ケ所を荒す
卅一日徘徊中を御用

昨年十二月五日竊盜罪により大連署に檢擧され大連地方法院で裁判の結果刑の執行を猶豫された本籍靜岡縣小笠郡比木村當時住所不定無職山本明(二)と、本年五月二十五日竊盜罪により大連署に拘禁取調の上微罪として放還された本籍新潟縣新潟市關屋當時住所不定無職桑野三郎(二)の兩名は共謀の上七月十七日午前零時三十分ごろ浪速町五一浪華洋行こと赤松峰吉かたに侵入し二枚續き駱駝毛布一枚ワイシヤツ一枚、化粧水二本、ネクタイ一本、カウス釦一組計卅七圓を竊取したほか市中二十二ケ所に侵入竊盜を働き贓品はこれを賣却または入質し酒と女のために全部費消したが、山本は東郷町附近を徘徊中、桑野は浪速町附近を徘徊中何れも三十日大連署の手に取押へられた

海濱聚落兒童の水泳大會

星ケ浦に海濱聚落中の沿線小學校兒童は三十一日水泳大會を開催し合同體操、式泳の遊戲而取り、水中騎馬、浮身、帽子取、競泳、林檎取、西瓜取、リレー等に上達した腕前を見せた後海濱聚落の歌を高らかに合唱して散會した

十哩遠泳中止

黑石礁滿鐵水泳部では八月三日今夏始めての十哩遠泳を擧行する筈であつたが昨今の雨天續きで選手の練習が捗どらず止むなく延期することにし同日は一哩競泳だけ行ふといつてゐる

ドイツ品を凌ぐ外科手術用の錐
理研の大越氏が發明

【東京三十一日發電通】頭腦の外科手術を行ふ際使用する穿顱術用錐は日本で製作すること不可能で從來ドイツ製品のみを使用して來たが理化學研究所員大越諄氏が兩三年研究の結果ドイツ製品の三、四倍の能力ある錐を發明したが、外科治療、齒科治療に大福音と注目されてゐる、陸軍では右製品を衞生材料品に正式認定したが、發明者大越氏は手術の苦痛を減殺し時間を短縮し得るもので齒の治療用錐は完全に外國品を驅逐し得やうといつてゐる

雲仙國立公園
大連期成會

内地における國立公園指定につき長崎縣では全縣一致して雲仙を國立公園たらしむべく運動することになつたが大連の縣人會でも之を後援するため長崎縣雲仙國立公園大連期成會を設立したが入會希望者は實行委員長相川米太郎氏まで申込まれ度しと

西野女史講演

日本メソヂスト大連教會では女流教育界の耆宿西野貞子女史を招聘して左記日取に依り宗教講演會を開催する事に決定したが、一般多數の來聽を希望する由
八月三日午前十時於常盤橋メソヂスト教會△同日午後八時於同所△同五日午後三時卅分於社員俱樂部△同日午後八時於常盤橋メソヂスト教會△同六日午後一時半於敷島町青年會館△同日午後八時於常盤橋メソヂスト教會△同七日午後一時於同所△同八日午後一時半於同所△同日午後八時於同所△同九日午後八時於同所△同十日午前十時於同所△同日午後八時於同所(以上)

吉林間の乘車賃

【吉林特電一日發】吉林北平間の直通列車は愈々八月初旬から運轉の豫定なるがその乘車賃銀は現大洋である
△一等　往復百元一角、片道五十八元八角
△二等　往復六十六元、片道三十八元八角
△三等　往復三十六元六角、片道二十元三角五
である

沖ツ海歡迎會

日本大相撲中の花形力士である沖つ海は、年齒漸く二十歲にして體量三十貫餘十兩の筆頭で將來の横綱として囑望されてゐるが、同力士の出身地福岡縣人會では有志相寄り沖つ海の將來を祝福すべく、來る八月二日午後七時山縣通土建協會の大連亭支店に於て歡迎會を催す由、會費二圓當日持參、希望者は縣人に限らず福昌公司の川邊氏又は土建協會の大島氏まで申込まれたし

基督教講演

大連日本基督教青年會では今般日本神學校長にして東京青山教會牧師たる川添萬壽得氏を招聘し同教會に於て左記日割に依り基督教講演會を開催する筈で多數來聽を希望する由
八月三日午前十時、同午後八時△同四日午前六時半、同八時△五日午前六時半より早天講演會

大正校同窓會

大連大正小學校では三日午前九時から同校講堂に於て同窓會を開催する由會費は五十錢多數會員の參會を希望すると

海の唄

仲木貞一作　一木婷畫

「一〇」

白河の里（五）

「……何うして、もつと早く來なかつたんだねえ？……最前に來るかと思ふてたんや……」

和雄は京が内に這入るか這入らぬかに、恁う云つて恨みめいた口調で、その時云つたのだつた。

「わたしかて、氣は急いたんやけど、出やうと思ふたとこへ、お人が來なはつたもんやで……」

「誰人や……お人つて……？」

「……」

「誰人や？……お人が來たかて構はいでもえいに……誰人や……そのお人は？……」

和雄は恁う云つて執拗く訊いた。

「何んで、そないにお訊きやすの？、誰人かで宜しいわ」

京子も妙に意地を曲げた。

「云へんのやろ……なア、僕はよう知つとるぜ……訊かんでも……中村屋のデレ助や……」

「……」

默つて京子は、さう云つてうすら笑つてゐる和雄の顔を見た。

それから二人は、一寸面白くない思ひをしながら暫く沈默を守つてゐた。

和雄の家が失敗して、白河に引込んで了つてから二人の逢ふ瀬は、京子がさうして京へ上つて來るか和雄が大阪へいくかしなければならなかつたので、隣合せてゐた頃よりは自然と逢ふことは少くなつてゐた。

さういふ時は、和雄にとつては一人の戀敵といふべき男が現はれた。

丹波屋の幸吉と云つて、それは同じ株屋仲間でも、京子や和雄の家とは格段の相違のある古い仲買店の息子だつた。

京子は、近々その息子の許へ嫁いでいくといふ噂さへ立つた。

和雄はもうぢつとしてはゐられなかつた。

繼渡まで何か所用で出かけていつた兩親の留守を幸ひに京子を招んで、その假僞を訊いて見よう……としたのだつたらしい。

それが、偶然にも京子の來ようが遲かつたので、一も二もなく人の來たといふのは丹波屋の幸吉を意味するのだと思ひ込んで、最初に憤つとして了つた。

恨みつらみの言ひ草と仕草とは二人の胸から衝いて出た。

が、さうした烈しい感情の衝動の後には、……烈しい嵐の後の月夜のやうに……靜かに落ちついた夢に囚はれてゐるやうな思ひの幾時かが過ごされた。

「今夜は十時頃まで親達は歸つて來やせん……悠然りしてなア……」

二人は長火鉢の前に向ひ合つてゐた。

和雄が、小鍋の中で汁粉を溶くと、京子は紅い小鉢の中で白玉の團子をこしらへて、その鍋の中へ落していつた。

「……美しい手……」白玉團子は……おいしかろ……」

と、云ふと、京子は優しい瞳に和雄を睨むやうな眼線を送つて、

「貴方こそ……綺麗な男やて、評判だつせ……堂島中の人がみな……」

「……」

恁んな事を云ひながら二人は薄暗い電燈の下で、夕飯代りのおしるこを喰べたりした。

× × ×

それだのに……

影のやうに消えていつた過去の春を、恍惚と夢見てゐる時、和雄の母親は、京子の名を呼びながら近づいて來た。

「まあ、こんな處に何してをりやした？」

「……」

京子は、默つて母親の後から隨いて行つた。

茶の間には、もう夕飯の支度が整つてゐて、父親が案外機嫌のよい顔に二人を待つてゐた。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

○　大連　青柳　梅子

夏草のはびこるまゝの廢寺かな

○　大連　十河邊芳人

夏草に坐りて釣する一と日かな

○　大連　寛　鳴麗

門入れば夏草茂る貸家かな

○　香川縣　高木　宏影

夕立に夏草ぬれし小徑かな

○　瓦房店　冠滿　漁舟

夏草のうねり續ける曠野かな

ハンモック

○　大連　吉元　汀雨

ハンモックに蟬深ひ來し晝寢かな

ハンモックや時々搖るゝ軒葱

ハンモックふら〳〵とある樹蔭かな

○　野村　雅子

林間に讀書の聲やハンモック

夏の朝

○　大連　吉元　汀雨

新らしき蜘蛛の懸巣や夏の朝

夏朝や連れたちて行く田草取

○　野村　雅子

夏の朝窓開けて見る園生かな

夏の月

○　大連　吉元　汀雨

月涼し西瓜島に人動く

雨氣を持つ白雲迅し夏の月

瀬雲のかゝりし山や夏の月

公園の石のベンチや夏の月

○　野村　雅子

浮島に舟つけてあり夏の月

懸賞詰聯珠發表（三）

題名「青簾」　上木三山調

正解案

二十三球打上げである。變化の說明を伸べると

△（二十）反對は「甲」後四追

△（十八）反對は「天」「地」（十八）の順

△（十六）乙なら黑（十七）白（十八）なら「に」「ほ」にて兩勝、又白反對は「天」「人」で兩勝

△（十六）他は（十七）後四追

△（十四）反對は黑「地」に打ち、白（十四）と等なら「人」「丙」の順、他は四追

等である。要するに這回の問題は一、二のトリックが包藏されてあつた爲に、惜しい處で落選された方が多く、殊に酒井氏の案は優秀であつたが變化說明に乏しく、吉田、内藤兩氏案は今一と息といふ處で入選の域に達しなかつたのは殘念だつた。嚴選の結果は左の通りである。序乍ら書き添へておきたい事は、變化說明に當り「何々後容易」といふのは該聯球には禁物であり正確明瞭に圖示すべきであります

因に懸募案嚴選の結果左の如し

【入選者】なし

【佳作】旅順市橘立町吉田滿雄▲大連市聖德街二ノ八八酒井正滿▲奉天松島町十二番高辻與衛▲大連市西公園町二〇三番地内藤四郎（以上四氏）